

# 伊賀市総合福祉会館 2階車庫 改修工事

## 図面リスト

意匠図・構造図				電気設備図		機械設備図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書 1	A-23	<改修>断面図	E-01	電気設備特記仕様書	M-01	機械設備特記仕様書
A-02	建築工事特記仕様書 2	A-24	<現況・改修>断面詳細図 1	E-02	分電盤結線図	M-02	衛生器具・機器表
A-03	建築工事特記仕様書 3	A-25	<改修>断面詳細図 2	E-03	<改修> 1階平面図 幹線・動力コンセント設備	M-03	1階平面図 給排水衛生設備
A-04	建築工事特記仕様書 4	A-26	部分詳細図	E-04	<改修> 2階平面図 幹線・動力コンセント設備	M-04	2階平面図 給排水衛生設備
A-05	改修工事特記仕様書 1	A-27	<現況> 2階平面詳細図	E-05	<改修> 2階平面図 電灯設備	M-05	空調・換気機器表
A-06	改修工事特記仕様書 2	A-28	<改修> 2階平面詳細図	E-06	<改修> 2階平面図 防災電灯設備	M-06	1階平面図 空気調和設備
A-07	改修工事特記仕様書 3	A-29	<改修>展開図 1	E-07	<改修> 2階平面図 弱電設備	M-07	2階平面図 空気調和設備
A-08	改修工事特記仕様書 4	A-30	<改修>展開図 2	E-08	<改修> 2階平面図 自動火災報知設備	M-08	2階平面図 換気設備
A-09	位置図	A-31	<改修>展開図 3	E-09	<現況> 2階平面図 電灯設備	M-09	2階平面図 既設撤去
A-10	仮設計画図	A-32	<現況・改修> 2階天井伏図	E-10	<現況> 2階平面図 放送設備		
A-11	配置図・平均地盤面算定図	A-33	<現況・改修> 2階建具平面図	E-11	<現況> 2階平面図 自動火災報知設備		
A-12	敷地求積図	A-34	<現況> 2階建具表				
A-13	工事概要・外部・内部仕上表	A-35	<改修> 2階建具表				
A-14	1階求積図	A-36	サイン指示図・サイン図				
A-15	2階・PH階求積図	A-37	外構図・外構詳細図				
A-16	<現況> 1階平面図	A-38	鉄骨伏図・軸組図・詳細図				
A-17	<現況> 2階平面図	A-39	総合案内板図				
A-18	<現況> PH階平面図・屋根伏図						
A-19	<改修> 2階平面図						
A-20	<現況> 立面図						
A-21	<改修> 立面図						
A-22	<現況> 断面図						



Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 1: 建築用コンクリートブロック. Item 2: ALCパネル. Item 3: 押出成形セメント板.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 10: 1 材料・工法の一般. Item 10: 2 天然石張り. Item 10: 2 テラゾ張り. Item 10: 3 壁の石張り工法. Item 10: 4 床及び階段の石張り. Item 10: 5 取付け金物.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 9: 1 アスファルト防水. Item 9: 2 改質アphalt防水. Item 9: 3 合成高分子系ルーフィングシート防水. Item 9: 4 塗膜防水. Item 9: 5 脱気装置.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 11: 1 陶磁器質タイル. Item 11: 2 壁タイル張りの工法. Item 11: 3 陶磁器質タイル. Item 11: 4 役物タイル. Item 11: 5 落下防止. Item 11: 6 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地. Item 11: 7 その他.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 6: シーリング. Item 7: その他の防水処理. Item 8: その他.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 12: ①木材の品質. Item 12: ②樹種. Item 12: 3 集成材. Item 12: ④接着剤. Item 12: 5 防蟻処理. Item 12: 6 防菌処理. Item 12: 7 床板張り. Item 12: 8 ホルムアルデヒド等発散材.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 13: 1 長尺金属板葺き. Item 13: 2 折板葺. Item 13: 3 とい. Item 13: 4 ルーフドレイン. Item 13: 5 その他.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 14: 1 ステンレスの表面仕上げ. Item 14: 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理. Item 14: 3 鉄の亜鉛めっき. Item 14: ④軽量鉄骨天井下の補強. Item 14: ⑤軽量鉄骨壁下の補強. Item 14: 6 金属成形板張り. Item 14: 7 アルミニウム製笠木. Item 14: 8 手すり及びタラップ.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 9: システム天井. Item 10: あと施工アンカー.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 15: ①モルタル塗り材料. Item 15: ②床コンクリートの直均し仕上げ. Item 15: ③仕上げ塗材仕上げ.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 16: ①アルミニウム製. Item 16: 2 見本の製作等. Item 16: ③網戸. Item 16: 4 鋼製建具. Item 16: ⑤鋼製軽量建具. Item 16: 6 ステンレス製建具.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Item 16: ①アルミニウム製. Item 16: 2 見本の製作等. Item 16: ③網戸. Item 16: 4 鋼製建具. Item 16: ⑤鋼製軽量建具. Item 16: 6 ステンレス製建具.



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7	自動ドア開閉装置	(16.8.2～3) (表16.8.1～3) 開閉方法 センサの種類 ※ スライディングドア ※ スイングドア ※ マットスイッチ ※ 光線スイッチ ※ 熱線スイッチ 電子マットスイッチ 音波スイッチ 光電スイッチ	17	1 一般事項	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会 JASS14 による。 イ. 工事に先立ち、総合図を作成し監督職員の承諾を受ける。 ロ. 総合図には特に下記の事項を記載する。 層間変位追従方式(構造体への取付部、ユニット間の接合部)、パネル割付、ガラス厚と割付・取付金物配置、部材断面、フレキシコック/ハミの配筋及び埋込金物、パッキング・シール材・インシュレーション・スベリ材、層間変位部分の耐火被覆、表面処理・裏面遮シール材 イン	19	① 接着剤	(19.2.2) (19.3.3) (19.5.6) 接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。但し標仕表 19.2.1 エポキシ樹脂系の指定のあるものは除く。
8	自閉式吊り引戸装置	品質規格 ※ 標仕表 16.9.1 による (表 16.9.2～3)	カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール	カーテンウォール材の種類 (17.2.2) 種類 規格等 ※ アルミニウム製 ※ 共仕 16.2.3 のアルミニウム製建具の材料による	② ビニル床シート張り	(19.2.2) 種類 JIS の記号 色柄 厚さ(mm) ※ 発泡層のないもの ※ NC ※ 無地 ※ A-1 ※ B-1 ※ C-1 ※ 発泡層のあるもの ※ 柄物 ※ 無地	
9	木製建具	表面材 ※ 合板類 (表 16.6.2) ※ ミディアムデンシティファイバボード(MDF)及びパーティクルボード ホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ (16.6.2) かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度(挿入などの裏面は除く) (表 16.6.3) ※ 鳥の子 接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ (16.6.2) 建具材の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (16.6.2) (表16.6.1)	2	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	③ ビニル床タイル張り	(19.2.2) 種類 JIS の記号 厚さ(mm) 備考 ※ コボゾクビニル床タイル(半硬質) CT ※ 2 ・ コボゾクビニル床タイル(軟質) CTS ・ ・ 純ビニル床タイル HT ・ 3		
10	その他の建具	エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等 (国土交通大臣認定取得品)	3	カーテンウォール材の方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	④ 帯電防止床タイル張り	(19.2.2) 種類 JIS の記号 厚さ(mm) 備考 ※ コボゾクビニル床タイル(半硬質) CT ※ 2 ・ コボゾクビニル床タイル(軟質) CTS ・ ・ 純ビニル床タイル HT ・ 3		
11	建具用金物	マスターキー ※ 製作する(※3枚) 製作しない (16.7.4) グランドマスターキー ※ 製作する(※3枚) 製作しない (16.7.4) 建具用金物 (16.3.6) (16.4.6) (16.7.2) (表 16.7.1) 錠前類はシリンダー錠(レバーハンドル)とする。 ※ 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第7条に基づくシリンダー錠の防犯性能 ※ 要 (5分未満 ※5分以上・10分以上) 不要 見本品提出の上、監督職員の承諾を得ること。	4	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	⑤ ビニル幅木	(19.2.2) 種類 厚さ 性能 ・ コンポジションビニル床タイル ※ 2mm 体積積抵抗値 (JIS K6911による) ・ ホモジニアスビニル床タイル ・ 4.0又は4.5mm 1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下または、 ・ ※ 漏えい抵抗値 (JISA1454による) 1.0×10 <sup>10</sup> Ω未満		
12	ガラス	① ガラス ※ 種類、厚さは図示 (16.13.2) ・ ガラスブロック 標仕6.13.5による (16.13.5) 寸法 (mm) 色 調 パターン 防火認定 200×200 ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し ・ 乳白 ・ カラー ( ) 床用 ・ 有り	5	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	⑥ カーベット敷き	(19.3.3～4) (表 19.3.1～2) 種類 バイル形状 帯電性 色柄等 備考 ・ A種 ・ カットバイル 人体帯電圧 ※ 単一色(無地) ・ B種 ・ ループバイル ※ 3K以下 ・ 柄物(標準品) ・ C種 ・ カット、ループ併用		
13	ガラスとめ材及び溝	(表9.6.1) 建具の種類 材種 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット (FIX部はシーリング材) 銅製及び軽量銅製 ※ シーリング材 ステンレス製 ※ シーリング材 ただし、防火設備の戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。	6	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	⑦ 合成樹脂塗床	(19.3.3～4) (表 19.3.2) バイル形状 バイル長(mm) 工法 帯電性 ・ カットバイル ※ 5～7 ※ 全面接着工法 人体帯電圧 ・ ループバイル ※ 4～6 ・ グリッパ工法 ※ 3kV 以下 ・ カット、ループ併用 ※ 4		
14	ガラス用フィルム	板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標仕 16.13.3 以外のアルミニウム建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JASS17 ガラス工事「3.1取まり寸法標準」によるほか、性能が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける	7	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	⑧ フローリング張り	(19.5.2～7) (表 19.5.1～4) 種類 樹種 工法 仕上塗装等 施工箇所 ※天然木化粧複合フローリング ※ なら ※ 杉 ※ 桧 ※ 止め工法(C種) ※ 塗装品 ※ 図示 ※ 無塗装品		
15	重量シャッター	開閉形式 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 (16.10.2) (表16.10.1) 一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない (16.10.2) 機能 ・ 外壁防火 ・ 屋内防火 ・ 防煙 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分 50・80・120 危害防止機構 設置しない箇所 図示 ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) シャッターの二段降下方式 ガイドレール等 ※ ステンレス製 SUS304 ・ 鋼鉄製 (16.10.3～4) (表16.10.2)	8	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	⑨ 畳敷き	(19.6.2) (表 19.6.1) 下地の種類 量の種別 標仕表 12.5.1 による床組 ※ B種 構造適合床 厚 1.2 ※ C種 ・ D種 畳表及び畳床はVOC含有量の少ないものとする。		
16	軽量シャッター	開閉形式 ※ 手動式 上部電動式(手動併用) (16.11.2) (表16.11.1) スラット材質 ※ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 (16.11.3) 形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 (16.11.4) ガイドレール等 ・ ステンレス製 SUS304 t1.5 ※ 鋼鉄製 (表16.11.2) 外部に面するシャッターの耐風圧性能による区分	9	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	10	ポリスチレンフォーム床下地材 ⑩ せつこうボード その他のボード張り		
17	オーバーヘッドドア	セクション材 ※ スチールタイプ アルミニウムタイプ (16.12.2～3) ・ ファイバークラスチックタイプ 開閉方式 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 (16.12.2) 収納方式 ・ スタンダー形 ・ ローヘッド形 (16.12.2) ・ ハリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 鋼板製 ※ ステンレス製 SUS304 (16.12.3) (表16.12.1) 耐風圧性能による区分 50・75・100・125 (16.12.2) 電動式の場合は障害物感知装置を設ける。	10	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	11	ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	(18.11.2) (表 18.11.1)	
18	障害物感知装置	障害物感知装置を設ける電動式のシャッター(ドア)のうち、防火シャッター及び防煙シャッターにおいては、「防火シャッター開閉作動時の危害防止に関するガイドライン」に基づく「危害防止機構を備えた防火シャッターの据え付け」に掲げられた障害物感知装置、又は、二段 その他の電動式のシャッター(ドア)は、電動降下中に障害物を感じし、自動的に停止させる機能を有するものとする。 (16.10.2)	11	3 PCカーテンウォール	12	オイルステイン塗り(OS)	(18.12.2) (表 18.12.1 参照)	
19	大形ガラススクリーン	工法 ・ SSG 構法 ・ ガラスリブ工法 ( ・ ガラス吊下げ工法 ・ ガラス方立工法 ・ 併用工法 ) ・ DPG 工法 ・ MPG 工法 ・ テンションマリオン工法	12	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	13	クリアラッカー塗り(OL)	(18.5.2) (表 18.5.1)	
20	リングシャッター	開閉形式 ・ 手動式 ※ 電動式 パイプの材質 ※ SUS製 ・ 鋼製 シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない	13	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	14	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	(18.6.2) (表 18.6.1)	
21	水圧開放装置	有り ( ) 箇所 無し	14	カーテンウォールの方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法 ) ・ パネル方式 ・ スパンドレル方式 ・ 小型 パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 )	15	耐候性塗料塗り(DP)	(18.7.2) (表 18.7.1) (表 18.7.3)	



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項							
12	吸音材	(表 19.7.1) 種類 JISの記号 厚さ(mm) ・ロックウール吸音ボード 1号 RW-B ※25・ ・グラスウール吸音ボード 2号 32K GW-B ※25・50 ・グラスウール吸音ボード 2号 24K GW-B ※25・50	20	5 階段滑り止め	材種 ※ステンレス SUS304 ・アルミ製 (20.2.6) 形状 ビニルタイ入り 両端フラットエンド ・無 ※有 ( ・スチールSUS304 ※ビニル製) 幅(mm) ※約35 取付方法 ※接着工法 埋込み工法 ※ 集成材クリアッカー仕上げ(市販品) 径約 34mm ・ビニル製ハンドレール(幅 約 50mm) ・図示	26	旗竿	材質 ※アルミニウム合金製 形式 ※テーパー型 ・同一断面型 地上高さ(m) ※ 6 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 12 操作方法 ※ハンド式 ・ロープ式 固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	6	路盤材料	※再生クラッシャーラン (RC-40) (22.3.3) ・クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーランラグ (CS-40) 透水性アスファルト舗装にもいる場合は透水性の高いもの (22.4.2) (表 22.4.1)							
13	壁紙張り	(19.8.2) 記号 壁紙の種類 防火種別 施工箇所 品質等 ①加3A 紙 繊維物(シ) 化学繊維無機 示(一般) A A級 ・加3B 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 A A級 ・加3C 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 ・加3D 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 ・加3E 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他	7 階段手摺		27 旗竿受け金物	市販品 材種 ※ステンレスSUS304	7	アスファルト舗装	舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類 ※アスファルト舗装 ※無し 有り ※顔料混入加熱 73774H 混合物 ・カラー舗装 ※無し 有り								
14	断熱材	(19.9.2~3) 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・押出法 ※2種b 一般部 (屋根スラブ下) ※25 ・发泡フォーム ※3種b 接地部分 ※25 保温暖板 (スチレン付) ※50 ・木繊維メント板 一般部 ※25 特定70を使用しないもの 接地部分 ※50 ※準不燃 メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。 ・硬質ウレタン断熱材(現場発泡断熱材) ※断熱材補修部分 ー 特定70を使用しないもの 一般部 ※15 難燃性 ※3級 2級 密度94N/m <sup>3</sup> 以上 ※25 ・断熱材兼用型枠 木質系 ※壁(図示の範囲) ※40以上 断熱抵抗 厚さ・熱伝導率 =0.676以上(m <sup>2</sup> ・K/W) コカト系 ・フッポリ系 F種建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したものを。	工 事	8 表示標識(サイン)	衝突防止表示 ※図示(市販品) ※ステンレス製 径約30mm ・アルミ製 ・あり(市販品) ※シール 径約30mm) ・無し (20.2.10) 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図に準ずる。	28 フェンス	・ビニル被覆 374111D フェンス ・樹脂塗装 773777フェンス	8	コンクリート舗装	加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表 22.4.6) 区分 ※一般地域 ・寒冷地域 表層 ※密粒度737774H混合物(13) ※密粒度737774H混合物(13F) ・細粒度737774H混合物(13) ・細粒度737774H混合物(13F) 基層 ・粗粒度アスファルト混合物(20)								
15	浴室天井材	市販品 材質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備考 ※アルミニウム製 ※焼付塗装品 準不燃品 ※200 遮熱は焼付とし、 ・アルマイト処理品 ※100 メーカーの標準品とする。 硬質塩ビ製 ※塗装品 ※300 ・木目調 ※100	11	9 煙突用成形ライニング材	最高使用温度 ※650℃ 400℃ (20.2.10) メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	29 屋内掲示板	照明器具 ※有り ・無し 枠の材質 スチール製 施錠 ※有り ・無し	9	透水性舗装	シールコート ※行わない 行う 施工範囲 (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない 行う (22.4.6)								
16	ホルムアルデヒド等 発散材	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※F☆☆☆☆ (19.4.2) (19.5.2) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)	12	10 キャスタブル耐火物	工法 ※こて押し 最高使用温度 ※400℃ メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	30 車止め支柱	※ステンレス製(上下式鎖内蔵型)径114.3mm t=2.5mm H=G+L+700mm ※スプリング付き スプリング無し 埋め込み式 ・鉄線製( ) アルミ鋳物製( ) その他 ( ) 図示(U型)	10	排水性舗装	アスファルト混合物 (22.7.3) (表 22.7.2) ※改良アスファルト(1型) ・改良アスファルト(2型) タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.7.3) (表 22.7.3) 適用時期 下記以外 PKR-11 冬期 PKR-12 ・アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない 行う (22.7.6) ・現場透水性試験 ※行わない 行う								
20	1 フリーアクセスフロア	(20.2.2) 施工箇所 構法 仕上高さ(mm) 適用地耐力(水平力) 耐荷重性能 表面仕上げ材 備考 図示 ・バネ構法 200 ・1.0G ・3000N ・集成材複合フローリング スチール製 ・溝構法 0.6G 5000N ・バネ構法 1.0G 3000N ・帯電防止床タイル ・溝構法 0.6G 5000N ・タイルカーベット ・バネ構法 1.0G 3000N ・帯電防止床タイル ・溝構法 0.6G 5000N ・タイルカーベット 表面仕上げ材の品質、規格等は、19章内装工事による スロープ及びポーター ※メーカーの標準仕様 ・図示 コンセント等取付け対応 ※メーカーの標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数は図示 配線用取り出し開口:パネル 1枚につき 40mm×80mm程度の開口1箇所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式・可変式:施工箇所は図示) メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	13	12 カーテン ロールスクリーン	防火性能 ※有り (20.2.13~14) 施工箇所 カーテン形式 装置 名称品名、寸法等 片引 引分 電動 ひも 手引 建具表提示 ー ー ー ー ー 遮光1級、防炎	31 銘板	・無し 有り 仕様(図示)	13	カーテンレール	材種 アルミニウム製 ・ステンレス製 (20.2.14) 形式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の割合の重掛けとする)								
21	2 移動間仕切り(学校用間仕切り)	(20.2.3) 構造形式 パネル部の総厚さ(mm) 表面材料の厚さ(mm) 仕上げ 不燃材料の認定 ※バネ式 60 ※鋼板 ※防火性能有り ・ストランド 〃 ※鋼板 (※0.6・0.8・0.5) ※防炎性能有り ・スチールバネ式 〃 〃 〃	14	13 カーテンレール	材種 アルミニウム製 ・ステンレス製 (20.2.14) 形式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の割合の重掛けとする)	32 定礎	・定礎石 ※花こう岩 彫り込み文字 大きさ(mm) 400×300×30 ・定礎箱 ※ステンレス製 鋼板製 大きさ(mm) 350×270×70	14	ブラインドボックス及びカーテンボックス	材種 アルミニウム製(受け枠 アルミ製 ※ステンレス製) サイズ 600×600 450×450 仕上げ材 ※床仕上げと同材 耐火性能 有 無 市販品 形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用	33 避難器具	金属製避難はしご及び降降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。						
22	3 移動間仕切り(スライディングウォール)	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	15	14 ブラインドボックス及びカーテンボックス	市販品 (アルミニウム製出し型材) ・木製 溝幅×深さ(mm) ※90×150・120×85・120×85・120×180・200×150 色彩 ※B-1 ・B-2 ( ・アラウ系 ・アラウ ※アラウ)	34 防煙垂れ壁	・固定式 ※アルミフレーム 高さ(mm) ※500 600 ガラス( ・線入りガラス ※網入りガラス 6.8) 可動式 ※法令に適合した製品、施工とする。 ・垂直降下式( ・可動レール ※固定レール) 高さ(mm) ※500・800 材質 ※不燃物(不燃認定品) ・回転降下式(※天井間材張り ・鋼板又は鉄製) 高さ(mm) ※500・800 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋め込み型) ・復旧方式(※手動巻上げハンドル 電動式) ・まぐさ・座板・レールの材質(鋼板又は鉄製) ・73774H 鋼製・スチール製	15	耐震スリット	方向 タイプ 耐火性能 防水性能 ・垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・不完全スリット ・非耐火型 ・無し	35 消火器ボックス(設備工事)	市販品( ・埋め込み型 ○露出型) ( ○無し 扉付き) 材質 ○鋼板焼付塗装( ○標準色 指定色) ステンレス製 ※消防などに適合した形状・設置場所とする。						
23	4 トイレブース	(20.2.5) 表面仕上げ材メラミン樹脂化粧板 ポリエステル樹脂化粧板 t=40 足形状 ※幅木型(スチールSUS304) ・足金物型(スチールSUS304)	16	15 耐震スリット	方向 タイプ 耐火性能 防水性能 ・垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・不完全スリット ・非耐火型 ・無し	36 自転車置場	・止め金物式 ・機械2段式	22	1 排水管	排水管材料 (21.2.1) (表 21.2.1) (21.3.3) 材種 管の種類 管形状(接合方法) ※遠心力コンクリート管 ※外圧管(※1種・2種) B型(ゴム接合) ・硬質塩化ビニル管 ※V P ・V U ・鋼管 ・白管 車道部の排水管の敷設 ※図示 (21.3.1) (21.3.3) ・砂基礎(地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)	37 自転車置場	・止め金物式 ・機械2段式	23	1 樹木の植栽基礎整備	芝及び地被類 (23.2.2~3) (表 23.2.1~2) 適用 有効土層の厚さ(cm) 工法 整備範囲 ※行う・行わない ・20 ・300 ※B種 ・植栽範囲 図示 樹木 (23.2.2~3) (表 23.2.1~2) 樹木の樹高 有効土層の厚さ(cm) 工法 整備範囲 ・12m以上 ※100・120・150 ※A種 ・養液りの範囲 ・7超~12m未満 ※80・100 ※B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3超~7m以下 ※60・80 ※C種 図示 ・3以下 ※50・60 ※D種 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補填用土で盛土を行う。			
24	2 可動間仕切り	(20.2.5) 取付け方法はメーカーの仕様により、適切な資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	17	16 止水板	形状 ・差込式 ・据置式 ※壁張り式 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	38 郵便受箱	・ステンレス製既製品 (前入後出 370×455×150)	24	2 可動間仕切り	材種 鋼製マンホールふた (21.2.2) 種類 / 適用荷重 T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 形状寸法 ・水封形 ー ー ー ー ー ・密閉形(手回しレバー付) ー ー ー ー ー ・簡易気密形(手回しレバー付) ー ー ー ー ー ・中蓋付密閉形 ー ー ー ー ー ・断熱形 ー ー ー ー ー	39 収納、収納家具	材質、形状、寸法 ※図示 (12.2.2) (19.7.2) ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※F☆☆☆☆	24	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用	39	2 可動間仕切り(学校用間仕切り)	(21.2.3) (表 3.2.1) ※B種 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
25	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	18	18 床下点検口	材種 アルミニウム製(受け枠 アルミ製 ※ステンレス製) サイズ 600×600 450×450 仕上げ材 ※床仕上げと同材 耐火性能 有 無 市販品 形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用	40 エキスパンションジョイント金物	材質 ・アルミ(内部) ・ステンレス(外部) クリアランス50・100・150・200 耐火性能 ・有り(図示) ・無し 防水型 ※適用する ・適用しない	24	3 移動間仕切り(スライディングウォール)	材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用								
26	4 トイレブース	(20.2.5) 表面仕上げ材メラミン樹脂化粧板 ポリエステル樹脂化粧板 t=40 足形状 ※幅木型(スチールSUS304) ・足金物型(スチールSUS304)	19	19 箱置	市販品 形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用	41 ホルムアルデヒド等 発散材	ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※F☆☆☆☆	25	2 可動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用								
27	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	20	20 かつまきマット	市販品	21	排水工	排水工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							
28	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	21	21 流し台ユニット	種類 寸法(L×mm) 適用内容 備考 ・流し台 ・1200・1500 トラップ付き ※市販品 ・コンコ台 ・600 バックガード ※有り ※市販品 ・つり戸棚 ・1200・900 H=500 ※市販品 ・レンジフード ※600 ・ 又は1段式 ※市販品 ・水切り棚 ※1200 有り 無し 吊り戸棚の耐火性 有り 無し ①ミニキッチン L1500 IH付(電気温水器設備工事)	21	排水工	排水工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							
29	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	22	22 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 ステンレス製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り サイズ 図示	22	舗装工	舗装工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							
30	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	23	23 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約400 約600・350 仕様 ・扉及び中継付 ・オープン	22	舗装工	舗装工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							
31	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	24	24 誘導用及び注意喚起用床材	仕様はJIS T9251による 屋内 ・塩化ビニル製 ○磁器又はせっき質タイル(※300・ ) ・ステンレス鋼打 ・レジンコンクリート製 ・ステンレス鋼打 ○磁器又はせっき質タイル(※300・ ) ・ステンレス鋼打 石材( ・花こう岩 ・人造石 )	22	舗装工	舗装工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							
32	3 移動間仕切り	(20.2.4) 遮音性能による区分 遮音グレード 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 施工箇所・備考 ・一般タイプ ※T-1 50 ※鋼板 焼付け塗装 2階活動室 ・遮音タイプ ※T-3 ※鋼板 焼付け塗装 2階会議室 ・焼付塗装 壁紙貼り	25	25 敷地境界石標	・花こう岩類(文字記号入り) ※市販品(コンクリートブロック製)	22	舗装工	舗装工	25	3 移動間仕切り	グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 適用荷重 フォン・ビツ 上面形状 鋼製(車輪付) ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ※無し ・U字溝用 ・T-14用 ・平形 ・図示 無し ・T-20用 ・T-25用							





2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3) (3.4.3)(2)(3)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ M4AS</td> <td>・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</td> <td>屋上、下屋</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・ ( N種 ) ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ・ ( ) ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ ( ) ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ・ ( ) ・ (表3.4.1)~(表3.4.3)による</p> <p>断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, P0AS1) 材質 ・ ( ) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ ・ ( )</p> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: )、材質 ( ) ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ S3S ・ S3SI</td> <td>・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> </tr> </table> <p>ルーフィングシート 種類 ・ ( ) ・ (表3.5.1)及び(表3.5.2)による 厚さ ・ ( ) ・ (表3.5.1)及び(表3.5.2)による</p> <p>断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質 ・ ( ) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの 厚さ ・ ( )</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: )、材質 ( ) ) ・ 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号: ) 増張り ・ 図示 (図面番号: )</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ P0X ・ L4X</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td>屋根</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 断熱工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: )、材質 (SUS) ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIY ・ P2Y</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号: )</p>	工法	種別	施工箇所	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	屋上、下屋	工法	種別	施工箇所	・ S3S ・ S3SI	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)		工法	種別	施工箇所	・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根		・ 断熱工法		工法	種別	施工箇所	・ PIY ・ P2Y	・ Y-2		3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3) (表3.5.1) (表3.5.2) (3.5.2)(b) (3.5.3)					
	工法	種別	施工箇所																															
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	屋上、下屋																																
工法	種別	施工箇所																																
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1 (S1-F1) ・ S-F2 (S1-F2)																																	
工法	種別	施工箇所																																
・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根																																
	・ 断熱工法																																	
工法	種別	施工箇所																																
・ PIY ・ P2Y	・ Y-2																																	
4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a) (3.6.3)(b)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ P0X ・ L4X</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td>屋根</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 断熱工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: )、材質 (SUS) ) ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIY ・ P2Y</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>ガラス</td> </tr> <tr> <td>・ SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>サッシ廻り</td> </tr> <tr> <td>○ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td>打継ぎ目地、誘発目地</td> </tr> <tr> <td>○ PU-2</td> <td>ポリアウレン系</td> <td>外壁</td> </tr> </table> <p>工法 ○ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm) ・ブリッジ工法 (ボンドブレード幅 mm、エッジング材幅 mm)</p> <p>シーリング材の試験 ○ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない</p> <p>材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (か-) ・ 配管用鋼管 (白管)</p> <p>工法 ・ 図示 (図面番号: )</p>	工法	種別	施工箇所	・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根		・ 断熱工法		工法	種別	施工箇所	・ PIY ・ P2Y	・ Y-2		種類	材種	施工箇所	○ SR-1	シリコーン系	ガラス	・ SR-2	シリコーン系		○ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り	○ PS-2	ポリサルファイド系	打継ぎ目地、誘発目地	○ PU-2	ポリアウレン系	外壁
工法	種別	施工箇所																																
・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根																																
	・ 断熱工法																																	
工法	種別	施工箇所																																
・ PIY ・ P2Y	・ Y-2																																	
種類	材種	施工箇所																																
○ SR-1	シリコーン系	ガラス																																
・ SR-2	シリコーン系																																	
○ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り																																
○ PS-2	ポリサルファイド系	打継ぎ目地、誘発目地																																
○ PU-2	ポリアウレン系	外壁																																
5 既存防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.6)(c)(2) (3.2.6)(c)(6)																																		
6 シーリング (3.7.2) (表3.7.1)																																		
(3.7.4~7)																																		
7 とい (3.8.2)(表3.8.1)																																		

8 アルミニウム製 笠木 (3.9.2)(c) (表3.9.1) (3.9.3)(b) (3.9.2)(d) (表5.2.2)	<p>部材の種類 ・ 押し出し250形 (アルミ製手摺付) ・ 押し出し300形 ・ 押し出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 糸幅110mm、板厚 ・ 2.0mm ・ 1.7mm) 固定金具の間隔 ( mm ) ・ 図示 固定方法 ・ 図示 表面処理 ・ ( )</p> <p>工法 既存笠木の撤去 ・ 図示 (図面番号: ) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号: ) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号: ) 笠木固定金具の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。 ・ FRP防水 ○ 要 (引き渡しの日から5年間)</p>	9 FRP防水 防水保証																																																				
	④ 外壁改修工事		<p>1 施工数量調査 ・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ・ ( ) 調査項目 ・ ひび割れ部 ( ・ 幅0.2mm、 ・ 0.2mm~1.0mm、 ・ 1.0mm以上 ) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 足場 ・ ゴンドラ ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</p> <table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンリート打放し 仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り 仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り 仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ モルタル塗り 仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																			
外壁	種類	改修工法																																																				
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																				
	欠損部	・ 充填工法																																																				
・ モルタル塗り 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																				
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																				
・ モルタル塗り 仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																				
	② 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンリート打放し 仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り 仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り 仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ モルタル塗り 仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																				
外壁	種類	改修工法																																																				
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																				
	欠損部	・ 充填工法																																																				
・ モルタル塗り 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																				
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																				
・ モルタル塗り 仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																				
	3 改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>・ 樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( 25ml ) 注入間隔 ( 200~300 ) ・ 自動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入間隔 ( ) ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入間隔 ( )</p> <p>材料 エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 抜取り個数 ( ) ・ 抜取り部分補修方法 ( )</p> <p>Uカットシール材充填工法 材料 ・ シーリング用材充填 ( ・ PU-2 ・ ( ) ) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない</p>	<p>(4.2.2)(g) (4.3.6) (4.4.7) (4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8) (4.2.2)(e) (4.5.8) (4.2.2)(e) (4.4.10) (4.4.11) (4.2.2)(e) (4.4.11) (4.2.2)(e) (4.4.12) (4.2.2)(f) (4.4.13) (4.4.3) (4.2.2)(f) (4.4.14) (4.4.4) (4.2.2)(f) (4.4.15) (4.4.4) (4.2.2)(h) (4.5.7)</p> <p>・ シール工法 材料 ・ ハテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・ モルタル塗替え工法 材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ( ) 仕上げ厚 ( )</p> <p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ( )</p> <p>・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ( )</p> <p>・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ( )</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ( )</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ( )</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ ( ) ・ ポリマーセメントスラリー ( ) ・ 注入口付アンカーピン ( )</p> <p>・ タイル部分張替え工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリアウレン樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>工法</th> <th>区分</th> <th>うわ</th> <th>役物</th> <th>耐薬品</th> <th>特注色</th> <th>耐凍害</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類(磁器)</td> <td>II類(せつ器)</td> <td>III類(陶器)</td> <td>くすり</td> <td></td> <td>性有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 設ける ( ・ 一体成形 ・ 接着加工 ) ・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない ・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ タイル張替え工法</p> <table border="1"> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイルの大きさ</th> <th>工法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 外装 タイル</td> <td rowspan="2">小口以上二丁掛け以下</td> <td>・ 密着張り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・ 改良積み上げ張り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満</td> <td>・ 改良圧着張り</td> <td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td> </tr> <tr> <td>・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り</td> <td>3~4 3~5</td> </tr> </table> <p>(4.5.15) (4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.3)</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの配置 ( 本/m ) ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 × ) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う ( ・ 簡易接着性試験 ・ 行わない )</p>	施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわ	役物	耐薬品	特注色	耐凍害				I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	くすり		性有無																			タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)	・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8	・ 改良積み上げ張り	4~7	・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り
施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわ	役物	耐薬品	特注色	耐凍害																																														
			I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	くすり		性有無																																														
タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)																																																			
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8																																																			
		・ 改良積み上げ張り	4~7																																																			
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4																																																			
		・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り	3~4 3~5																																																			
④ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">薄付け 仕上げ塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装薄塗材 E</td> <td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td> <td>こて ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け 仕上げ塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E</td> <td>・ 吹き放し ・ 凸凹処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け 仕上げ塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E</td> <td>・ 吹き放し ・ 凸凹処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し</td> <td>こて ローラー</td> </tr> </table>	種 類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け 仕上げ塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	こて ローラー	厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し	こて ローラー																															
種 類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																			
薄付け 仕上げ塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け																																																			
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	こて ローラー																																																			
厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け																																																			
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて																																																			
厚付け 仕上げ塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹き放し ・ 凸凹処理	吹付け																																																			
		・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し	こて ローラー																																																			
	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上 塗材</td> <td rowspan="2">・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ○ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 凸凹処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形 改修用 仕上げ塗材</td> <td rowspan="2">・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE</td> <td>○ 凸凹模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状 ・ さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形 改修用 仕上げ塗材</td> <td rowspan="2">・ 可とう形改修塗材 C E</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> </table> <p>・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 ( kg/m<sup>2</sup> )</p>	種 類	呼び名	仕上げ形状	工法	複層仕上 塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ○ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ ゆず肌状	ローラー	・ 凸凹処理	吹付け	可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE	○ 凸凹模様	吹付け	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー	可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材 C E	・ ゆず肌状	吹付け																																	
種 類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																			
複層仕上 塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ○ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ ゆず肌状	ローラー																																																			
		・ 凸凹処理	吹付け																																																			
可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE	○ 凸凹模様	吹付け																																																			
		・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー																																																			
可とう形 改修用 仕上げ塗材	・ 可とう形改修塗材 C E	・ ゆず肌状	吹付け																																																			

(4.6.6) (表4.6.7)  (表4.2.5)  (4.6.3)  (4.6.4)	・マステック塗材塗り ・A種 ・B種 仕上材塗り ( )  <b>複層仕上塗材の上塗材の種類</b> <table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>○ 水 系</td> <td>○ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水 系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table> (注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。	樹脂種類	溶媒種類	外 観	○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	○ 水 系	○ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無	9 鋼製建具  鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( ) JIS G 3317 ・ Y08 ・ ( ) ・ H>2400又はW>950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: )  ① 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)  鋼製軽量建具の性能等級 ○ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ H>2400又はW>950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)  11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)  (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)  ② 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)  ③ 自動ド7開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3)(f)  14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)  15 重量シャッター (5.10.2)  (5.10.2)(g) (表5.10.1) (5.10.2)(f)  16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)  17 オーバーヘッド ドア (5.12.2) (5.12.3)  ④ ガラス材料、工法 (5.13.2)(a) (5.13.4)  ⑤ ガラス留め材 (5.13.2)(b)  ⑥ ガラス溝の寸法、 形状等 (5.13.3)	21 ガラスブロック 積み (5.13.5)  ⑥ 内装 改修 工 事  ① 一般事項 (6.1.3)(b)  (6.1.3)(c) (6.1.3)(f)  ② 既存床撤去、 下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(c)  ③ 既存壁撤去、 下地補修 (6.3.2)  4 木下地等 (6.5.1)(c) (表5.5.1) (6.5.2)(a)(1) (表6.5.2)  (6.5.2)(b)(1)  (6.5.2)(b)(2) (iv) (表6.5.3)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: ) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号: ) 工法 ・ 図示 (図面番号: ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する  既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改 修 範 囲</th> </tr> <tr> <td>○ 天井</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>○ 壁</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>○ 床</td> <td>○ 図示 ・ ( )</td> </tr> </table> 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ○ 図示 ・ ( ) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ○ 図示 ・ ( ) 既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない  合成樹脂塗料床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法  改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ( ) 既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )  表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table> 製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種 寸法 防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号: ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( ) <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>樹種</th> <th>県産材</th> </tr> <tr> <td>部位</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (6.5.2)(b)(2)(iv) 代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない  (6.5.2)(c)(i) (6.5.2)(b)(ii) 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用 集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用 造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (6.5.2)(c)(ii) 「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種 寸法 見付け材面の品質及び厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 1.5%以下 ・ ( )  (6.5.2)(d)(i) 造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>厚 さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </table> (6.5.2)(d)(ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ 表面の品質 防虫処理 ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 1.4%以下 ・ ( )  (6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等 <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号 ) 保存処理性能区分 ( ) 薬剤の塗布等の処理方法 ( ) ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ( )	改修部分	改 修 範 囲	○ 天井	○ 図示 ・ ( )	○ 壁	○ 図示 ・ ( )	○ 床	○ 図示 ・ ( )	部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		樹種	樹種	県産材	部位												部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		化粧ばり構造用 造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )			部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																					
		樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																																																																																																			
○ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
・ シリカ系	○ 水 系	○ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
	・ 水 系	・ 艶無																																																																																																																																					
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																																																																																																					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無																																																																																																																																					
改修部分	改 修 範 囲																																																																																																																																						
○ 天井	○ 図示 ・ ( )																																																																																																																																						
○ 壁	○ 図示 ・ ( )																																																																																																																																						
○ 床	○ 図示 ・ ( )																																																																																																																																						
部材名称	種 別																																																																																																																																						
下地材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																						
造作材	・ A種 ・ B種																																																																																																																																						
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																																																																																				
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
樹種	樹種	県産材																																																																																																																																					
部位																																																																																																																																							
部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ																																																																																																																																				
造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
化粧ばり構造用 造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )																																																																																																																																						
部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																				
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																					
部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																	
⑤ 建 具 改 修 工 事  1 改修工法 (5.1.3)  2 防火戸 (5.1.4)  3 見本の製作 (5.1.5)  4 防犯建物部品 (5.1.7)  ⑤ ブラインドカーテン ボックス等 (5.1.6)(c)  ⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (表5.2.1)  (表5.2.2)  ⑦ 網戸 (5.2.3)(e)  8 樹脂製建具 (5.3.2)(表5.3.1) (表5.3.2)(表5.3.3) (5.3.3)(5.3.4) (5.3.5)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法  ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法  ・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号 ) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号: )  ・ 製作する ・ 製作しない  ・ 図示 (図面番号: )  ・ 再使用する ○ 再使用しない  性能等級等 ・ A種 ○ B種 ・ C種  ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット (等級 ) ・ 耐震ドアセット (等級 ) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号: )  アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ○ 外部に面する建具 ・ B-1 ○ B-2 ・ A-2 ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ・ ( )  ○ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ○ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ○ 16メッシュ ・ 18メッシュ  性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種  ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 ) ・ 断熱ドアセット (等級 ) ガラス ・ 複層ガラス ・ ( ) 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: ) 水切り ・ 図示 (図面番号: ) ぜん板 ・ 図示 (図面番号: ) 丁番 ・ (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )	④ ガラス材料、工法 (5.13.2)(a) (5.13.4)  ⑤ ガラス留め材 (5.13.2)(b)  ⑥ ガラス溝の寸法、 形状等 (5.13.3)	(6.5.2)(b)(2) (iv) (表6.5.3)																																																																																																																																				



(6.5.5) (b)	<p>5 軽量鉄骨天井下地</p> <p>(6.6.2)</p> <p>(表6.6.1)</p> <p>(6.6.3)</p> <p>防虫処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>野縁等の種類</p> <p>○ 屋内 ○ 19形 ( )</p> <p>・ 屋外 ・ 25形 ( )</p> <p>形式及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋外 図示 (図面番号: )</li> <li>耐震天井 図示 (図面番号: )</li> <li>○ ふとこ ≥ 1.5m ○ (6.6.4) (h) 図示 (図面番号: )</li> <li>・ ふところ &gt; 3m 図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>既存埋込みインサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する ○ 使用しない</li> </ul> <p>既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う (図面番号: ) ○ 行わない</li> </ul> <p>耐震天井</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>スタッド、ランナーなどの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図示 (図面番号: A-13)</li> </ul>																																																																																												
(6.6.4)	<p>6 軽量鉄骨壁下地</p> <p>(6.7.2)</p> <p>(6.6.4) (a) (1)</p> <p>7 ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り</p> <p>(6.8.2)</p> <p>(6.8.2) (a)</p> <p>(6.8.2) (b)</p> <p>材料</p> <p>○ ビニル床シート 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>マーブル</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ビニル床タイル 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 帯電防止床シート、床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 防滑性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ゴム床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工法</p> <p>下地</p> <p>○ モルタル下地 ・ 木下地</p> <p>・ その他 ( )</p> <p>(6.8.3) (b)</p> <p>熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>ビニル床シート張り</p> <p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タフテッドカーベットの</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )</td> <td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>(6.9.3) (c)</p> <p>・ ニードルパンチカーベットの</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>(6.9.3) (d)</p> <p>・ タイルカーベットの</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ 接着工法</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル</td> <td>・ 500×500 ( )</td> <td>・ 6.5 ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>(6.9.3) (e)</p> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ( )</p> <p>見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 図示 (図面番号: ) )</p> <p>敷き方</p> <table border="1"> <tr> <th>平場</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>( )</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 市松敷き</td> <td>・ 模様流し</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>(6.9.4) (e))</p>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マーブル	2.0mm		種類	厚さ	備考				種類	性能	厚さ	備考					種類	形状	備考				種類	性能	厚さ	備考					種類	性能	厚さ	備考					種類	厚さ	備考				種類	パイル形状	帯電性	品質の程度	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )	・ ( )	パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ( )	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )		種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度	・ 接着工法	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ( )	・ 6.5 ( )	・ ( )	平場	市松敷き	模様流し	( )		・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																										
FS	マーブル	2.0mm																																																																																											
種類	厚さ	備考																																																																																											
種類	性能	厚さ	備考																																																																																										
種類	形状	備考																																																																																											
種類	性能	厚さ	備考																																																																																										
種類	性能	厚さ	備考																																																																																										
種類	厚さ	備考																																																																																											
種類	パイル形状	帯電性	品質の程度																																																																																										
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )	・ ( )																																																																																										
パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																									
・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルルーフパイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ( )																																																																																									
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																											
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ( )																																																																																												
種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																									
・ 接着工法	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500 ( )	・ 6.5 ( )	・ ( )																																																																																									
平場	市松敷き	模様流し	( )																																																																																										
	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )																																																																																										

9 合成樹脂塗床	<p>(6.10.3) (b) (1)</p> <p>(表6.10.4)</p> <p>(6.10.3) (b) (2)</p> <p>(表6.10.4) ~</p> <p>(表6.10.8)</p> <p>弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ</li> </ul> <p>エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ (平滑・防汚)</li> <li>樹脂モルタル仕上げ (平滑・防汚) ・ 防汚仕上げ</li> </ul> <p>10 フローリング張り</p> <p>(6.11.6)</p> <p>(表6.11.6)</p> <p>・ モルタル埋込み工法</p> <p>フローリングブロック (単位:mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>辺材部分には、防虫処理を行う</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>種 別</th> <th>樹 種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>防湿処理 図示 (図面番号: )</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td> <td>・ A種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td> <td>・ B種</td> <td>・ なら ・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット (直張用)</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート 図示 (図面番号: )</p> <p>塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)</li> <li>オイルステイン塗りのうえワックス塗り</li> <li>生地そのままワックス塗り</li> <li>( )</li> </ul> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空室工事終了後、焼けに対する養生をすること。</li> <li>建材費 K T-III</li> </ul> <p>11 畳敷き</p> <p>(6.12.2)</p> <p>(表6.12.1)</p> <p>12 セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り</p> <p>(6.13.2)</p> <p>(表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○セッコウボード</td> <td></td> <td>壁 ・ 9.5 (準不燃) ○12.5 (準不燃) 天井 ○9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○化粧セッコウボード</td> <td>○トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>○9.5 (準不燃) ○9.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ロックウール化粧吸音板</td> <td>○普通 ・ 立体模様</td> <td>○9</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプ II 0.8FK</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○シーシングセッコウボード</td> <td></td> <td>○12.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 強化セッコウボード</td> <td></td> <td>・ 21 (不燃)</td> </tr> </table> <p>遮音シール材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</li> </ul> <p>合板類の張付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ○ B種</li> </ul> <p>セッコウボードの目地工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継目処理 ・ 突付け ・ 目透し</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>品質の程度</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>内部壁・天井</td> <td>A A級</td> <td>○不燃 ○準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table> <p>既製目地材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する (形状 )</li> </ul> <p>床の目地 図示 (図面番号: )</p> <p>緩衝材 図示 (図面番号: )</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置 ○ 図示 (図面番号: )</p> <p>13 タイル張り</p> <p>(6.16.2)</p> <p>(6.16.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>工法</th> <th>用途による区分</th> <th>すべり抵抗性</th> <th>I 類磁器</th> <th>II 類磁器</th> <th>III 類磁器</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>耐薬品性</th> <th>特注色</th> <th>耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <td>ポーチ床</td> <td>300角</td> <td>圧着張</td> <td>屋外床</td> <td></td> <td>○</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>二丁掛</td> <td>圧着張</td> <td>屋外壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホール壁</td> <td>100角</td> <td>圧着張</td> <td>屋内壁</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>試験張り ・ 行う ・ 行わない</p> <p>見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p> <p>コンクリート素地面の目荒らし工法 ・ 行う</p> <p>・ セッコウ系 ○ セメント系</p> <p>塗厚 ( ) mm</p> <p>14 断熱材</p> <p>(6.16.3) (a) (3)</p> <p>(6.16.5)</p> <p>16 セルフレブリング材塗り</p> <p>(6.17.2)</p> <p>17 断熱材</p> <p>(9.5.2)</p> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	樹種	厚さ	寸法	備考	・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う	・ ( )				材 料	種 別	樹 種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )	材 種	樹 種	厚 さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用)				・ フローリングブロック (直張用)				・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種			・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ なら ・ ( )		・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種			・ モザイクパーケット (直張用)	・ ( )	・ ( )	・ ( )	材 種	種 別	厚さ(mm)	○セッコウボード		壁 ・ 9.5 (準不燃) ○12.5 (準不燃) 天井 ○9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)	○化粧セッコウボード	○トラバーチン模様 ・ 木目模様	○9.5 (準不燃) ○9.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃)	○ロックウール化粧吸音板	○普通 ・ 立体模様	○9	・ けい酸カルシウム板	・ タイプ II 0.8FK		○シーシングセッコウボード		○12.5 (準不燃)	・ 強化セッコウボード		・ 21 (不燃)	施 工 箇 所	品質の程度	防火性能	内部壁・天井	A A級	○不燃 ○準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	I 類磁器	II 類磁器	III 類磁器	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無	ポーチ床	300角	圧着張	屋外床		○	( )	( )						外壁	二丁掛	圧着張	屋外壁										ホール壁	100角	圧着張	屋内壁					○					種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ 硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム			
樹種	厚さ	寸法	備考																																																																																																																																																		
・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う																																																																																																																																																		
・ ( )																																																																																																																																																					
材 料	種 別	樹 種																																																																																																																																																			
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																																																																																																																																			
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )																																																																																																																																																			
材 種	樹 種	厚 さ	大きさ																																																																																																																																																		
・ フローリングボード (直張用)																																																																																																																																																					
・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																					
・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種																																																																																																																																																				
・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ なら ・ ( )																																																																																																																																																			
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種																																																																																																																																																				
・ モザイクパーケット (直張用)	・ ( )	・ ( )	・ ( )																																																																																																																																																		
材 種	種 別	厚さ(mm)																																																																																																																																																			
○セッコウボード		壁 ・ 9.5 (準不燃) ○12.5 (準不燃) 天井 ○9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)																																																																																																																																																			
○化粧セッコウボード	○トラバーチン模様 ・ 木目模様	○9.5 (準不燃) ○9.5 (不燃) ・ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																			
○ロックウール化粧吸音板	○普通 ・ 立体模様	○9																																																																																																																																																			
・ けい酸カルシウム板	・ タイプ II 0.8FK																																																																																																																																																				
○シーシングセッコウボード		○12.5 (準不燃)																																																																																																																																																			
・ 強化セッコウボード		・ 21 (不燃)																																																																																																																																																			
施 工 箇 所	品質の程度	防火性能																																																																																																																																																			
内部壁・天井	A A級	○不燃 ○準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																			
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	I 類磁器	II 類磁器	III 類磁器	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無																																																																																																																																									
ポーチ床	300角	圧着張	屋外床		○	( )	( )																																																																																																																																														
外壁	二丁掛	圧着張	屋外壁																																																																																																																																																		
ホール壁	100角	圧着張	屋内壁					○																																																																																																																																													
種 別	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																					
・ 硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																																					
・ フェノールフォーム																																																																																																																																																					

(9.5.3)	<p>断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ A種1</td> <td>( )</td> <td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種2</td> <td>( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種3</td> <td>( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)	施 工 箇 所	・ A種1	( )	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種2	( )		・ A種3	( )	・ ( )																																																	
種類	厚さ (mm)	施 工 箇 所																																																												
・ A種1	( )	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																																												
・ A種2	( )																																																													
・ A種3	( )	・ ( )																																																												
7 塗装改修工事	<p>1 材料</p> <p>(7.1.3) (b)</p> <p>2 下地調整</p> <p>(7.2.1~7.2.7)</p> <p>(表7.2.1) ~</p> <p>(表7.2.7)</p> <p>3 錆止め塗料塗り</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(表7.3.1)</p> <p>(7.3.3)</p> <p>(表7.3.3) ~ (表7.3.4)</p> <p>4 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>(7.4.3~7.4.5)</p> <p>(表7.4.1) ~ (表7.4.4)</p> <p>5 クリヤラッカー塗り (OL)</p> <p>(7.5.2)</p> <p>(表7.5.1)</p> <p>6 フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</p> <p>(7.6.2) ~ (7.6.4)</p> <p>7 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)</p> <p>(7.7.2)</p> <p>(表7.7.1)</p> <p>8 耐候性塗料塗り (DP)</p> <p>(7.8.2) ~</p> <p>(7.8.4)</p> <p>(表7.8.1) ~</p> <p>(表7.8.3)</p> <p>9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-0)</p> <p>(7.9.2) ~ (7.9.5)</p> <p>(表7.9.1) ~ (表7.9.4)</p> <p>10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</p> <p>(7.10.2)</p> <p>(表7.10.1)</p> <p>11 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</p> <p>(7.11.2)</p> <p>(表7.11.1) ~</p> <p>(表7.11.3)</p> <p>12 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</p> <p>(7.13.2)</p> <p>(表7.13.1)</p> <p>13 ラッカーエナメル塗り (LE)</p> <p>(7.13.2)</p> <p>(表7.13.1)</p> <p>14 オイルワニス塗り (OS)</p> <p>(7.14.2)</p> <p>15 木造保護塗料塗り (WP)</p> <p>(7.15.2)</p> <p>(表7.15.1)</p>	<p>・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</p> <p>・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 )</p> <p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてRB種の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示 (図面番号: )</li> </ul> <p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ モルタル、プaster面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>○ セッコウボード、その他ボード面</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </table> <p>錆止め塗料種別</p> <p>○ 鉄鋼面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋外 A種</li> <li>屋内 ・ A種 ・ B種</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>亜鉛めっき鋼面</li> <li>・ A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>錆止め塗料塗り種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 ・ C種</li> <li>亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>塗料種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1種 ・ ( )</li> </ul> <p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>種別</p> <p>木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>適 用</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> <tr> <td>○ 鉄鋼面</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> </tr> </table> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種</li> </ul> <p>上塗り等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (シリコン系)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </table> <p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ○ B種 ・ C種</li> <li>しみ止め ( )</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(表7.14.1参照)</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ・ B種</li> </ul>	下 地	種 別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		○ モルタル、プaster面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	○ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		下 地	種 別	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	○ 鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	下 地	適 用	・ 木部	(表7.6.1参照)	○ 鉄鋼面	(表7.6.1参照)	・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面		下 地	種 別	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート面及び	・ A-1種 ・ A-2種	押出成形セメント板面	・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	下 地	種 別	コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
	下 地	種 別	ひび割れ部の補修																																																											
	・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																												
	○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																												
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																												
	○ モルタル、プaster面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																											
	○ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																											
	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																											
	○ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																												
	下 地	種 別																																																												
	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																												
	○ 鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種																																																												
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																												
	下 地	適 用																																																												
	・ 木部	(表7.6.1参照)																																																												
○ 鉄鋼面	(表7.6.1参照)																																																													
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面																																																														
下 地	種 別																																																													
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																													
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																													
コンクリート面及び	・ A-1種 ・ A-2種																																																													
押出成形セメント板面	・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																													
下 地	種 別																																																													
コンクリート、モルタル、 プaster、セッコウボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )																																																													
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																													
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																													
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																													

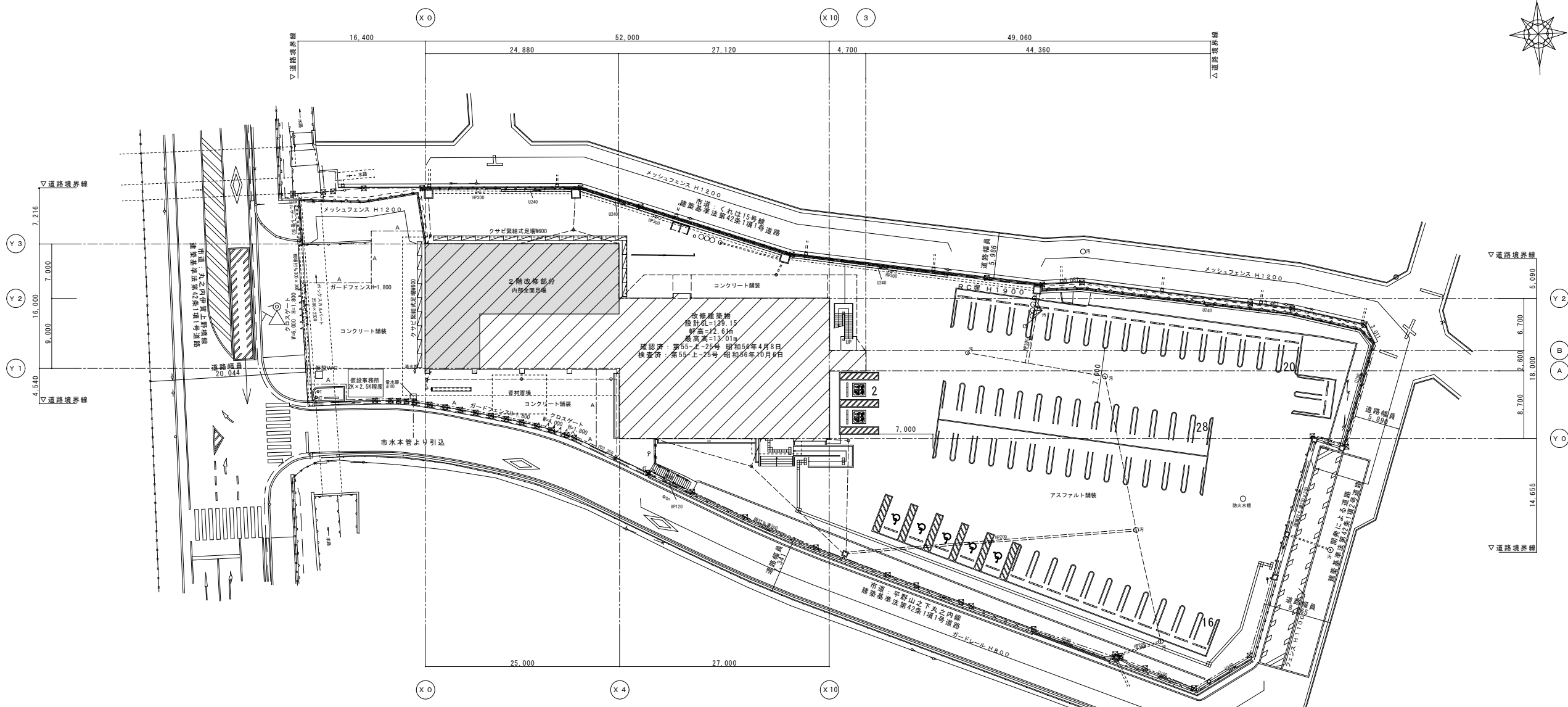
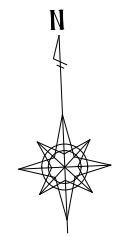
特記		工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	承認		管理建築士	
		図名	改修工事特記仕様書 4	図尺	NS (A1) NS (A3)	図番	A-08
						図製	
						図検	
						図出	





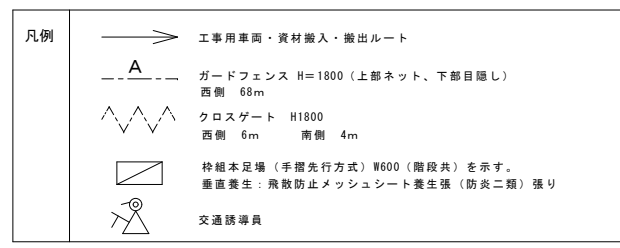
特記	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	位置図	縮尺 1/2500 (A1) 1/5000 (A3)	図番 A-09	前案提出日	



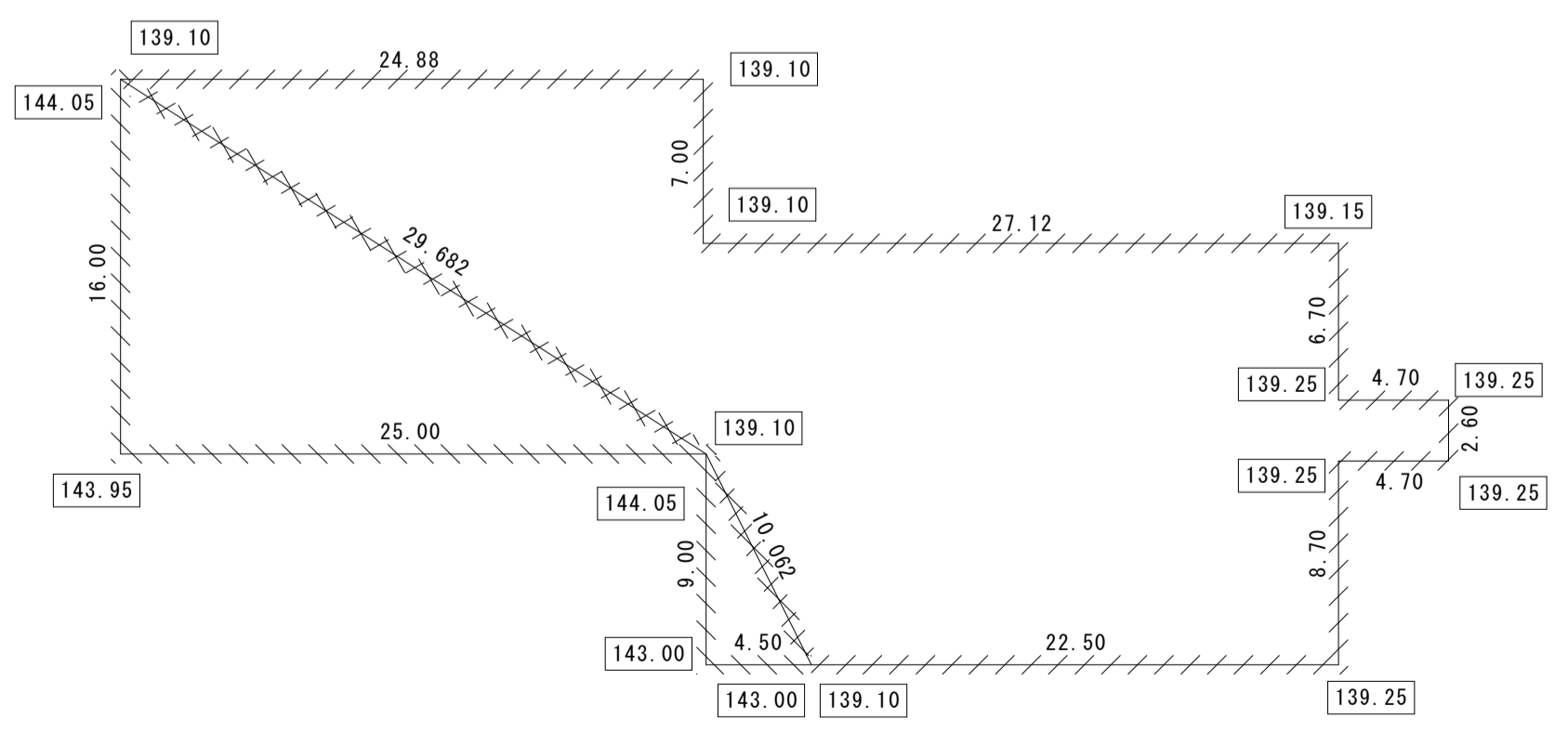
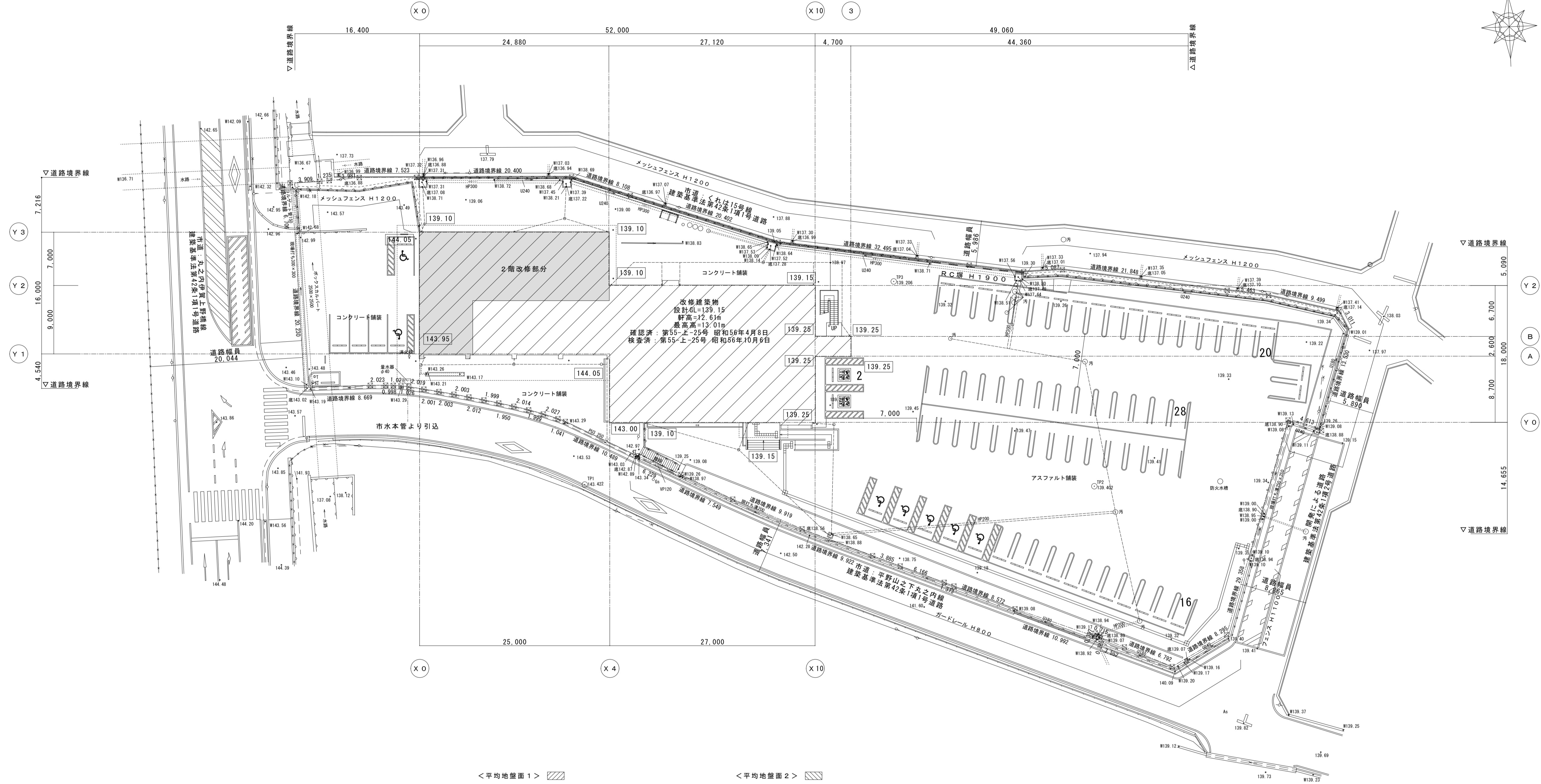
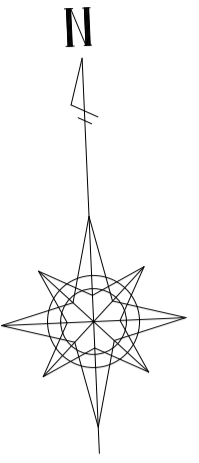


- 一留意事項一
- ※1) 既設建物利用しながらの工事となるため、監督員の下で仮囲い等十分な打ち合わせを行うこと
  - ※2) 工事車両の進入路等、地元より説明を求められたときは十分な対応をすること。
  - ※3) 本仮設参考図に記載された仮設費等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、施工条件として指定したものではありませんので、施工者の責任のもとに十分検討し監督員に報告の上施工するものとする。
  - ※4) 仮設計画は施工者の責任の下に十分検討すること。
  - ※5) 作業員の駐車は既設建物駐車に支障とならないよう配慮すること。
  - ※6) 資材搬入、搬出及び適宜に交通誘導員を配置して誘導すること。
  - ※7) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

仮設計画図 1/300 (A1)  
1/600 (A3)



特記		工名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
		図名	仮設計画図	縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)	図番	A-10	
					製図者		



<平均地盤面1>   
 ※計算における基準高さを139.10とする

	面積	周長
a	0 × 24.88	0 24.88
b	0 × 7.00	0 7.00
c	0.05 × 27.12 × 0.5	0.678 27.12
d	(0.05+0.15) × 6.70 × 0.5	0.67 6.70
e	0.15 × 4.70	0.705 4.70
f	0.15 × 2.60	0.39 2.60
g	0.15 × 4.70	0.705 4.70
h	0.15 × 8.70	1.305 8.70
i	0.15 × 22.50 × 0.5	1.6875 22.50
n	0 × 10.062	0 10.062
o	0 × 29.682	0 29.682
合計	6.1405	148.644

6.1405/148.644=0.041  
平均地盤面=基準高さ+0.04=139.14  
したがって、設計GL (139.15) より-0.01 (139.14) が平均地盤面1となる。

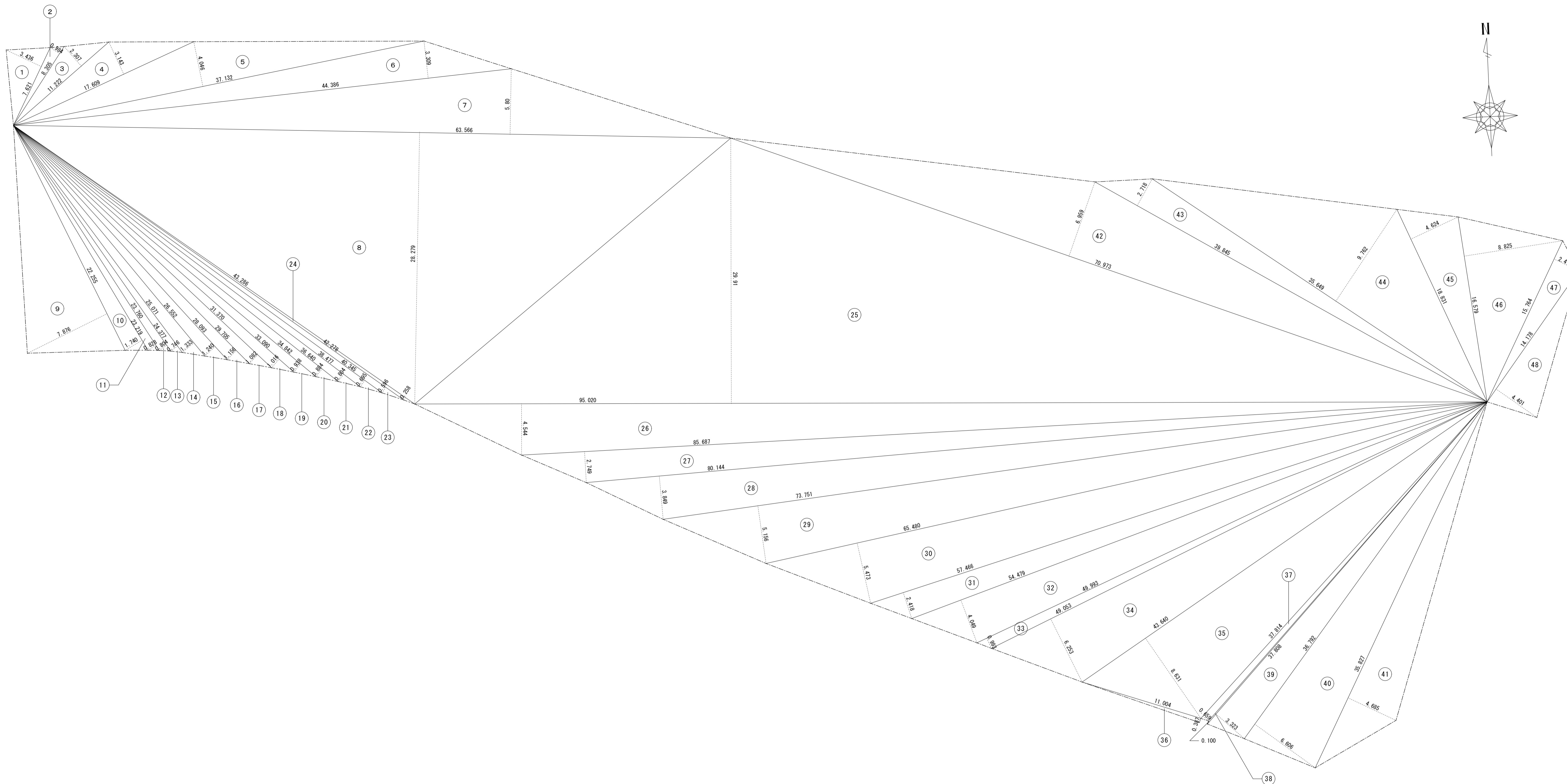
<平均地盤面2>   
 ※計算における基準高さを142.10とする

	面積	周長
j	(1.95+1.85) × 16.00 × 0.5	30.40 16.00
k	(1.85+1.95) × 25.00 × 0.5	47.50 25.00
l	(1.95+0.9) × 9.00 × 0.5	12.825 9.00
m	0.90 × 4.50	4.05 4.50
n	(0.90+1.95) × 10.062 × 0.5	14.33835 10.062
o	1.95 × 29.682	57.8799 29.682
合計	166.99325	94.244

166.99325/94.244=1.77  
平均地盤面=基準高さ+1.77=143.87  
したがって、設計GL (139.15) より+4.72 (143.87) が平均地盤面2となる。

配置図 1/300 (A1) 1/600 (A3)





敷地求積図  $\frac{1}{200}$  (A1)  $\frac{1}{400}$  (A3)

敷地面積																			
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	7.621	3.436	26.185756	13.092878	⑭	26.552	1.333	35.393816	17.696908	⑳	85.687	2.749	235.553563	117.7767815	㉔	36.792	6.606	243.047952	121.523976
②	8.305	0.984	8.17212	4.08606	⑮	28.093	1.240	34.83532	17.41766	㉕	80.144	3.849	308.474256	154.237128	㉕	35.827	4.685	167.849495	83.9247475
③	11.222	2.307	25.889154	12.944577	⑯	29.705	1.156	34.33898	17.16949	㉖	73.751	5.156	380.260156	190.130078	㉖	70.973	6.959	493.901107	246.9505535
④	17.609	3.143	55.345087	27.6725435	⑰	31.370	1.082	33.94234	16.97117	㉗	65.480	5.473	358.37204	179.18602	㉗	39.845	2.718	108.29871	54.149355
⑤	37.132	4.046	150.236072	75.118036	⑱	33.090	1.016	33.61944	16.80972	㉘	57.466	2.418	138.952788	69.476394	㉘	35.649	9.762	348.005538	174.002769
⑥	44.386	3.309	146.873274	73.436637	⑲	34.842	0.938	32.681796	16.340898	㉙	54.479	4.049	220.585471	110.2927355	㉙	18.831	4.624	87.074544	43.537272
⑦	63.566	5.80	368.6828	184.3414	⑳	36.640	0.884	32.38976	16.19488	㉚	49.993	0.993	49.643049	24.8215245	㉚	16.579	8.825	146.309675	73.1548375
⑧	63.566	28.279	1797.582914	898.791457	㉑	38.477	0.804	30.935508	15.467754	㉛	49.053	6.253	306.728409	153.3642045	㉛	15.764	2.418	38.117352	19.058676
⑨	22.255	7.876	175.28038	87.64019	㉒	40.345	0.695	28.039775	14.0198875	㉜	43.640	8.631	376.65684	188.32842	㉜	14.178	4.401	62.397378	31.198689
⑩	23.219	1.740	40.40106	20.20053	㉓	42.278	0.596	25.197688	12.598844	㉝	11.004	0.387	4.258548	2.129274					
⑪	23.760	0.828	19.67328	9.83664	㉔	43.286	0.258	11.167788	5.583894	㉞	37.814	0.659	24.919426	12.459713					
⑫	24.377	0.804	19.599108	9.799554	㉕	95.020	29.91	2842.0482	1421.0241	㉟	37.808	0.100	3.7808	1.8904					
⑬	25.071	0.746	18.702966	9.351483	㉖	95.020	4.544	431.77088	215.88544	㊱	37.808	3.323	125.635984	62.817992					
															合計		5,343.90m <sup>2</sup>		

工 事 概 要		※（ ）内寸法は平均G.L.からの高さを示す。		●印は本工事に該当			
敷地概要	名称	伊賀市総合福祉会館 2階車庫 改修工事		棟別概要	棟名	1.事務所(既存部)	
	地名地番	三重県伊賀市平野山之下380-5、380-7、380-12 見能330-4、330-8、330-15、中川原513-5			用途	事務所	
	敷地面積	5.343.90m <sup>2</sup>			工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ●既存改修	
	都市計画	●都市計画区域内			階数	地上2階、地下0階	
		○市街化区域 ○市街化調整区域 ●区域区分未設定都市計画区域			構造	S、RC	
		○準都市計画区域内 ○都市計画及び準都市計画区域外			最高の高さ	13.00m	
	用途地域	○第1種低層住居専用地域 ○第2種低層住居専用地域 ○第1種中高層住居専用地域			最高の軒高	12.60m	
		○第2種中高層住居専用地域 ○第1種住居地域 ●第2種住居地域 ○準住居地域 ○近隣商業地域			建築面積	1004.36m <sup>2</sup>	
		○商業地域 ○準工業地域 ○工業地域 ○工業専用地域 ○指定無し				1806.84m <sup>2</sup>	
	防火地域	○防火地域 ○準防火地域 ○指定無し ●22条指定地域			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>	
	基準建ぺい率(%)	○30 ○40 ○50 ●60 ○70 ○80				延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>
	基準容積率(%)	○50 ○60 ○80 ○100 ○150 ●200 ○300 ○400 ○500 ○600			延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>
道路・壁面後退	●主前面道路(20.04m) ○その他前面道路( m)		延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>			
	○都市計画道路(○有 m ●無) ○壁面後退(○有 m ●無)			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		
主要用途	事務所		延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>		
工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ○移転 ○用途変更 ○大規模の修繕 ○大規模の模様替 ●既存改修			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		
建築面積	1.事務所(既存部) 1004.36m <sup>2</sup>		延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>		
	合計 1004.36m <sup>2</sup>			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		
延床面積	1.事務所(既存部) 1806.84m <sup>2</sup>		延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>		
	合計 1806.84m <sup>2</sup>			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		
建ぺい率	建ぺい率算定面積 1004.36m <sup>2</sup>		延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>		
	合計 18.80%			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		
容積率	容積率算定面積 1792.80m <sup>2</sup> (EV部:14.04を除く)		延床面積		合計 1806.84m <sup>2</sup>		
	合計 33.55%			延床面積	合計 1806.84m <sup>2</sup>		

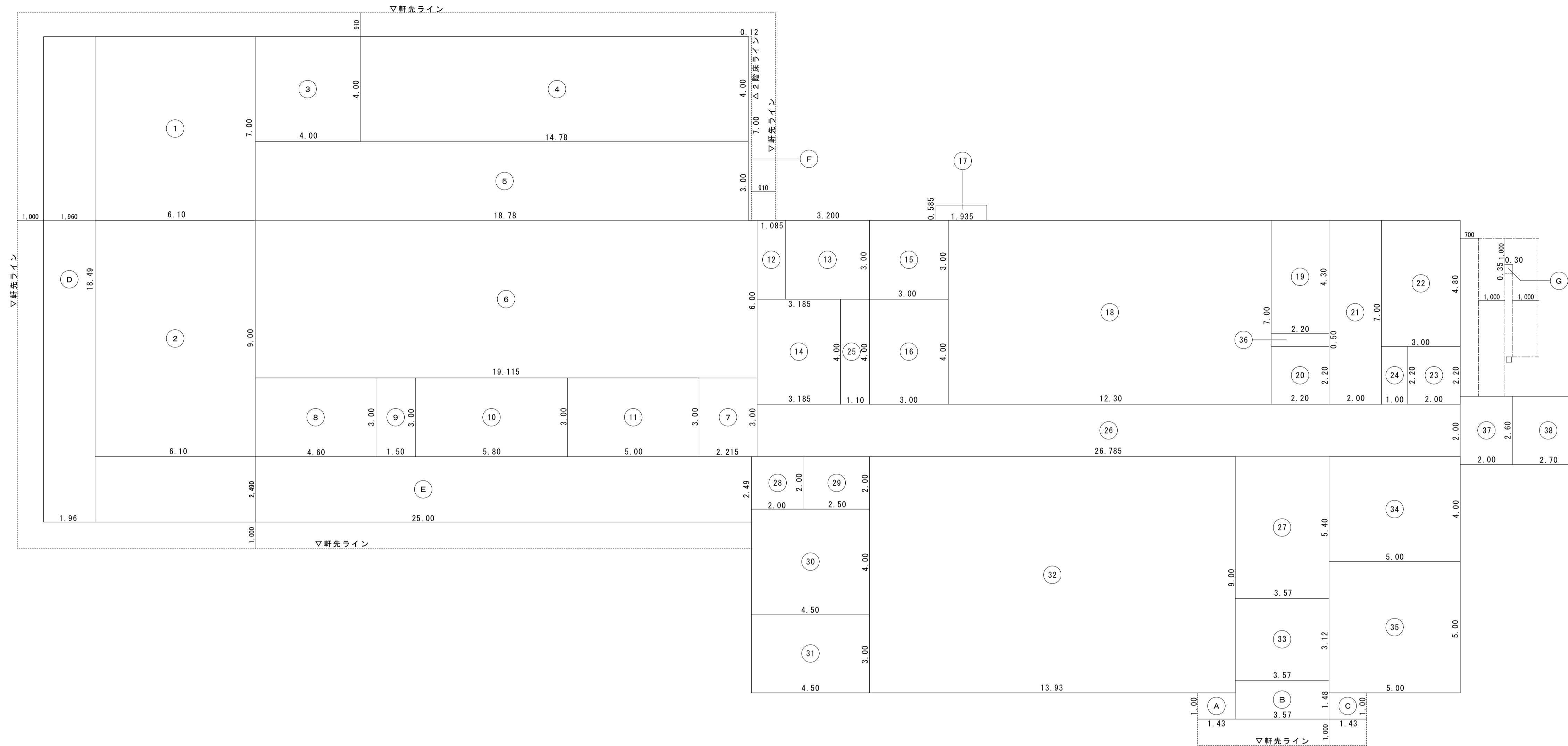
既存改修部分 (伊賀市総合福祉会館) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)														
屋根	1	屋根 (車庫)	既存 改修	下地:ALC板 厚100、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上:ウレタン塗膜防水通気緩衝工法	外壁	8	外壁 (車庫)	既存 改修	南・西面:リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面:リプラスモルタル塗、EP吹付(ゆずはだ模様)	外壁	15	オーバースライダー (車庫)	既存 改修	オーバースライダー撤去、外壁タイル(梁型):下地共撤去 (一部コンクリート、鉄板撤去) ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付、立上り:コンクリート打放し H750、 自動ドア新設、アルミサッシ新設、柱型:ラス下地、防水モルタル補修の上 防水型複層塗材E 吹付
	2	屋根 (EV)	既存 改修	折板葺(山高90ハゼ) カラーガルバリウム鋼板 厚0.6、裏面:フノンエース 厚4		9	外壁 (車庫)	既存 改修	ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付、立上り:コンクリート打放し H830		16	換気扇	既存 改修	換気扇(「防護かご共」撤去(設備工事) 有圧シャッター及び換気フード現状のまま 内壁側:LG S下地の上、ステンレスパネル貼 厚2.0
	3	軒天	既存 改修	アルミカラスバンドレル 現状のまま 一部撤去の上、アルミカラスバンドレル W100		10	外壁 (一般)	既存 改修	モルタル塗り、二丁掛タイル貼 現状のまま		17	アルミサッシガラス	既存 改修	ガラス撤去 換気扇撤去(設備工事) アルミパネル 厚3、トーマイガラス 厚5に取替
	4	バラベット (車庫)	既存 改修	下地:C-100×60×20×2.3@3000以内 仕上:アルミジュラクロン加工		11	外壁 (EV)	既存 改修	ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付 現状のまま		外構	ライン引き	駐車区画・身障者駐車区画・身障者マーク:W100	
	5	笠木 (一般)	既存 改修	防水モルタルコテ押え 手すり:スチールφ42.7OP塗		12	柱型 (車庫)	既存 改修	リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去、ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付 現状のまま			車止め(3連納)	PC:100×100×600(アンカー+接着剤止め)	
	6	壁柱	既存 改修	硬質塩ビ製φ100、摺り金物:FB-20×3 OP塗、養生管:錆鉄製 H2000		13	巾木	既存 改修	モルタル剛毛引き H500 現状のまま			玄関ポーチ	既設防水モルタル 厚30撤去の上、モルタル下地、磁器質タイル300角 厚9 点字タイル:視覚障がい者用誘導ブロック300角 点状 ガードパイプ型:1000×H800 1ヶ所 スチール製φ60.5×t2.8	
	7	樋 (EV)	既存 改修	壁柱:硬質塩ビ製φ100(カラー)、摺り金物:FB-20×3@1200 OP塗 軒樋:硬質塩ビ製角樋W120(カラー)		14	巾木 (EV)	既存 改修	コンクリート打放し補修 H830 現状のまま		シーリング	サッシ新設廻り、外壁目地部分:ポリサルファイド系シーリング ガラス施工部分:シリコーンシーリング(2成分系)		

内 部 仕 上 表															
階	室名	現況 改修後	室名札	内装制限	法的規制 居室種別	床	巾木	H	壁	壁	天井	天井高	廻縁	備 考	室名
2	車庫	現況		準不燃	— 非居室	下地 防水モルタル金ゴテ押え 厚30撤去	モルタル金ゴテ押え	100	南側:100角タイル貼	LG S 一部撤去 外壁面:ALC板 厚50、EP吹付(ゆずはだ模様) 間仕切:石膏ボード 厚12.5、EP吹付(ゆずはだ模様) 一部撤去 LG S、石膏ボード 厚12.5	LG S 一部撤去 石膏ボード 厚9、OP塗 撤去 梁型:ALC板 厚50、EP吹付(ゆずはだ模様) LG S	2700	塩ビ製	柱型:二丁掛タイル	車庫
	玄関	改修後		準不燃	— 非居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		ビニルクロス LG S、石膏ボード 厚12.5 一部強化石膏ボード 厚21 二重張(片面) 現状のまま 一部EP塗 現状のまま	化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	壁手摺:樹脂製34φ壁付タイプ	玄関
	廊下	改修後		準不燃	— 非居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		LG S、石膏ボード 厚12.5 一部強化石膏ボード 厚21 二重張(片面) 現状のまま 一部EP塗 現状のまま	化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	壁手摺:樹脂製34φ壁付タイプ カウンター:メラミン化粧板 厚30(部分詳細図参照) 床見切:W20 厚2 SUS HL	廊下
	ホール	改修後		不燃	告四号ニ(4) 居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100	南側:陶器質100角タイル貼 現状のまま 一部撤去の上、陶器質100角タイル貼替え (30枚程度) 南側壁:モルタル 現状のまま EP塗替	不燃ビニルクロス 一部EP塗 現状のまま	不燃化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	壁手摺:樹脂製34φ壁付タイプ アルミブラインドボックス W150×H150(アルミブラインド共)	ホール
	事務室⑦	改修後	○	不燃	告四号ニ(4) 居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		LG S、石膏ボード 厚12.5 不燃ビニルクロス 一部強化石膏ボード 厚21 二重張(片面) 現状のまま 一部EP塗 現状のまま	不燃化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	床見切:W20 厚2 SUS HL アルミブラインドボックス W150×H150(アルミブラインド共)	事務室⑦
	会議室③	改修後	○	不燃	告四号ニ(4) 居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		LG S、石膏ボード 厚12.5 不燃ビニルクロス 一部強化石膏ボード 厚21 二重張(片面) 現状のまま 一部EP塗 現状のまま	不燃化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	床見切:W20 厚2 SUS HL アルミブラインドボックス W150×H150(アルミブラインド共)	会議室③
	資材庫	現況		難燃	— 非居室	下地 防水モルタル金ゴテ押え 厚30撤去	モルタル金ゴテ押え	100		LG S 一部撤去 外壁面:ALC板 厚50EP吹付(ゆずはだ模様) 間仕切:石膏ボード 厚12.5、EP吹付(ゆずはだ模様) 一部撤去	LG S 石膏ボード 厚9、OP塗 撤去 梁型:ALC板 厚50、EP吹付(ゆずはだ模様)	4400	塩ビ製		資材庫
	倉庫②	改修後	○	難燃	— 非居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		AEP塗装	化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	3000	塩ビ製		倉庫
	湯沸室②	改修後	○	準不燃	— 非居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		LG S、石膏ボード 厚12.5 LG S、耐水石膏ボード 厚12.5	化粧石膏ボード 厚9.5 LG S	2700	塩ビ製	床見切:W20 厚2 SUS HL	湯沸室
	多目的便所②	改修後	○	難燃	— 非居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		設備壁(H1500):LG S、 耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	LG S、耐水石膏ボード 厚12.5 メラミン不燃化粧板 厚3	2500	塩ビ製	面台:メラミン化粧板 厚25 W150 床見切:W20 厚2 SUS HL 断熱材(内壁):グラスウール10kg/m3 厚50	多目的便所
	授乳室	改修後	○	不燃	告四号ニ(4) 居室	下地 セルフレベリング下地調整 厚30	ソフト巾木	100		LG S、石膏ボード 厚12.5 不燃ビニルクロス	LG S 不燃化粧石膏ボード 厚9.5	2500	塩ビ製	床見切:W20 厚2 SUS HL 断熱材(内壁):グラスウール10kg/m3 厚50	授乳室

○ 特 記 事 項	○ 共 通 事 項	○ 認 定 番 号	○ 耐 火 構 造 の 仕 様
※軽鉄天井下地 直貼工法 (Mバー、S交互@227、キャリングチャンネル@900、吊ボルト@900)	●天井・壁見切縁は塩ビ製(底目)とする。	・石膏ボード 厚12.5 不燃 NM-8619	外壁(非耐力壁) 30分耐火 ALC板 厚100:告示第1399号
※軽鉄天井下地の仕様は国土交通省の共通仕様書による。	●天井点検口は図示以外設備用として必要数を見込んでおくこと。(アルミ枠450角)	・耐水石膏ボード 厚12.5 不燃 NM-9639	柱 1時間耐火 鉄骨柱吹付ロックウール 厚25:FPO60CN-9460
又、天井ふところの大きな部分(H1500以上)は吊ボルト相互に補助材にて緊結する事。	●便所・授乳室間仕切内:グラスウール10kg/m3 厚50	・化粧石膏ボード 厚9.5 準不燃 QM-0524	梁 1時間耐火 鉄骨梁吹付ロックウール 厚25:FPO60BM-9408
※アスベスト含有成形板(ロックウール吸音板)の処理は、放水などにより湿潤化し、てばらしとする。	●洗面器等取付下地は耐水合板 厚12とする。	・化粧石膏ボード 厚9.5 不燃 NM-1864	梁(小屋組部分) 1時間耐火 鉄骨梁被覆板(F.Lより4m以上):告示第1399号
作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならぬ場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。	●断熱材(天井):グラスウール24kg/m3 厚100	・ビニルクロス 不燃 NM-3991	
除去物については、粉塵防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、	●LG S間仕切:100形@303、65形@303	・ビニルクロス 準不燃 QM-8222	
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル 2014.6(環境省水・大気環境局大気環境課)」を参考とする。		・メラミン不燃化粧板 厚3 不燃 NM-2183	

特 記	工事名	図 示	図 号	管理建築士	印
	伊賀市総合福祉会館 2階車庫改修工事				
	工事概要・外部・内部仕上表	-	A-13		

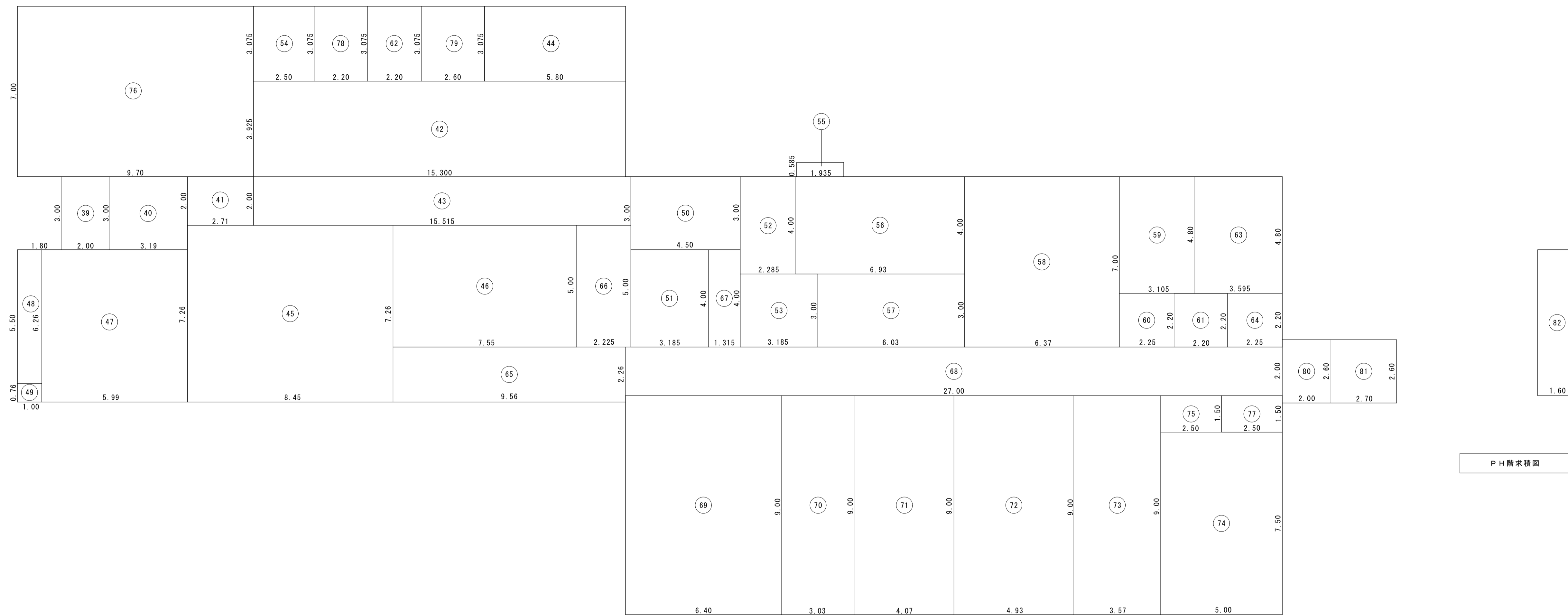




1階求積図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

面積表

床面積算定表													建築面積						
資材庫①	①	7.00×6.10	42.70	備品庫②	⑪	3.00×5.00	15.00	多目的便所	⑳	2.20×2.20	4.84	会議室	⑳	4.00×4.50	18.00	庇	Ⓐ	1.00×1.43	1.43
資材庫②	②	9.00×6.10	54.90	休憩室①	⑫	1.085×3.000	3.255	男子便所	㉑	7.00×2.00	14.00	印刷室	㉑	3.00×4.50	13.50		Ⓑ	1.48×3.57	5.2836
倉庫①	③	4.00×4.00	16.00		⑬	3.20×3.00	9.60	女子便所	㉒	4.80×3.00	14.40	事務室①	㉒	9.00×13.93	125.37		Ⓒ	1.00×1.43	1.43
倉庫	④	4.00×14.78	59.12	機械室	計		12.855	掃除用具庫	㉓	2.20×2.00	4.40	玄関	㉓	3.12×3.57	11.1384	屋根	Ⓓ	18.49×1.96	36.2404
	⑤	3.00×18.78	56.34		⑭	4.00×3.185	12.74	廊下	㉔	2.20×1.00	2.20	相談室②	㉔	4.00×5.00	20.00		Ⓔ	2.49×25.00	62.25
	⑥	6.00×19.115	114.69	休憩室②	⑮	3.00×3.00	9.00		㉕	4.00×1.10	4.40	相談室①	⑮	5.00×5.00	25.00	2階床	Ⓕ	7.00×0.12	0.84
	⑦	3.00×2.215	6.645	書庫	⑯	4.00×3.00	12.00		㉖	2.00×26.785	53.57	PS	⑯	0.50×2.20	1.10	屋外階段	Ⓖ	0.35×0.30	0.105
計		236.795	PS	⑰	0.585×1.935	1.131975	㉗		5.40×3.57	19.278	EVホール	⑰	2.60×2.00	5.20	合計	1階床面積+A+B+C+D+E+F+G		1004.36m2	
倉庫②	⑧	3.00×4.60	13.80	事務室②	⑱	7.00×12.30	86.10	計		79.448		EV	⑱	2.60×2.70	7.02				
倉庫③	⑨	3.00×1.50	4.50		⑲	4.30×2.20	9.46	控え室	㉘	2.00×2.00	4.00								
備品庫①	⑩	3.00×5.80	17.40	計		95.56	湯沸室	㉙	2.00×2.50	5.00	合計	1階床面積		896.798					

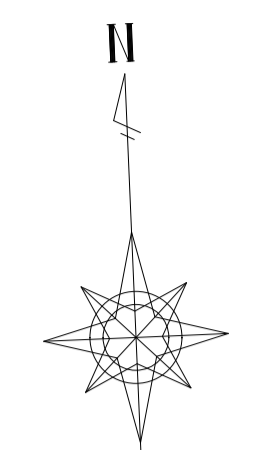
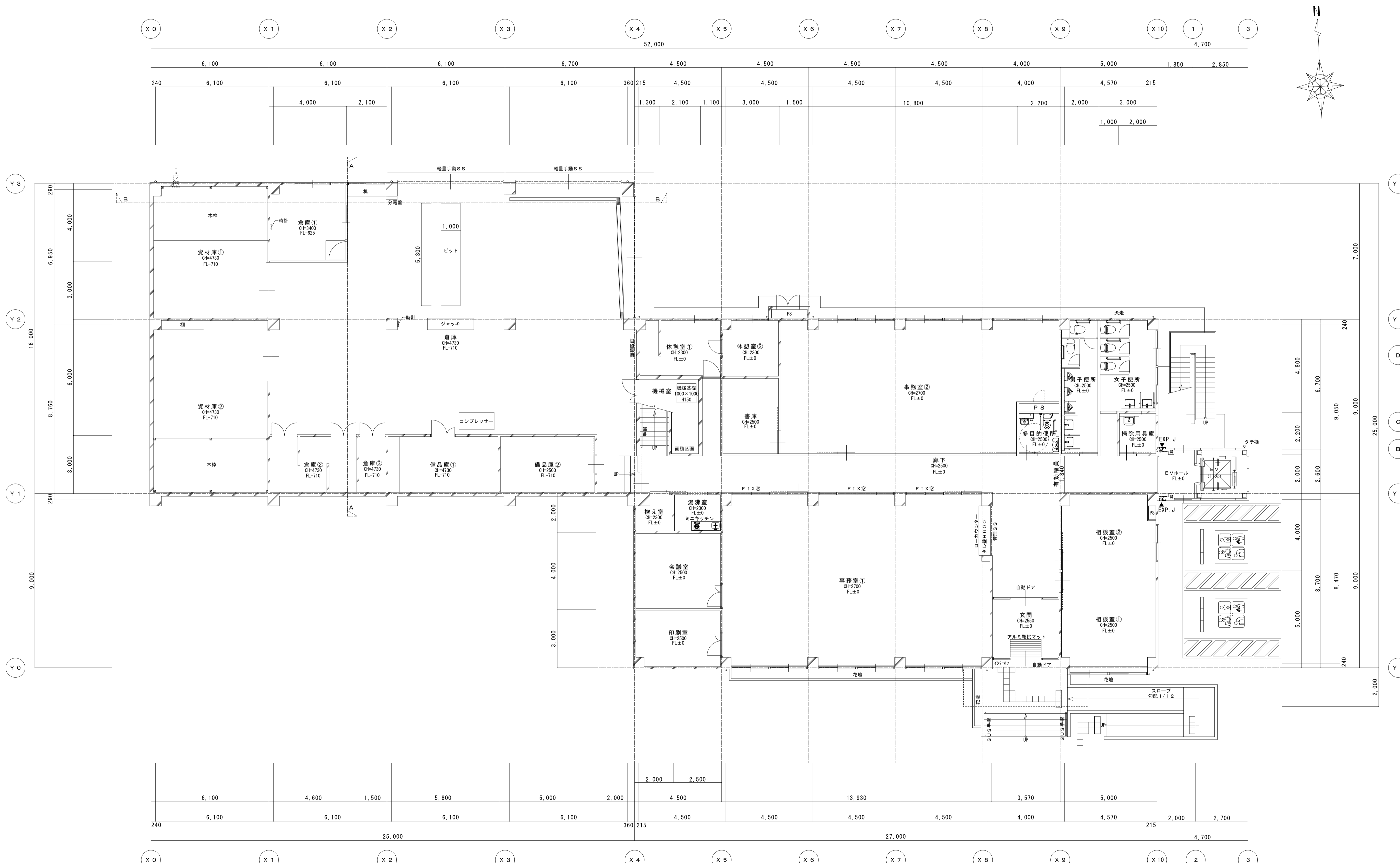


2階床積図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

PH階床積図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

区分	室番号	面積 (㎡)	用途	延床面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途	面積 (㎡)	用途		
玄関	39	3.00 × 2.00	6.00	計	42.9974	活動室②	58	7.00 × 6.37	44.59	計	68	2.00 × 27.00	54.00	湯沸室②	78	3.075 × 2.20	6.765		
	40	3.00 × 3.19	9.57	PS	49	0.76 × 1.00	0.76	59	4.80 × 3.105	14.9040	計	69	9.00 × 6.40	57.60	授乳室	79	3.075 × 2.60	7.995	
廊下	41	2.00 × 2.71	5.42	活動室③	50	3.00 × 4.50	13.50	60	2.20 × 2.25	4.95	事務室①	70	9.00 × 3.03	27.27	EVホール	80	2.60 × 2.00	5.20	
	計		14.99	階段	51	4.00 × 3.185	12.74	計	61	2.20 × 2.20	4.84	事務室②	71	9.00 × 4.07	36.63	EV	81	2.60 × 2.70	7.02
ホール	42	3.925 × 15.30	60.0525	倉庫①	52	4.00 × 2.285	9.14	多目的便所①	61	2.20 × 2.20	4.84	事務室③	72	9.00 × 4.93	44.37	合計	2階床面積		900.45
	43	2.00 × 15.515	31.03		53	3.00 × 3.185	9.555	多目的便所②	62	3.075 × 2.20	6.765	事務室④	73	9.00 × 3.57	32.13	階段室	82	6.00 × 1.60	9.60
資料庫	44	3.075 × 5.80	17.835	倉庫②	54	3.075 × 2.50	7.6875	男子便所	63	4.80 × 3.595	17.256	事務室⑤	74	7.50 × 5.00	37.50	既存部PH階床面積		9.60	
会議室①	45	7.26 × 8.45	61.347	PS	55	0.585 × 1.935	1.131975		計	64	2.20 × 2.250	4.95	事務室⑥	75	1.50 × 2.50	3.750	1階床面積		896.79 m2
会議室②	46	5.00 × 7.55	37.75	活動室①	56	4.00 × 6.93	27.72	65	2.26 × 9.56	21.6056	計	76		7.00 × 9.70	67.90	2階床面積		900.45 m2	
会議室③	47	6.26 × 5.99	37.4974		57	3.00 × 6.03	18.09	廊下	66	5.00 × 2.225	11.125	事務室⑦	77	1.50 × 2.50	3.75	PH階床面積		9.60 m2	
	48	5.50 × 1.00	5.50	計		45.81	67		4.00 × 1.315	5.26	湯沸室①	77	1.50 × 2.50	3.75	延床面積		1806.84 m2		





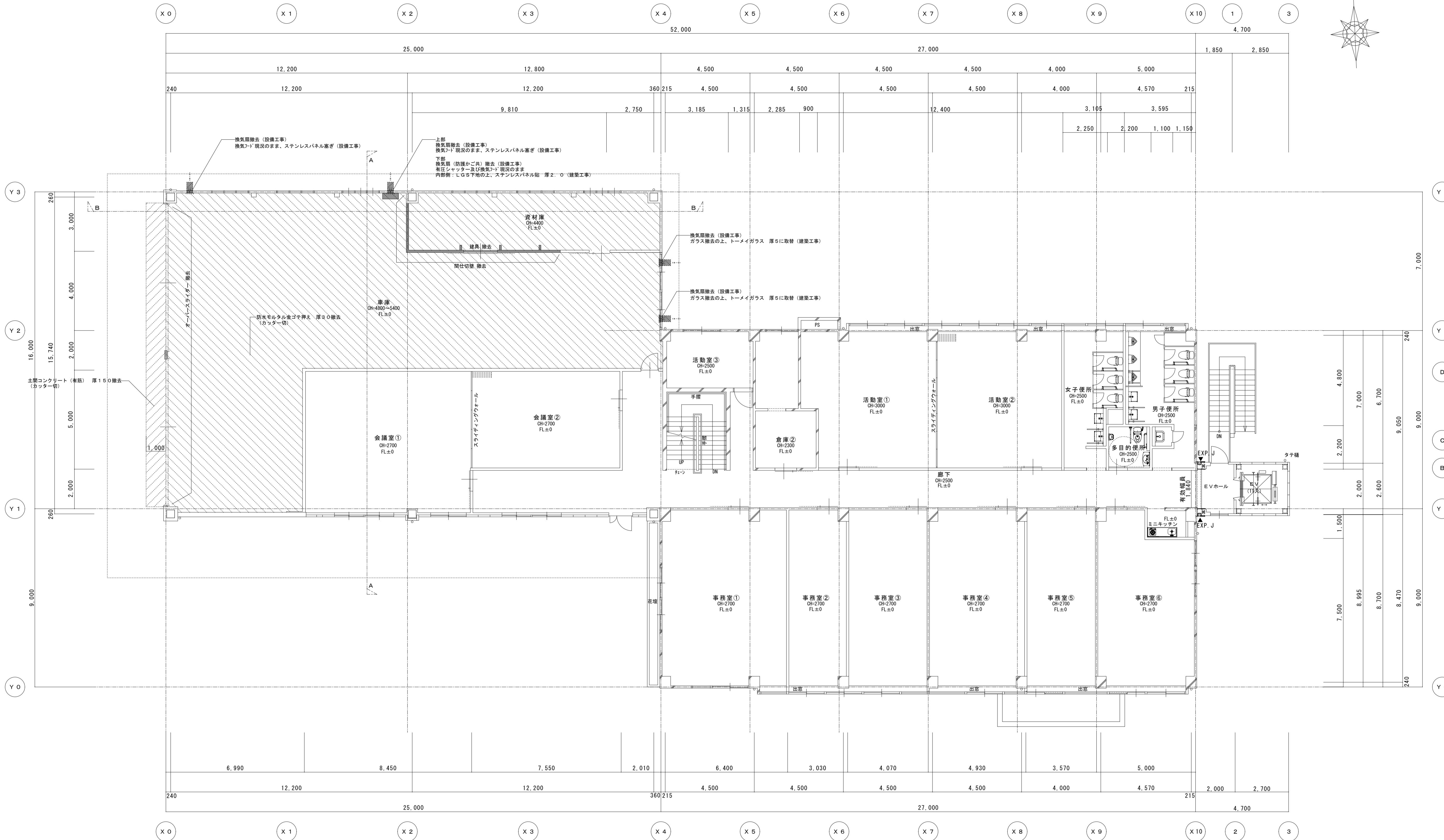
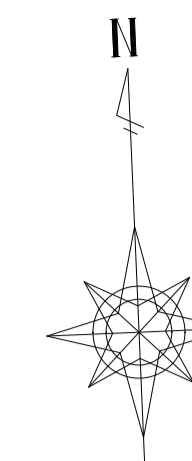
<現況> 1階平面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

面積表 (㎡)	
1階床面積	896.79
2階床面積	900.45
PH床面積	9.60
延床面積	1806.84

屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

屋外階段	
蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm

○凡例	
	鉄筋コンクリート壁を示す。



< 現況 > 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

面積表 (㎡)	
1階床面積	896.79
2階床面積	905.85
PH床面積	9.60
延床面積	1812.24

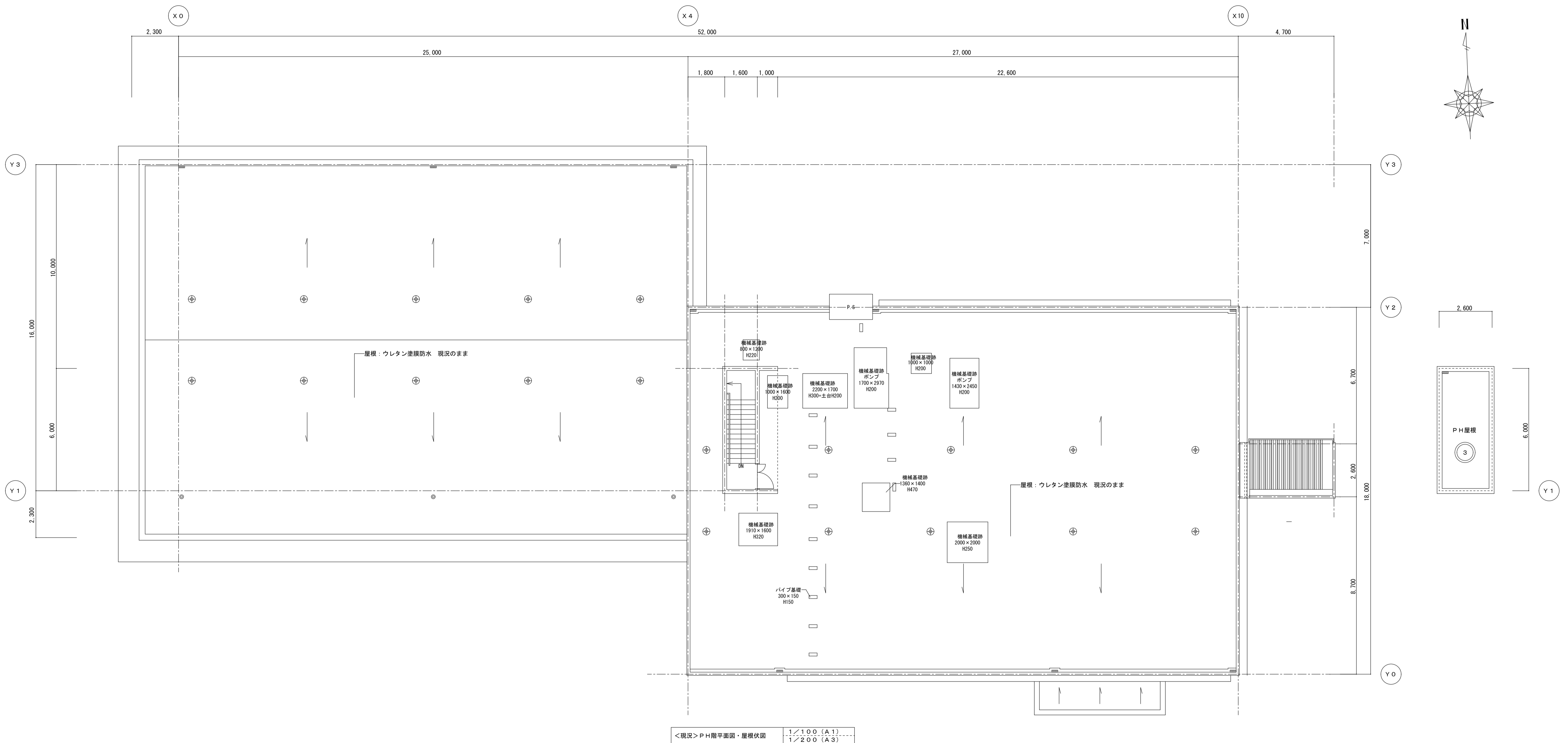
屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

屋外階段	
蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm

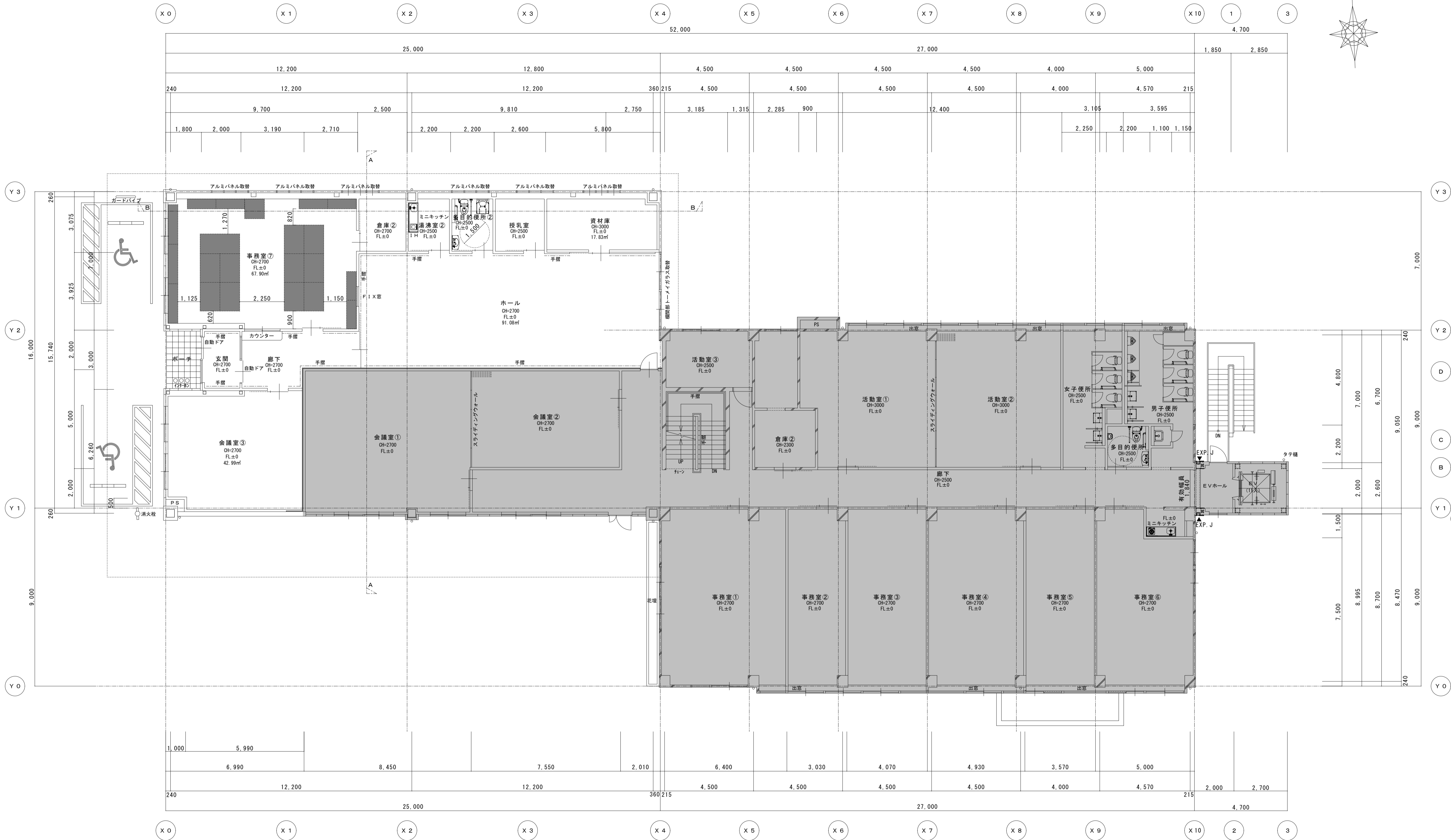
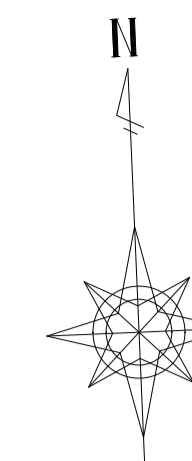
凡例	
	鉄筋コンクリート壁を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

※床：防水モルタル撤去厚は現場確認の上、監督員と協議する事。





特記	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	<現況>PH階平面図・屋根伏図	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 A-18	製図者	印



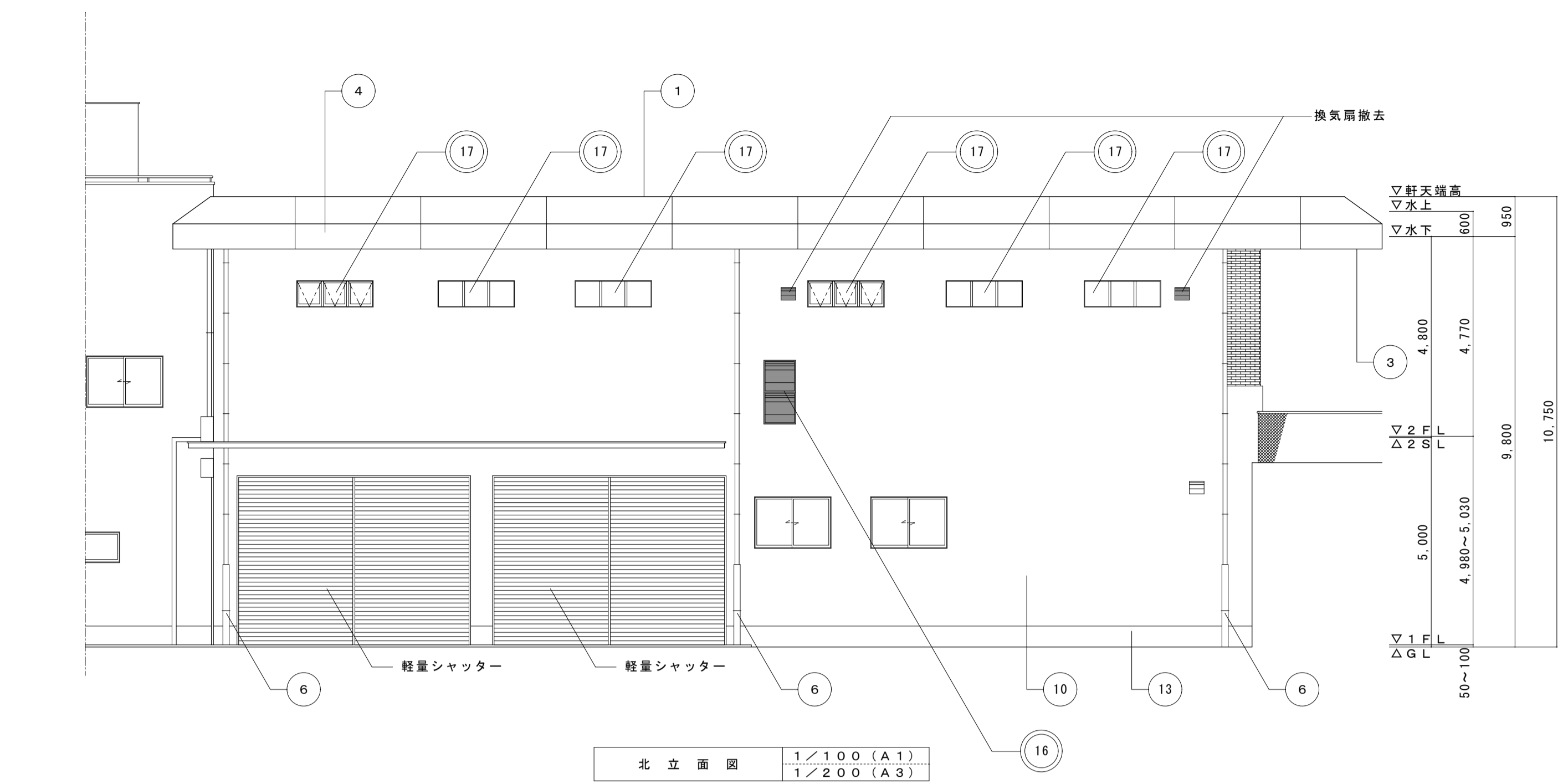
<改修> 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

面積表 (㎡)	
1階床面積	896.79
2階床面積	900.45
PH床面積	9.60
延床面積	1806.84

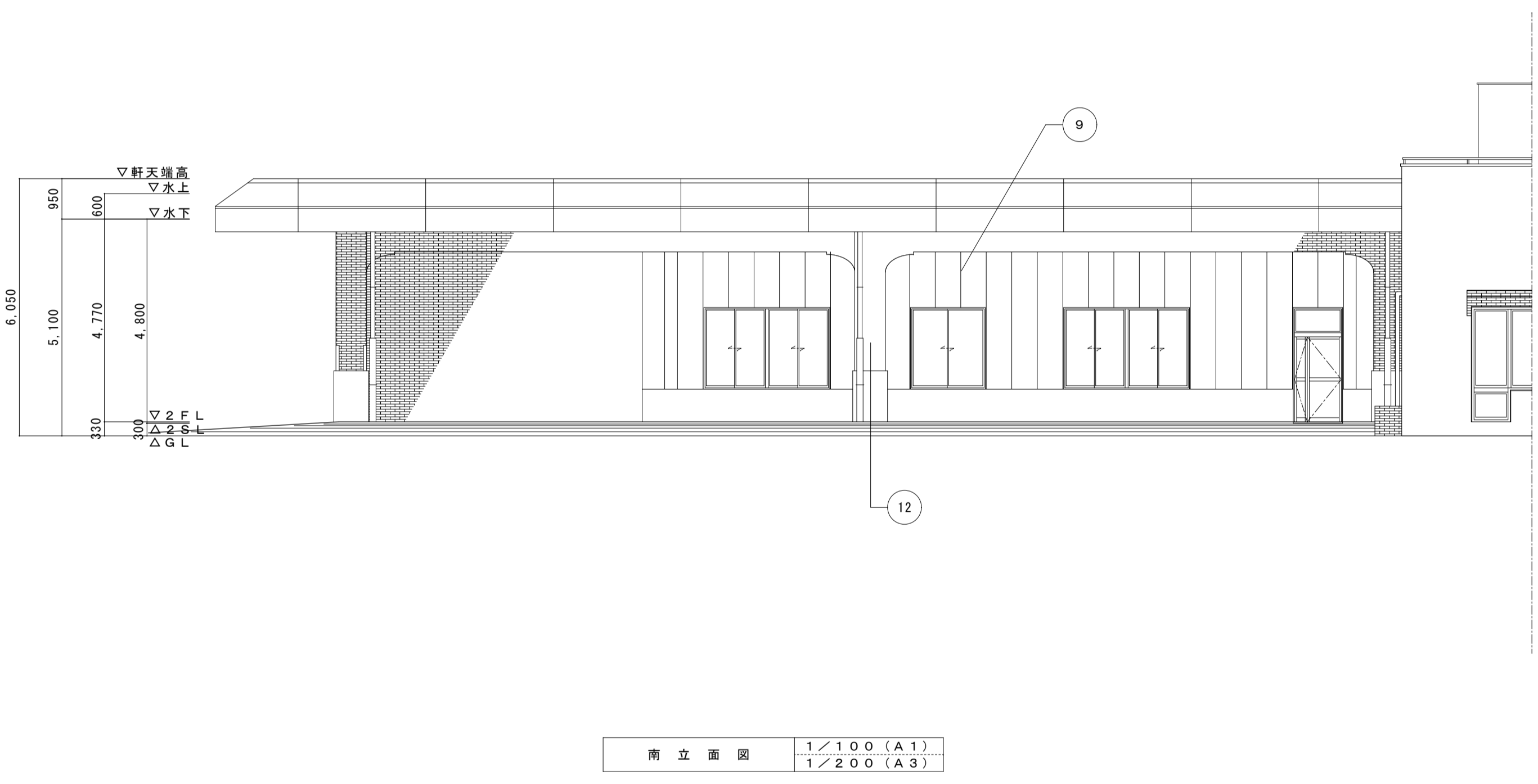
屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

屋外階段	
蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm

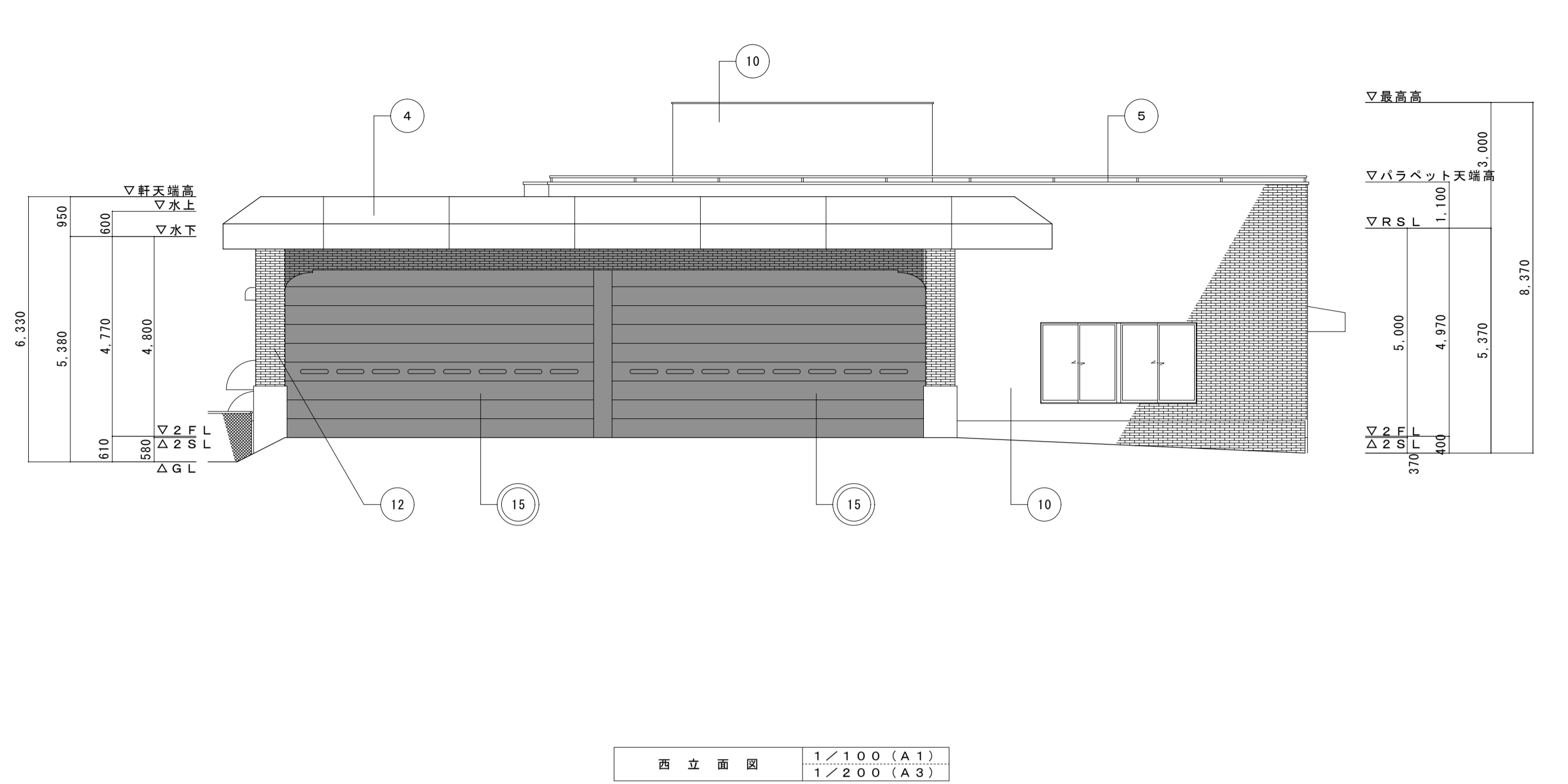




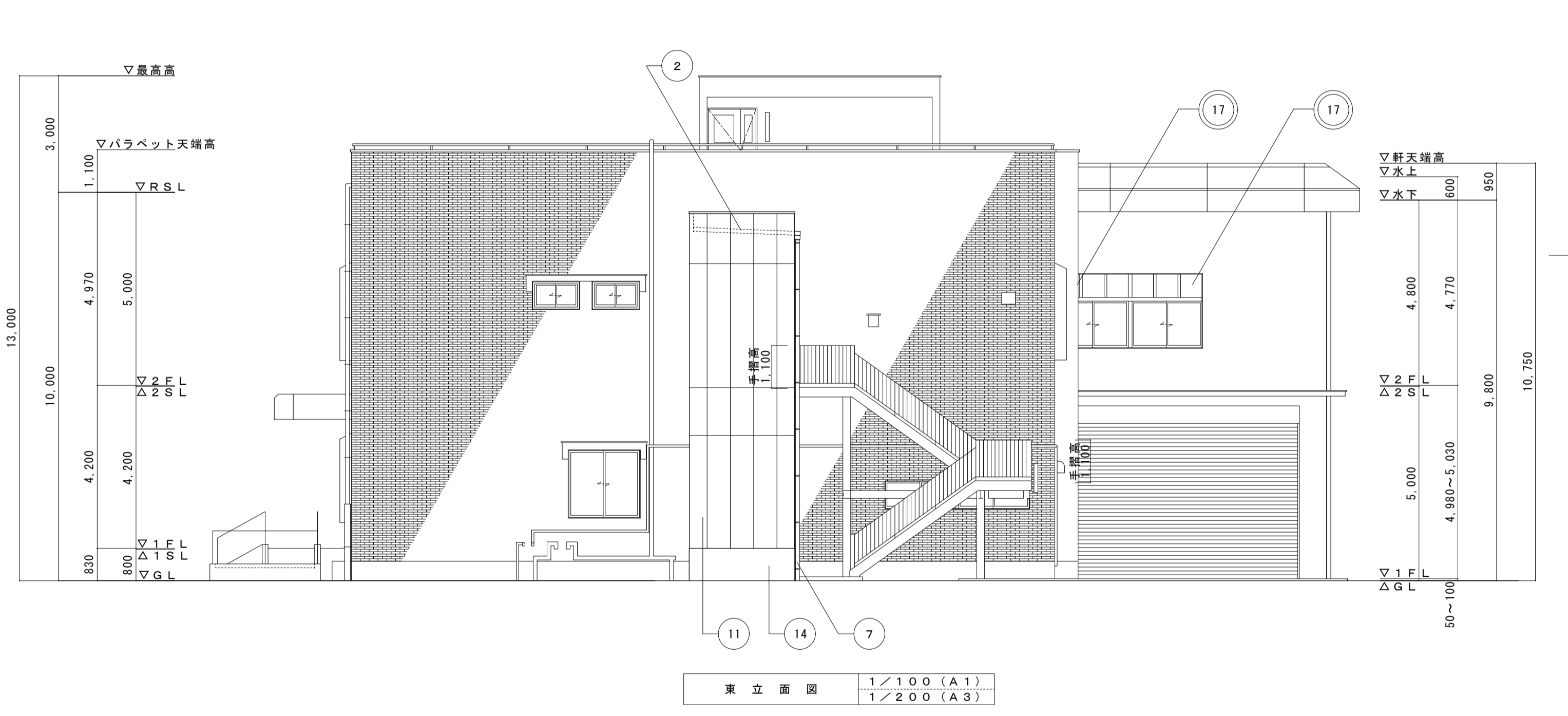
北立面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



南立面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

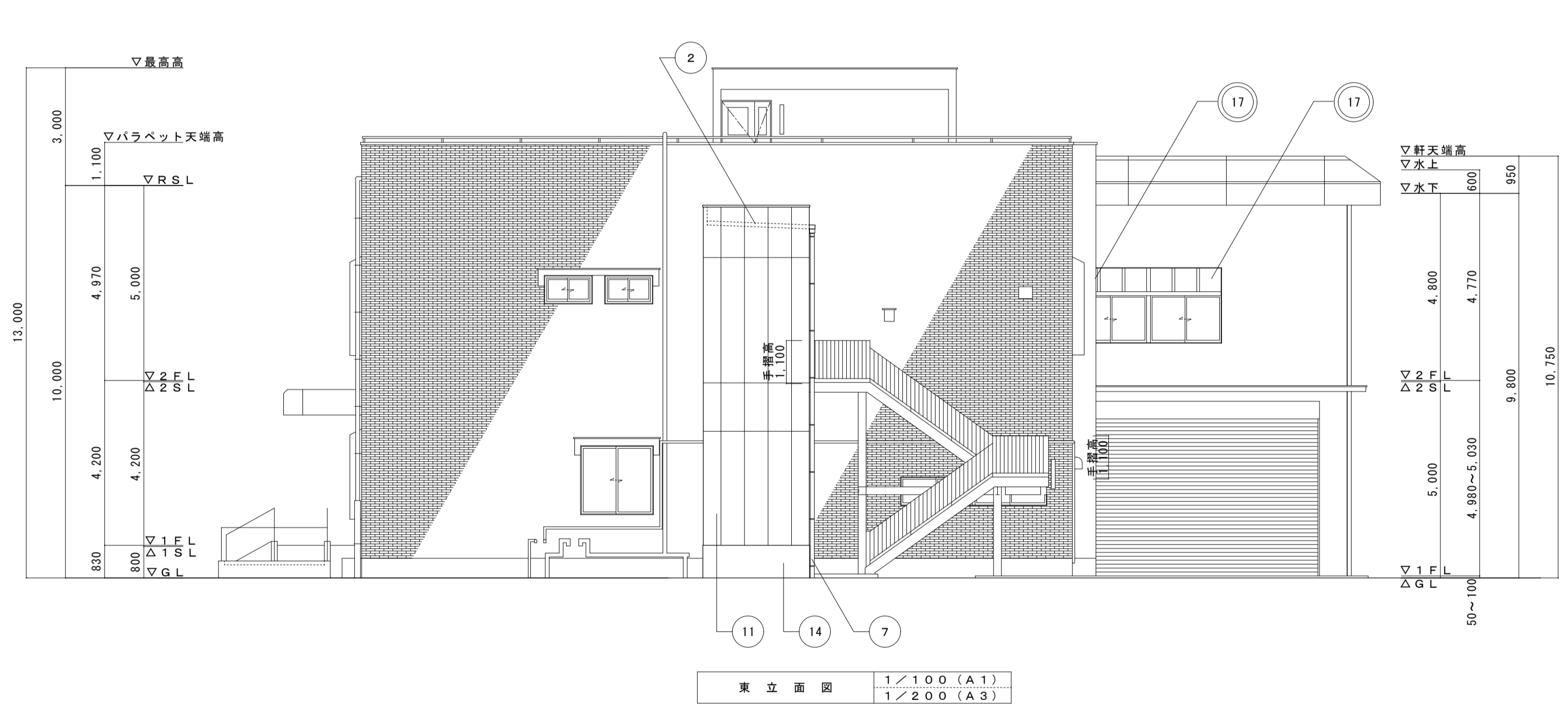
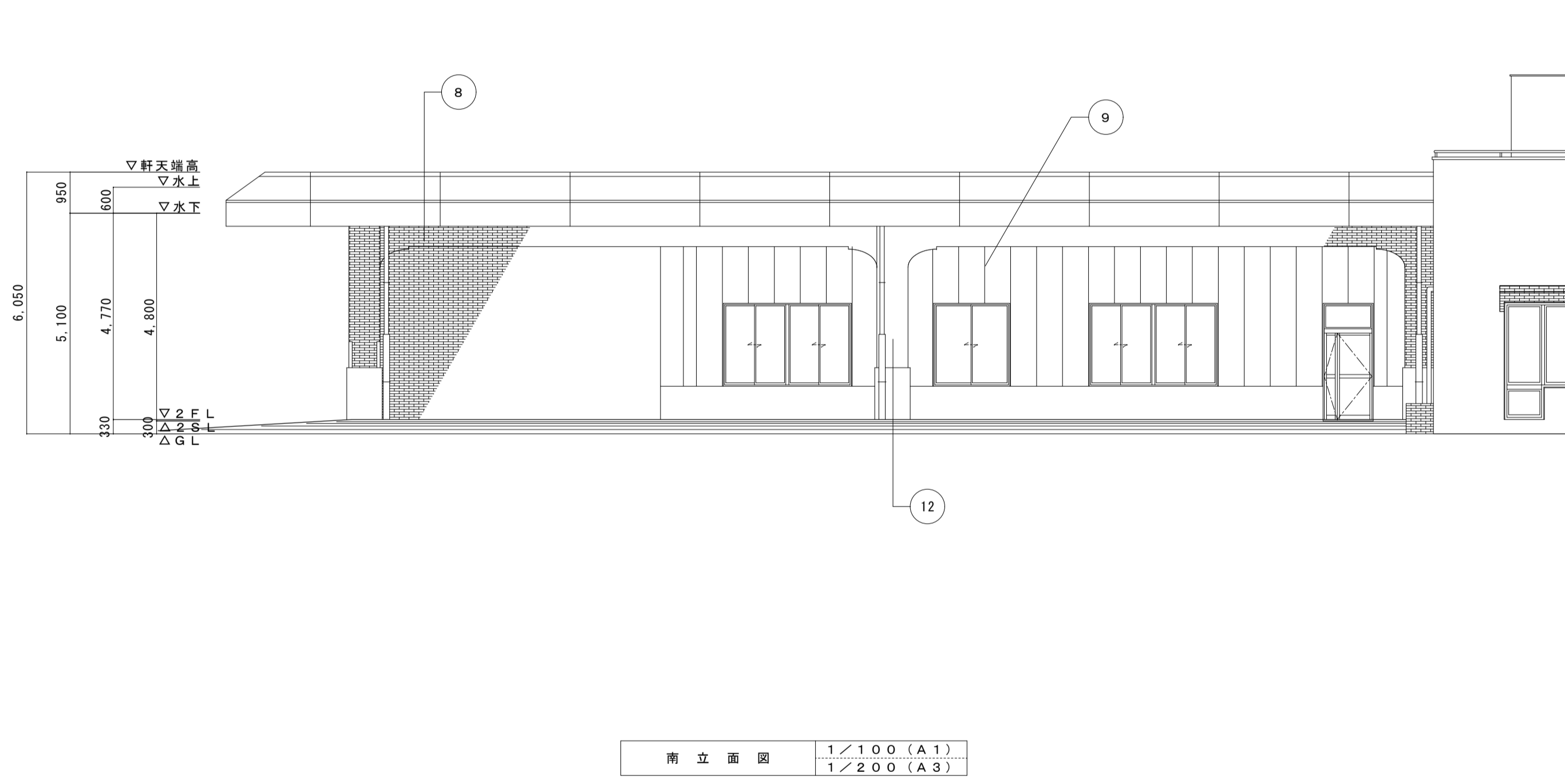
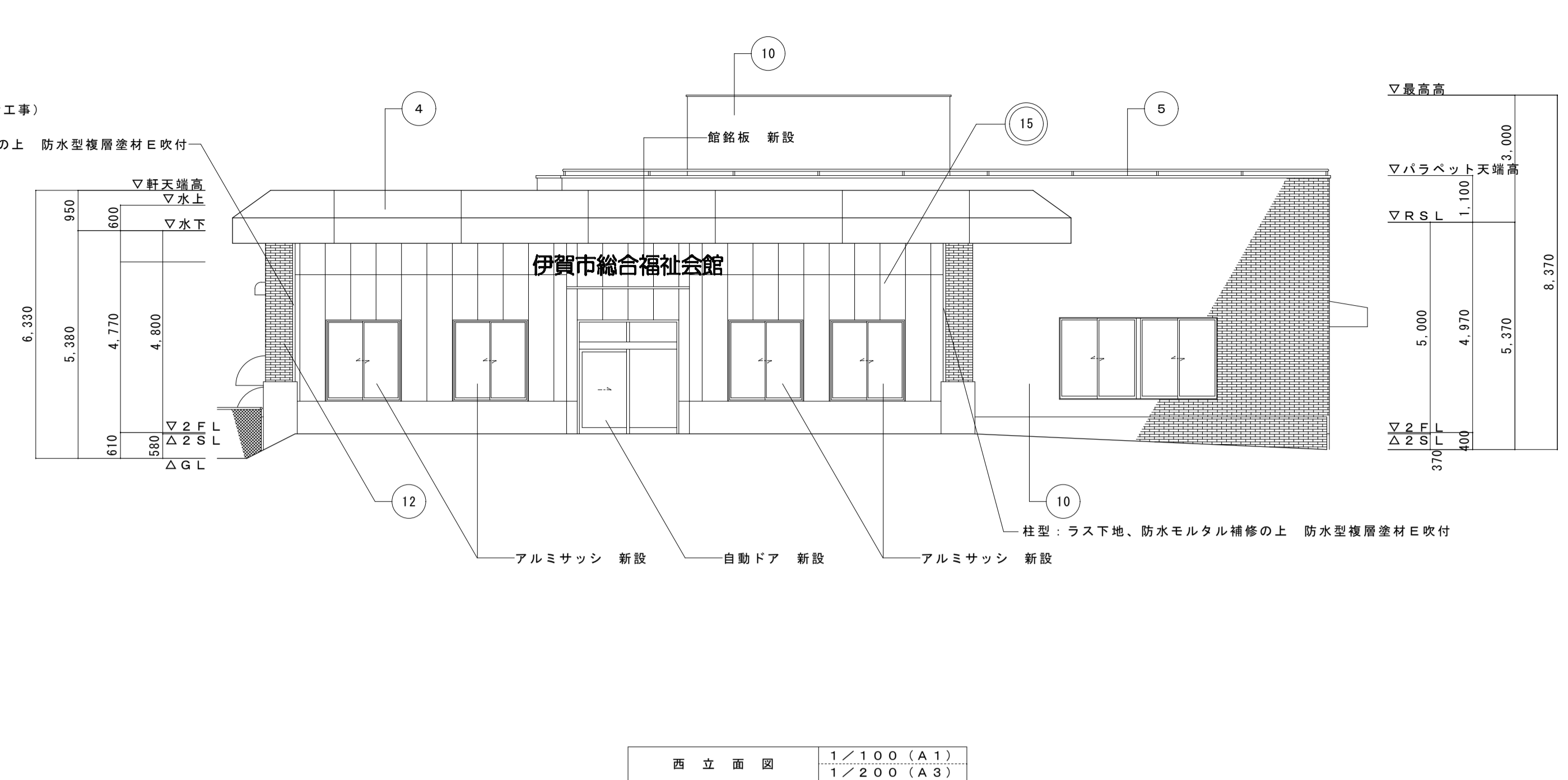
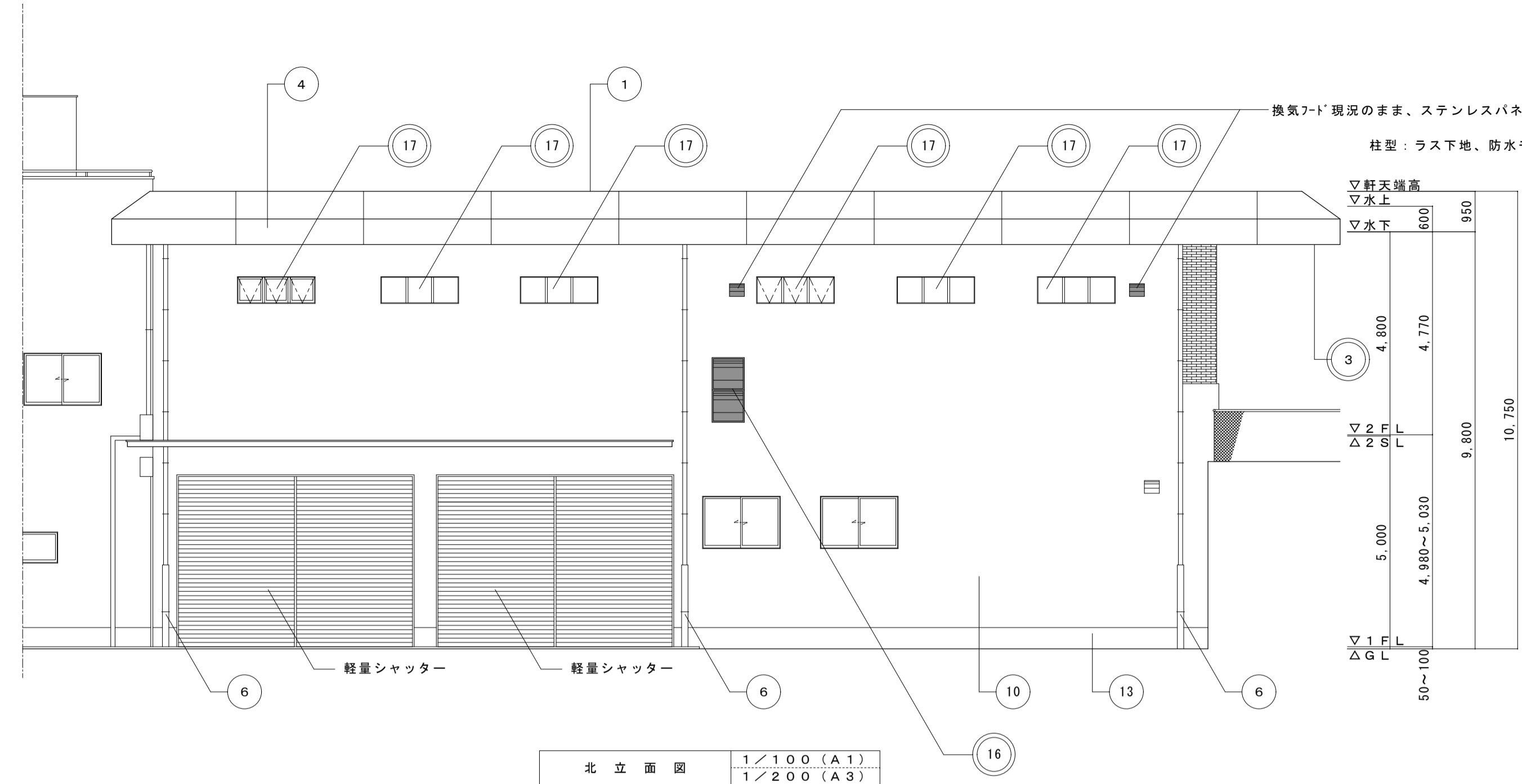


西立面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

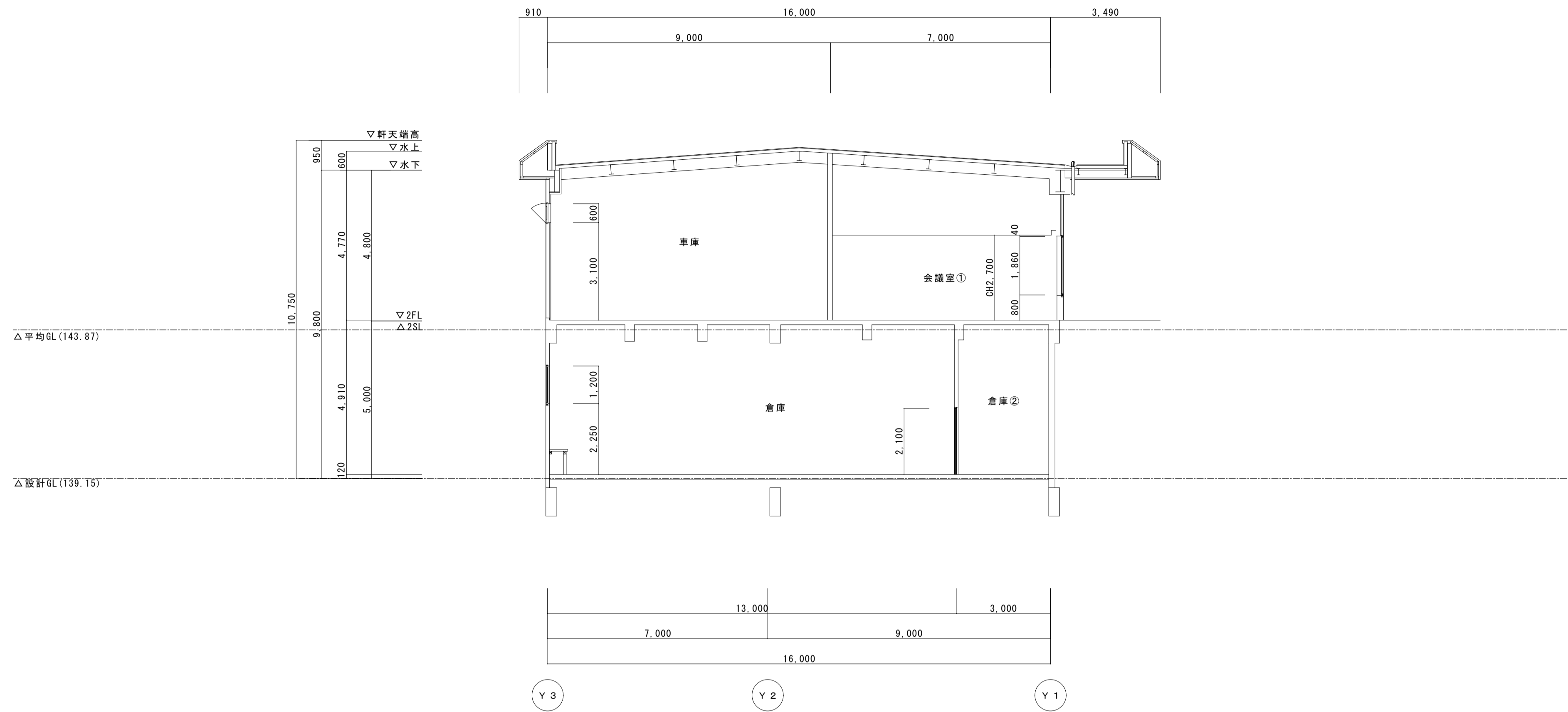


東立面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

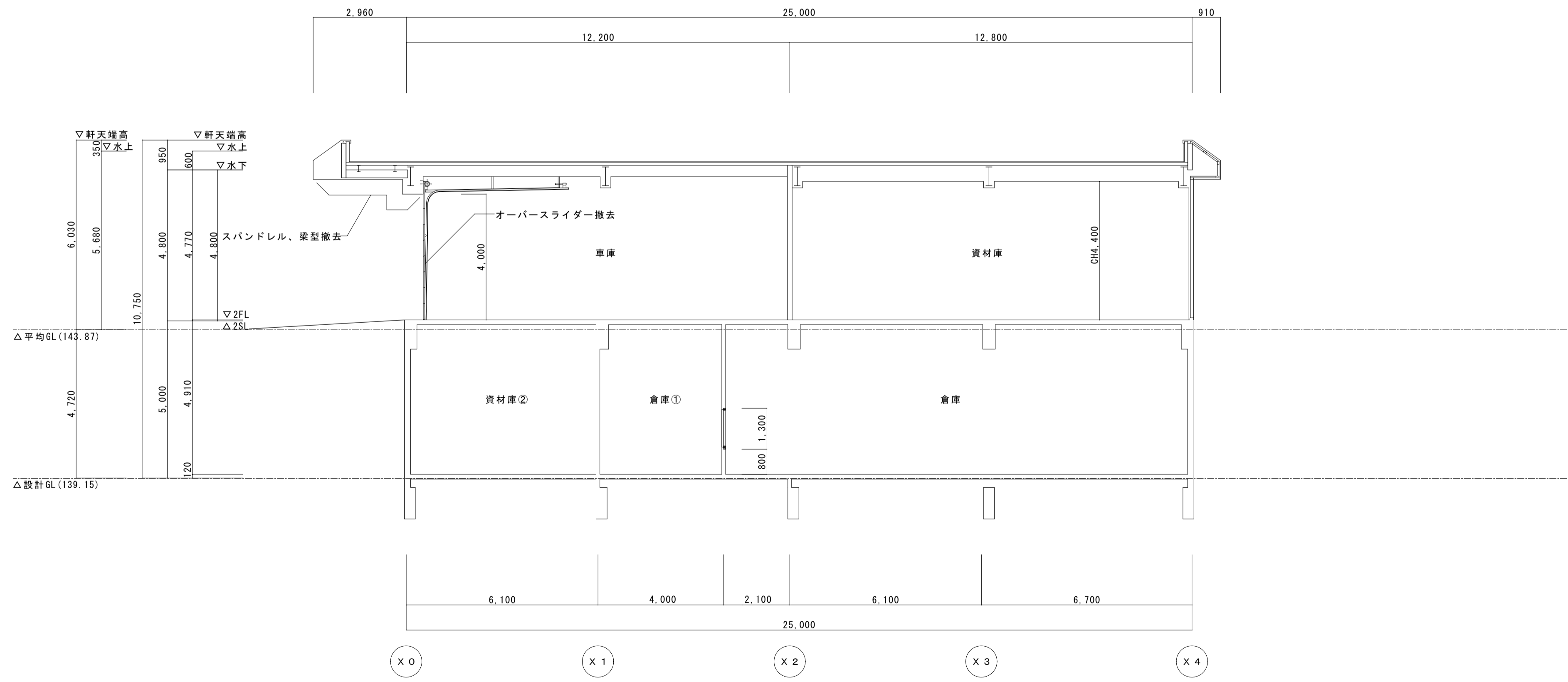
既存改修部分 (伊賀市総合福祉会館) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)											
屋根	1	屋根 (車庫)	既 存 下地: ALC板 厚100、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水通気緩衝工法	外壁	8	外壁 (車庫)	既 存 南・西面: リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面: リプラスモルタル塗、EP吹付 (ゆずはだ模様)	外構	15	オーバーサイダー (車庫)	既 存 オーバーサイダー撤去、外壁タイル (梁型): 下地共撤去 (一部コンクリート、鉄板撤去)
	2	屋根 (EV)	既 存 折板葺 (山高90ハゼ) カラーガルバリウム鋼板 厚0.6、裏面: フノンエース 厚4		9	外壁 (車庫)	既 存 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付、立上り: コンクリート打放し H830		16	換気扇	既 存 換気扇 (防護かご共) 撤去
	3	軒天	既 存 アルミカラスバンドレル		10	外壁 (一般)	既 存 モルタル塗り、二丁掛タイル貼		17	アルミサッシガラス	既 存 有圧シャッター及び換気フード現況のまま 内壁側: LGS下地の土、ステンレスパネル貼 厚2.0 既 存 ガラス撤去 換気扇撤去
	4	パラベット (車庫)	既 存 下地: C-100×50×20×2. 3@3000以内 仕上: アルミジュラクロン加工		11	外壁 (EV)	既 存 ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付		ライン引き	駐車場面・身障者駐車区画・身障者マーク: W100	
	5	笠木 (一般)	既 存 防水モルタルコテ押え 手すり: スチールφ42. 7 OP塗		12	柱型 (車庫)	既 存 リプラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去、ALC板 厚100、防水型複層塗材E 吹付		車止め (3連結)	PC: 100×100×600 (アンカー+接着剤止め)	
	6	壁柱	既 存 硬質塩ビ製φ100、握み金物: FB-20×3 OP塗、養生管: 鋼鉄製 H2000		13	巾木	既 存 モルタル刷毛引き H500		玄関ポーチ	既設防水モルタル 厚30撤去の上、モルタル下地、磁器質タイル300角 厚9 点字タイル: 視覚障がい者用誘導ブロック300角 点状	
	7	樋 (EV)	既 存 硬質塩ビ製φ100 (カラー)、握み金物: FB-20×3@1200 OP塗 軒樋: 硬質塩ビ製角樋W120 (カラー)		14	巾木 (EV)	既 存 コンクリート打放し補修 H830		ガードパイプ	ガードパイプU型: 1000×H800 1ヶ所 スチール製φ60. 5×t2. 8	
						シーリング	サッシ新設廻り、外壁目地部分: ポリサルファイド系シーリング ガラス施工部分: シリコンシーリング (2成分系)				
						建具	建具表参照				
						館銘板	SUS304 HL500×500 厚5.9文字 (伊賀市総合福祉会館) 1ヶ所				
						案内看板	車椅子駐車場 看板 ※外構詳細図参照				



既存改修部分 (伊賀市総合福祉会館) 外部仕上表 (材料は全て同等品とする。)											
屋根	1	屋根 (車庫)	既存: 下地: ALC板厚100、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上: ウレタン塗膜防水透気織布工法 改修: 現況のまま	外壁	8	外壁 (車庫)	既存: 南・西面: リプラスモルタル塗、二掛タイル貼 東・北面: リプラスモルタル塗、E吹付 (ゆずはだ模様) 改修: 現況のまま	外構	15	オーバースライダー (車庫)	既存: オーバースライダー撤去、外壁タイル (梁型): 下地共撤去 (一部コンクリート、鉄板撤去) 改修: ALC板厚100、防水型複層塗材E吹付、立上り: コンクリート打放し H750、自動ドア新設、アルミサッシ新設、柱型: ラス下地、防水モルタル補修の上 防水型複層塗材E吹付
	2	屋根 (EV)	既存: 折板葺 (山高90ハゼ) カラーガルバリウム鋼板厚0.6、表面: フォンエース厚4 改修: 現況のまま		9	外壁 (車庫)	既存: ALC板厚100、防水型複層塗材E吹付、立上り: コンクリート打放し H830 改修: 現況のまま		16	換気扇	既存: 換気扇 (防護かご共) 撤去 改修: 有圧シャッター及び換気フード現況のまま 内壁側: LGS下地の上、ステンレスパネル貼 厚2.0
	3	軒天	既存: アルミカラスバンドレル 改修: 現況のまま 一部撤去の上、アルミカラスバンドレル W100		10	外壁 (一般)	既存: モルタル塗り、二掛タイル貼 改修: 現況のまま		17	アルミサッシガラス	既存: ガラス撤去 改修: 換気扇撤去 アルミパネル 厚3、トメイガラス 厚5に取替
	4	パラベット (車庫)	既存: 下地: C-100×50×20×2.3@3000以内 仕上: アルミジュラクロン加工 改修: 現況のまま		11	外壁 (EV)	既存: ALC板厚100、防水型複層塗材E吹付 改修: 現況のまま		ライン引き	駐車区画・身障者駐車区画・身障者マーク: W100	
	5	笠木 (一般)	既存: 防水モルタルコテ押え 手すり: スチールφ42.7 OP塗 改修: 現況のまま		12	柱型 (車庫)	既存: リプラスモルタル塗、二掛タイル貼 一部撤去、ALC板厚100、防水型複層塗材E吹付 改修: 現況のまま		車止め (3連結)	PC: 100×100×600 (アンカー+接着剤止め)	
	6	壁種	既存: 硬質塩ビ製φ100、掘み金物: FB-20×3 OP塗、養生管: 鋼鉄製 H2000 改修: 現況のまま		13	巾木	既存: モルタル刷毛引き H500 改修: 現況のまま		玄関ポーチ	既設防水モルタル 厚30撤去の上、モルタル下地、磁器質タイル300角 厚9 点字タイル: 視覚障がい者用誘導ブロック300角 点状	
	7	樋 (EV)	既存: 壁種: 硬質塩ビ製φ100 (カラー)、掘み金物: FB-20×3@1200 OP塗 軒種: 硬質塩ビ製角種W120 (カラー) 改修: 現況のまま		14	巾木 (EV)	既存: コンクリート打放し補修 H830 改修: 現況のまま		ガードパイプ	ガードパイプU型: 1000×H800 1ヶ所 スチール製φ60.5×t2.8	
									シーリング	サッシ新設廻り、外壁目地部分: ポリサルファイド系シーリング ガラス施工部分: シリコンシーリング (2成分系)	
									建具	建具表参照	
									館銘板	SUS304 HL500×500 厚5 9文字 (伊賀市総合福祉会館) 1ヶ所	
									案内看板	車椅子駐車場 看板 ※外構詳細図参照	



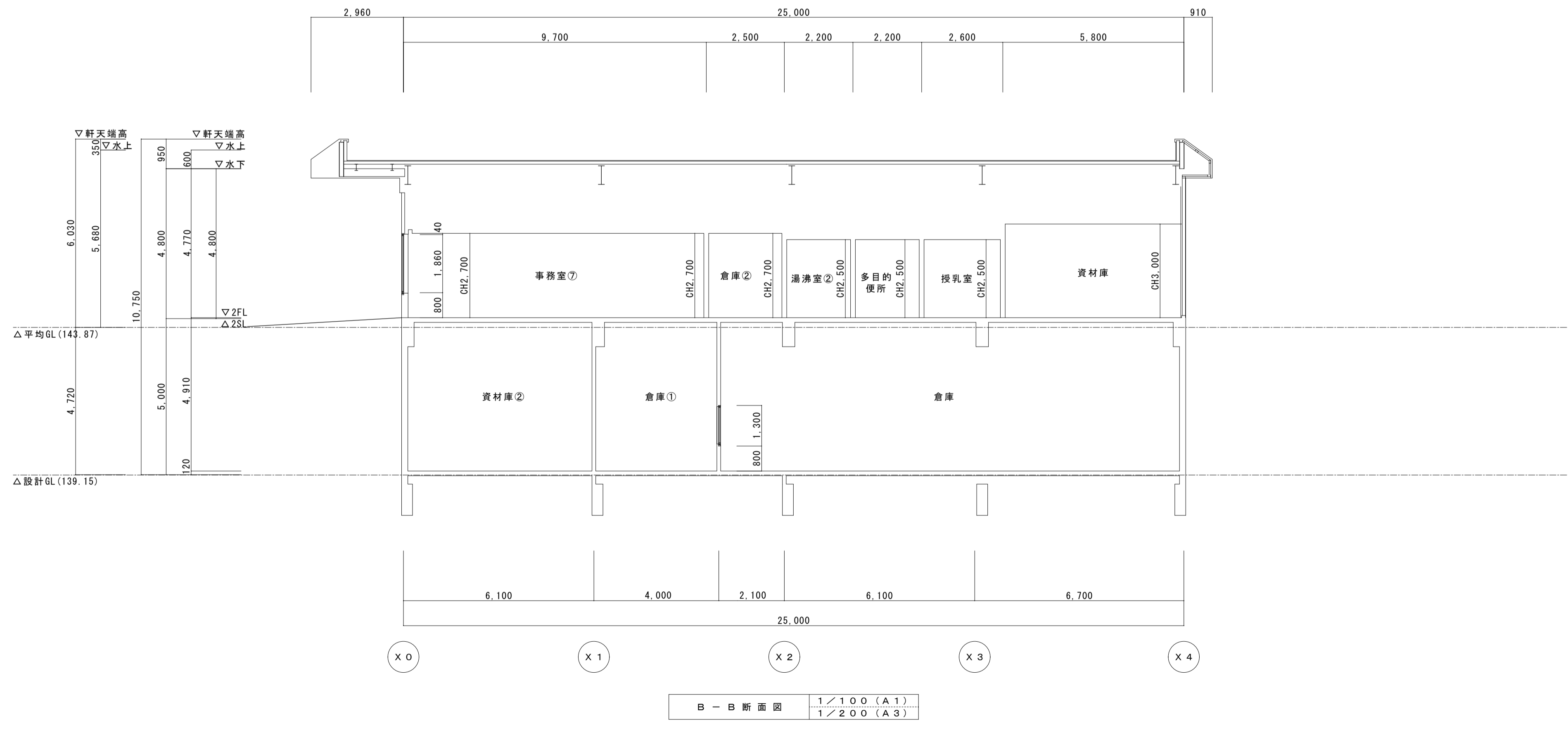
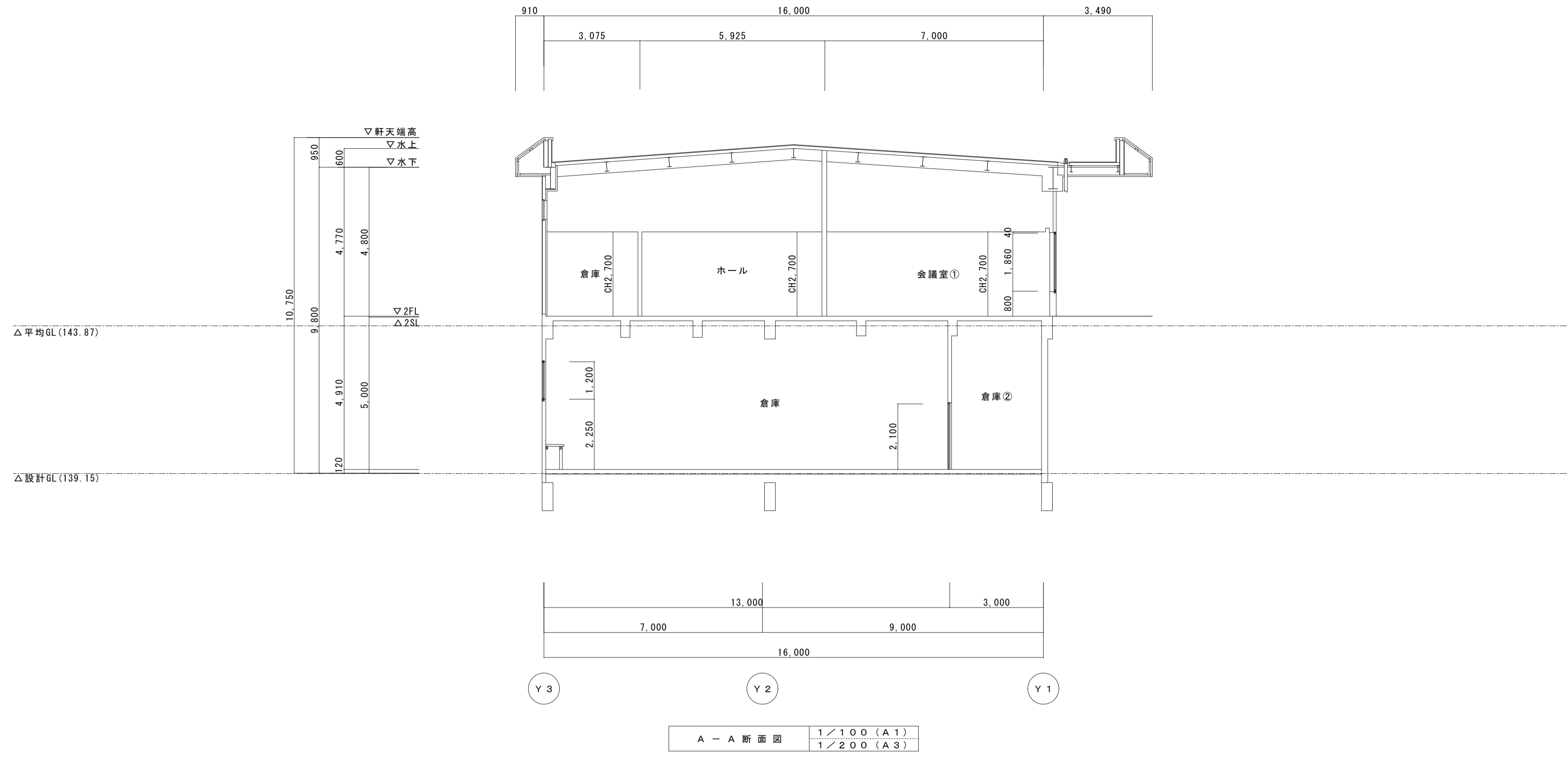
A - A 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



B - B 断面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

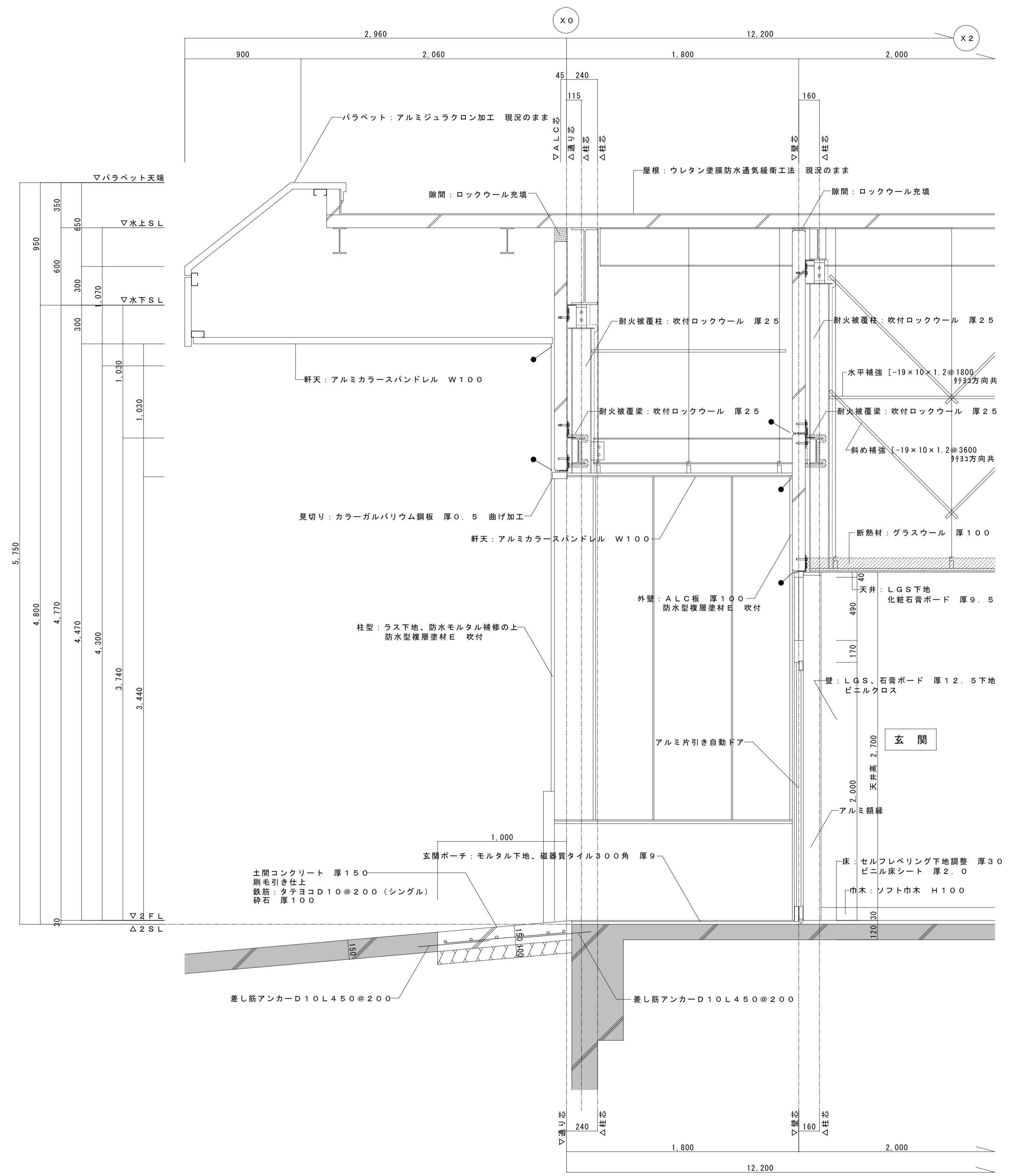
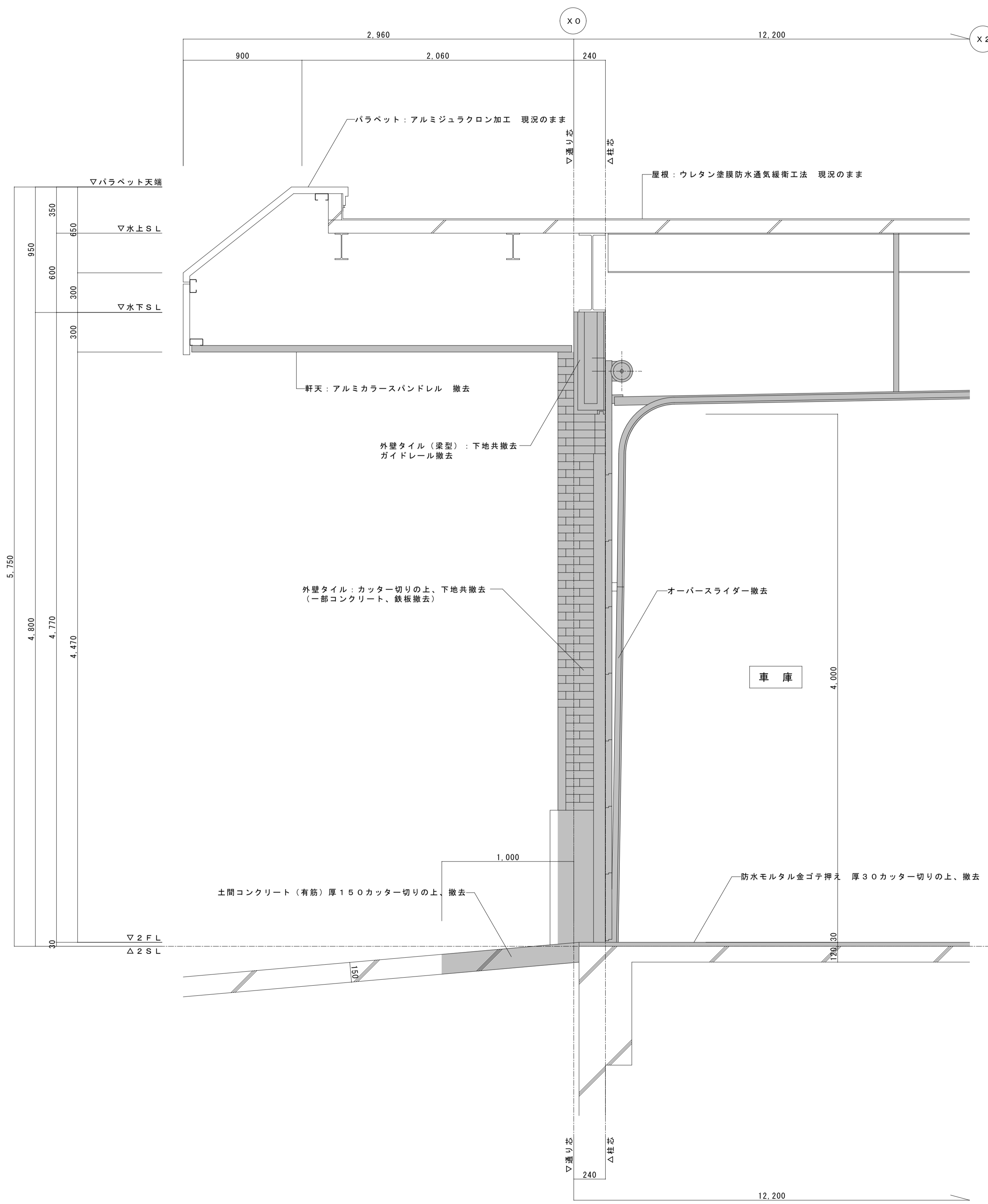
特記	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 断面図	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)			
				図番		
				製図者		



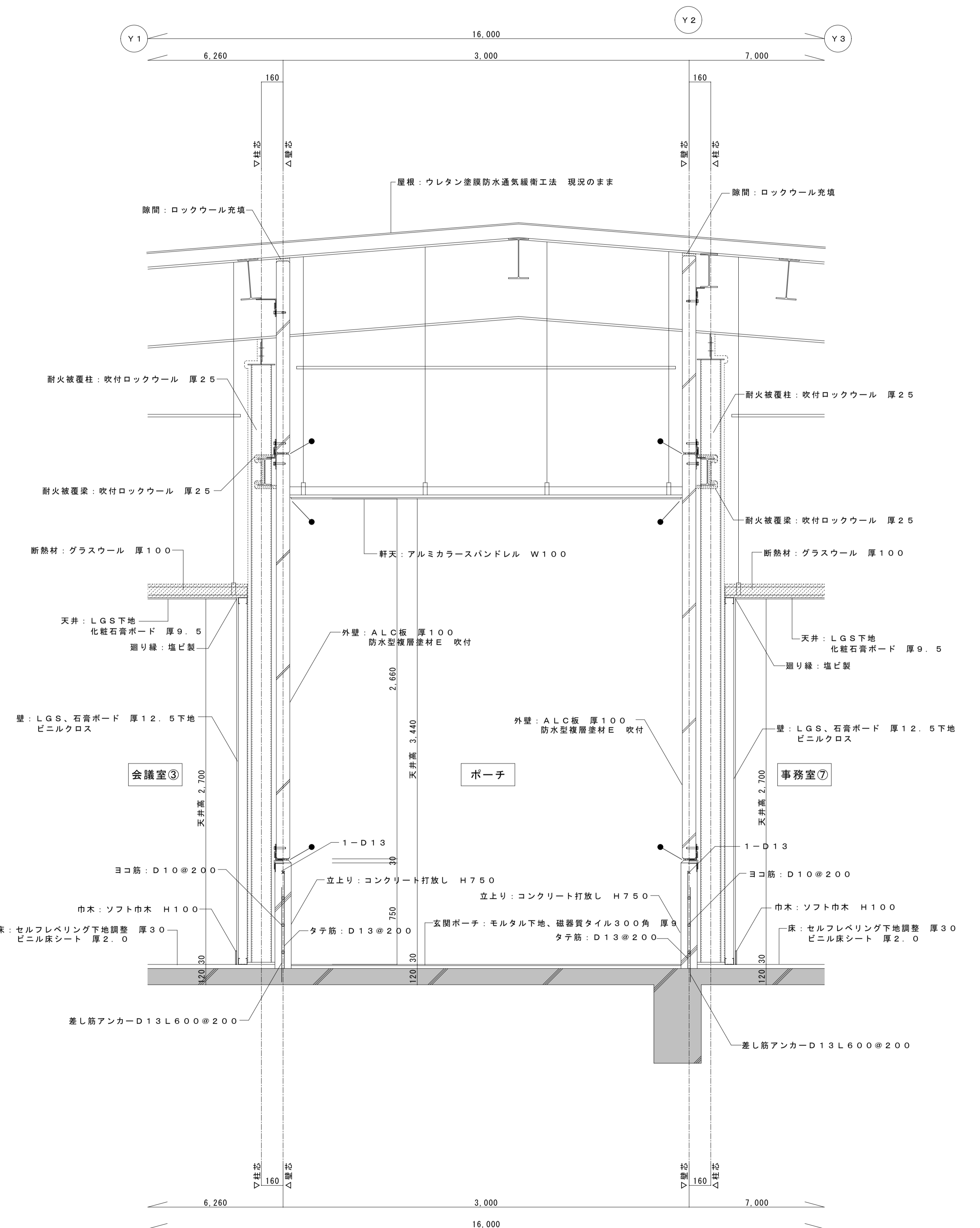
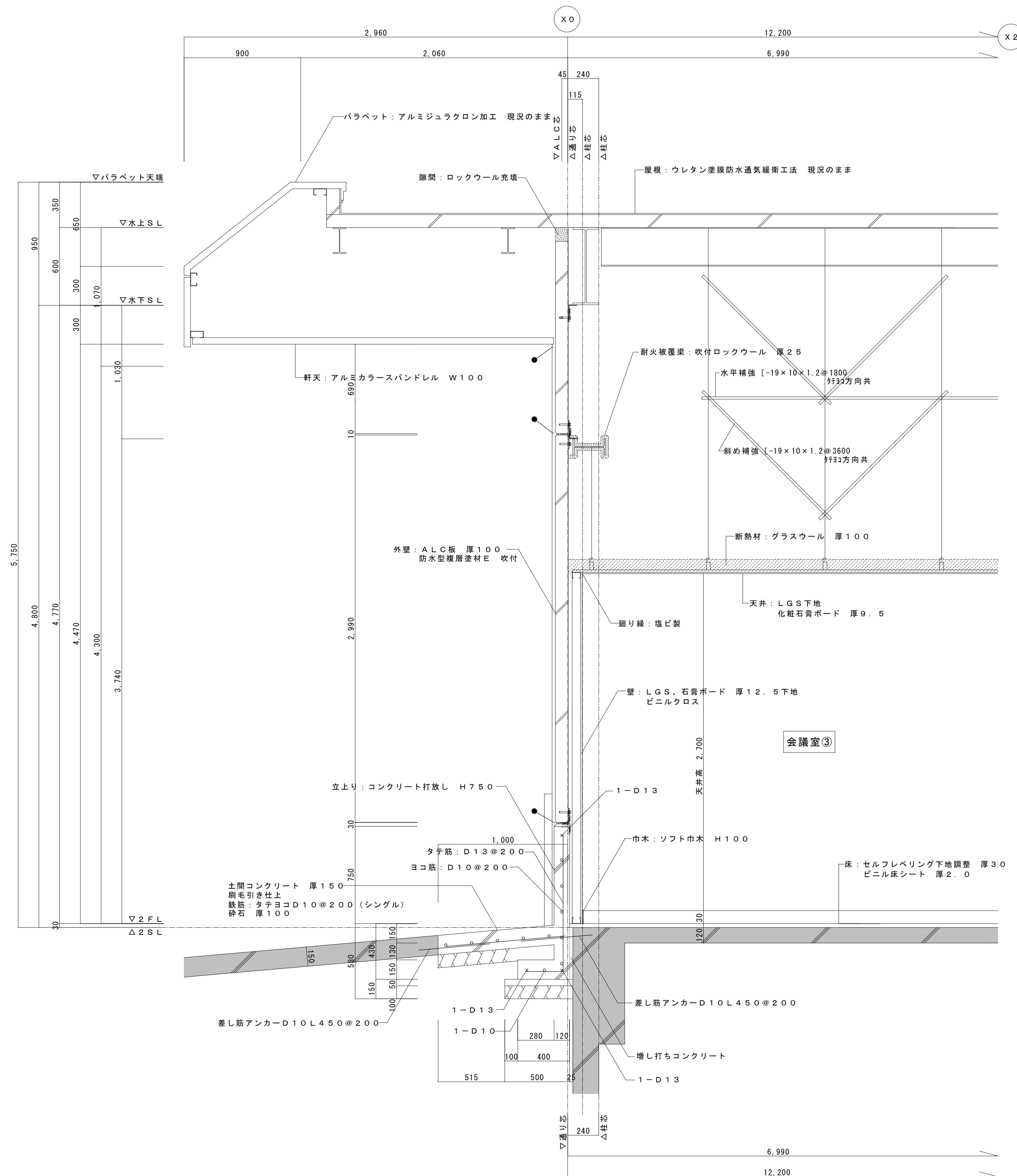


特記	工事名 伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名 <改修>断面図	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)			
			図面提出日		

現況 → 改修後



改修後

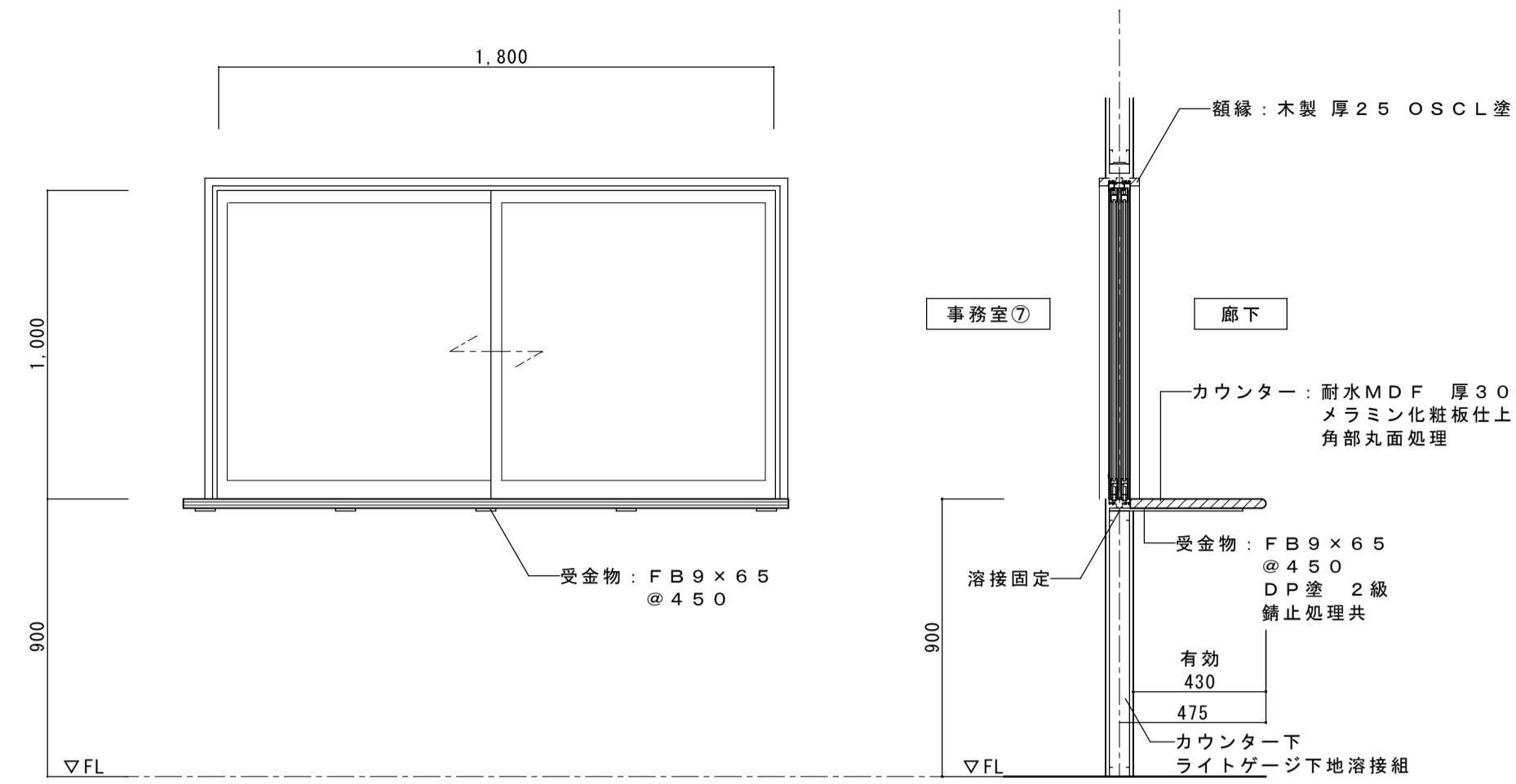


特記 ●はシーリング位置を示す。 設計基準強度：コンクリート $FC=21N/mm^2$ 鉄筋：SD295A (D16以下)	工事名 伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	承認 _____ 管理建築士	印 _____
	図名 <改修> 断面詳細図2	縮尺 1/20 (A1) 1/40 (A3)	図面番号 A-25



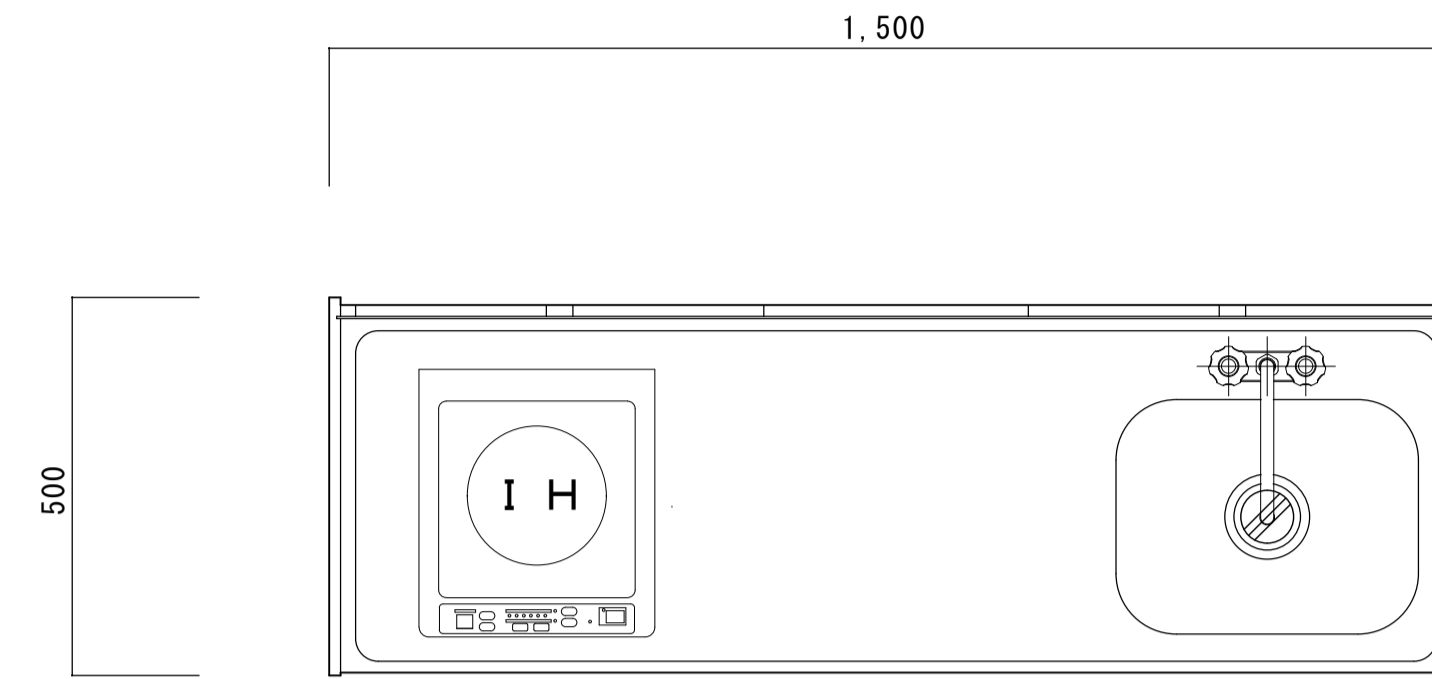
カウンター詳細図

1/20 (A1)  
1/40 (A3)



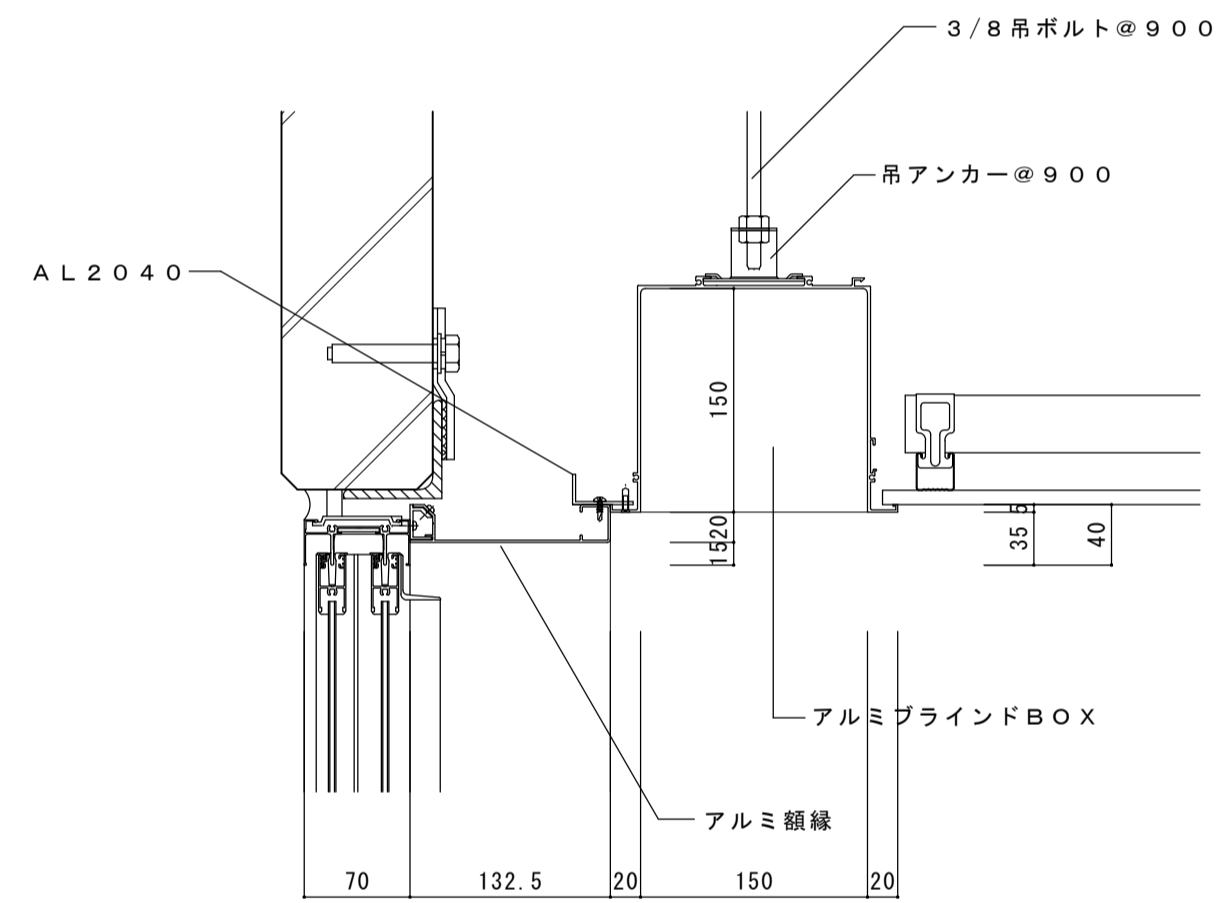
ミニキッチン詳細図

1/10 (A1)  
1/20 (A3)



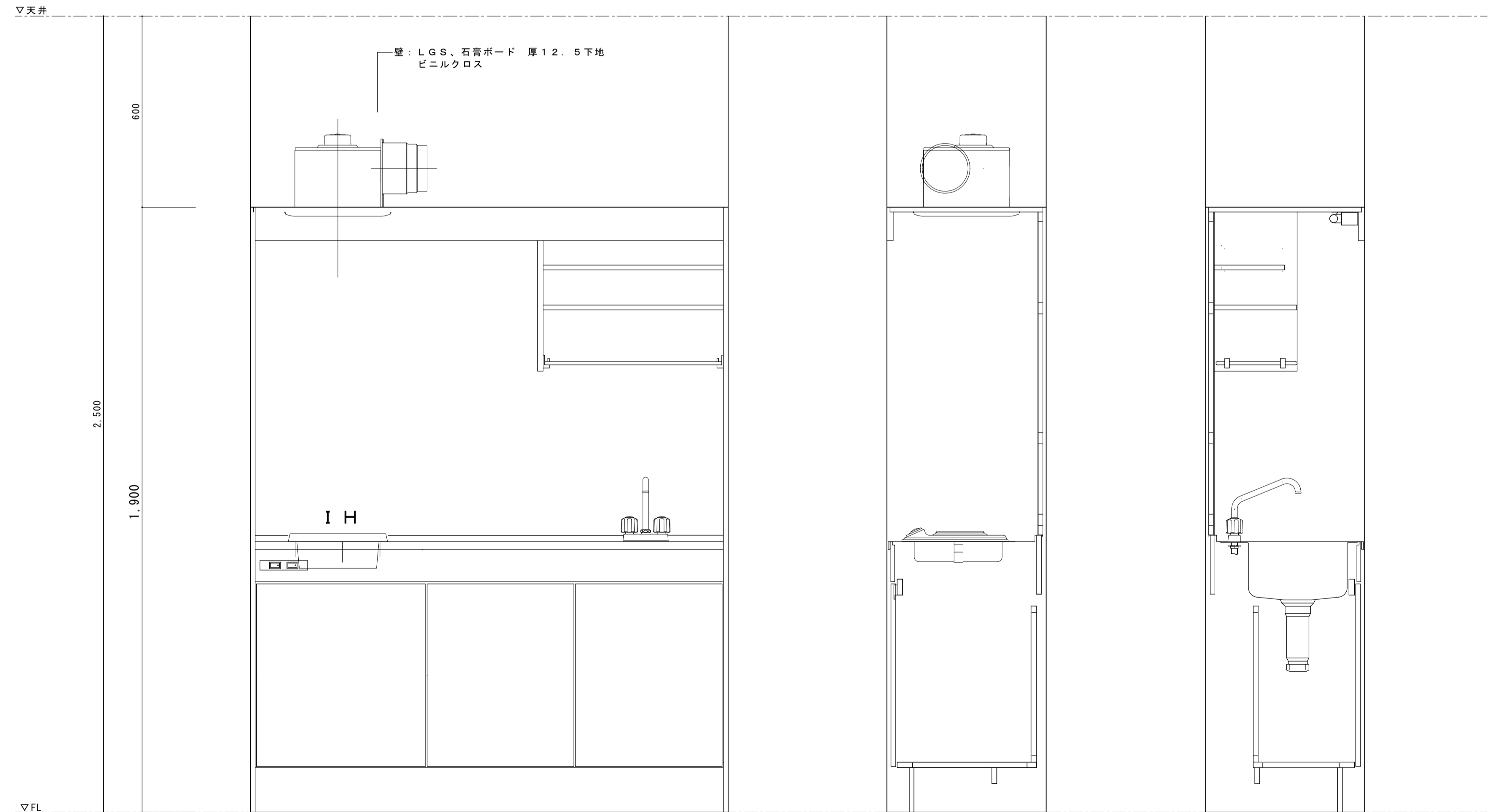
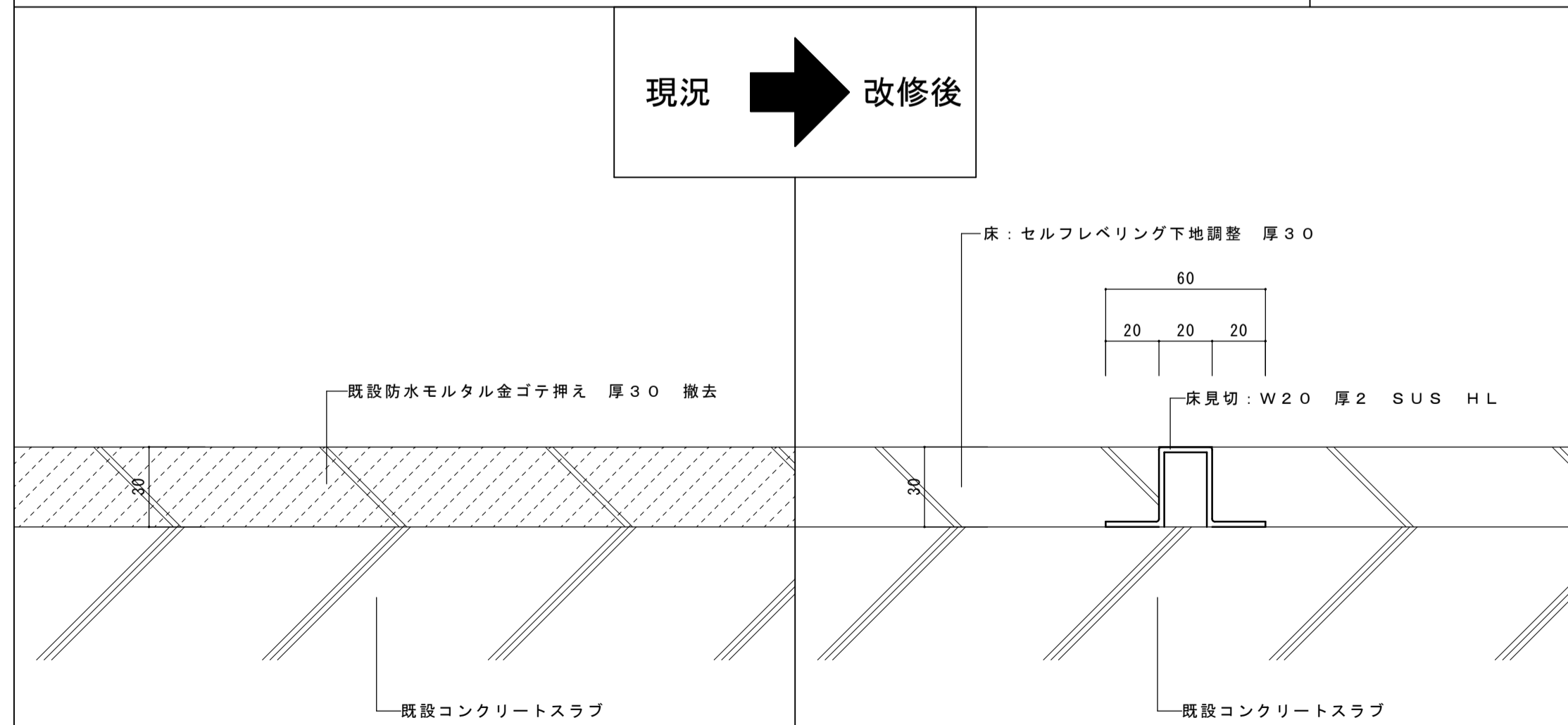
アルミブラインドBOX詳細図

1/5 (A1)  
1/10 (A3)

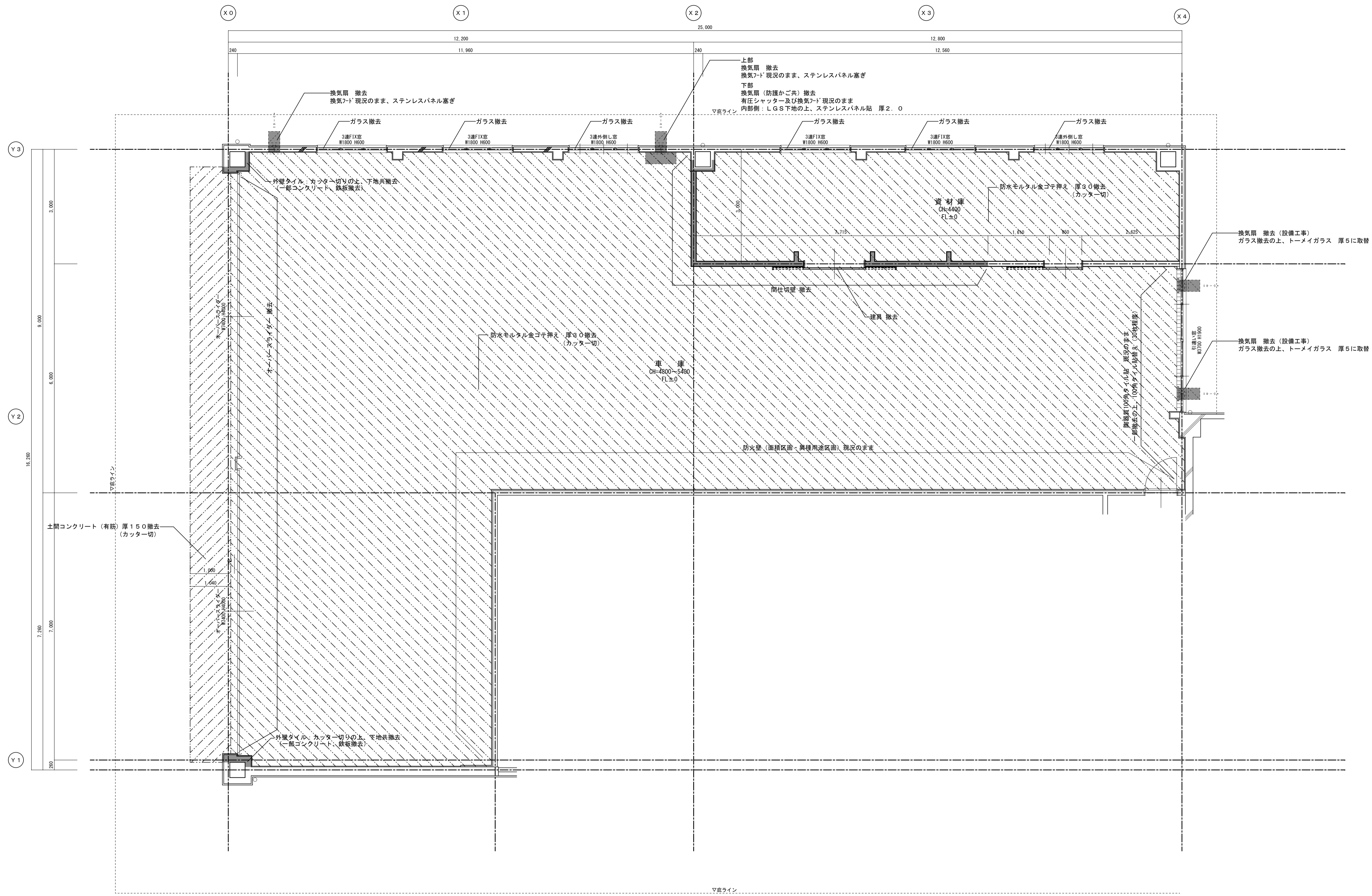


床見切部分詳細図

1/2 (A1)  
1/4 (A3)

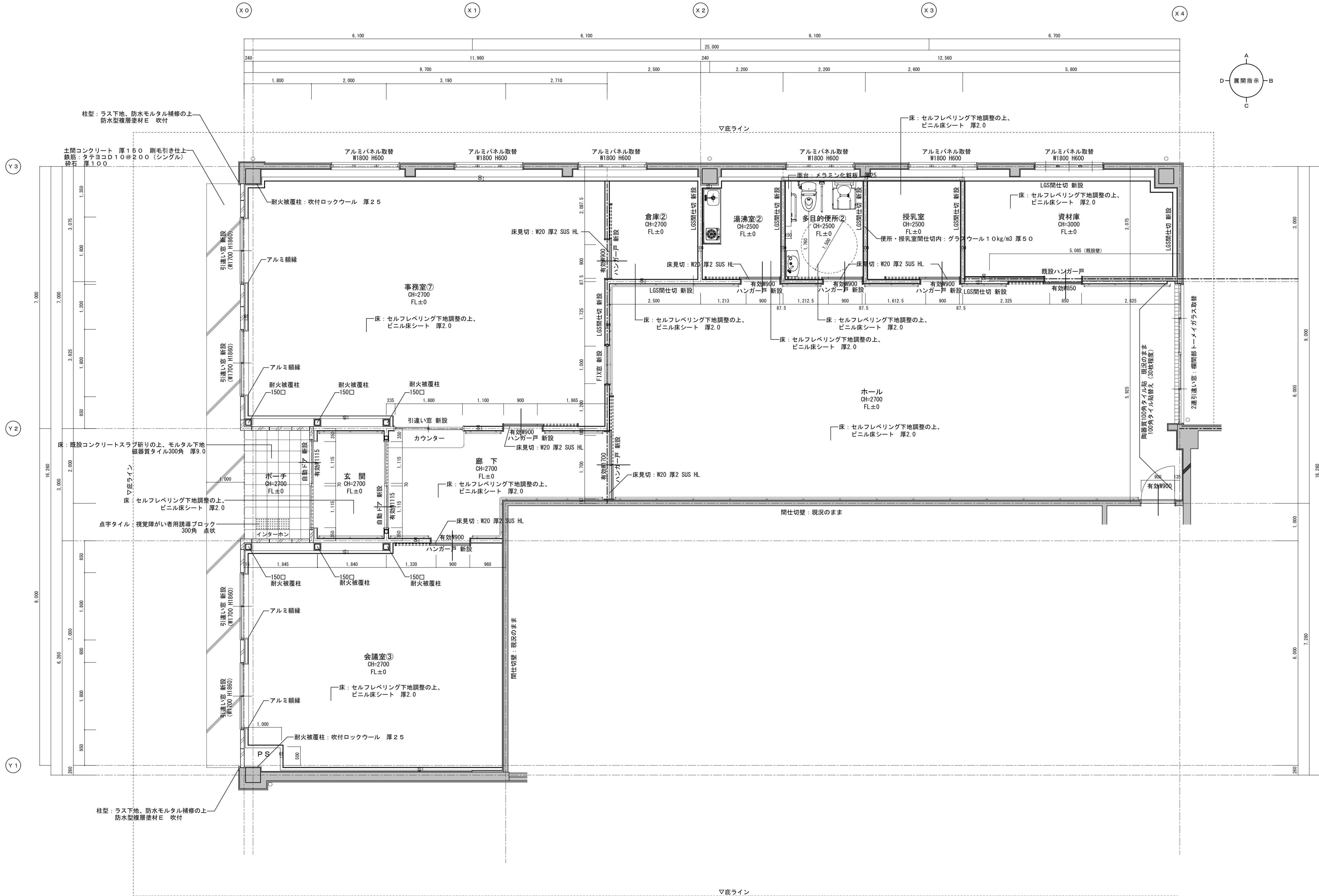


※LIXIL スタンダード飲料用電気温水器タイプ 同等品 (参考図)



< 現況 > 2 階平面詳細図 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

特記	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 2 階平面詳細図	縮尺 1/50 (A1) 1/100 (A3)	図番	A-27	図製

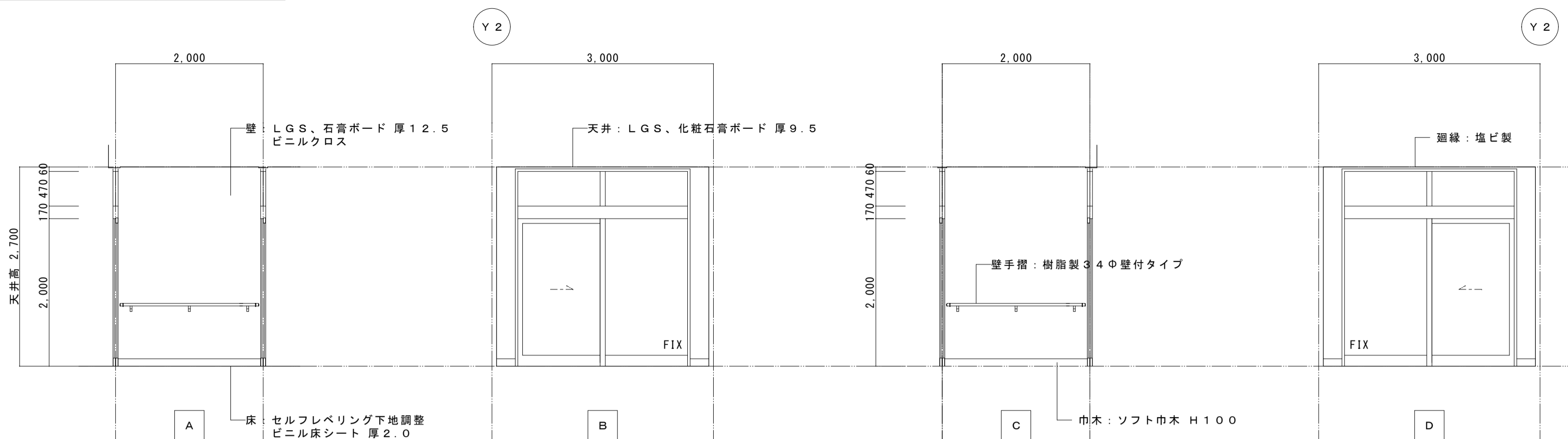


<改修>2階平面詳細図 1/50 (A1) 1/100 (A3)

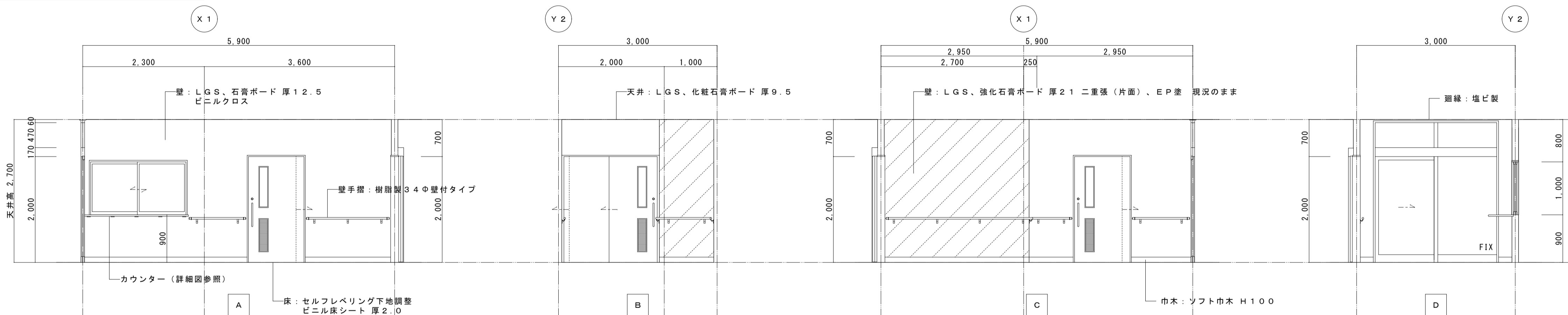
特記	は現況のまま範囲を示す。	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	承認		管理建築士	
		図名	<改修>2階平面詳細図	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	図番	A-28
				製図者		承認者	
				製図日		承認日	



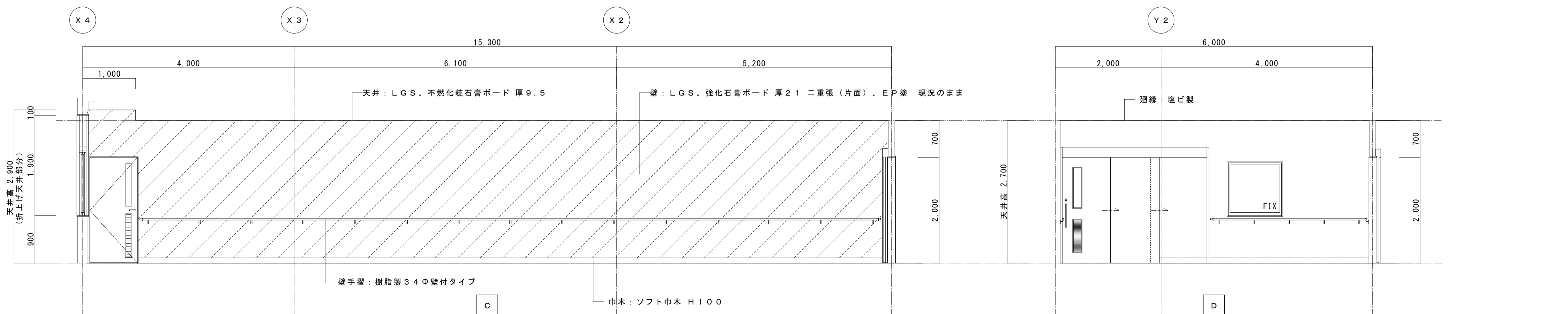
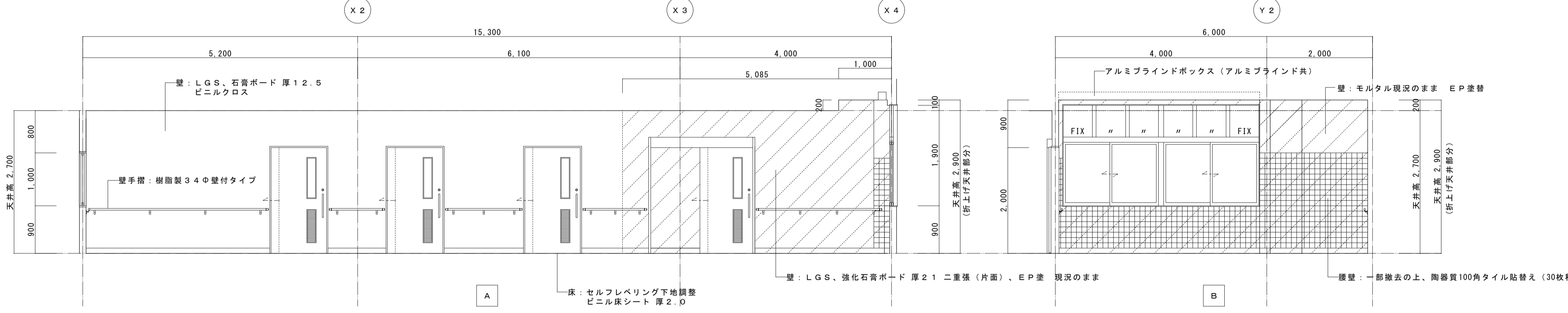
<改修>玄関 1/50 (A1)  
1/100 (A3)



<改修>廊下 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

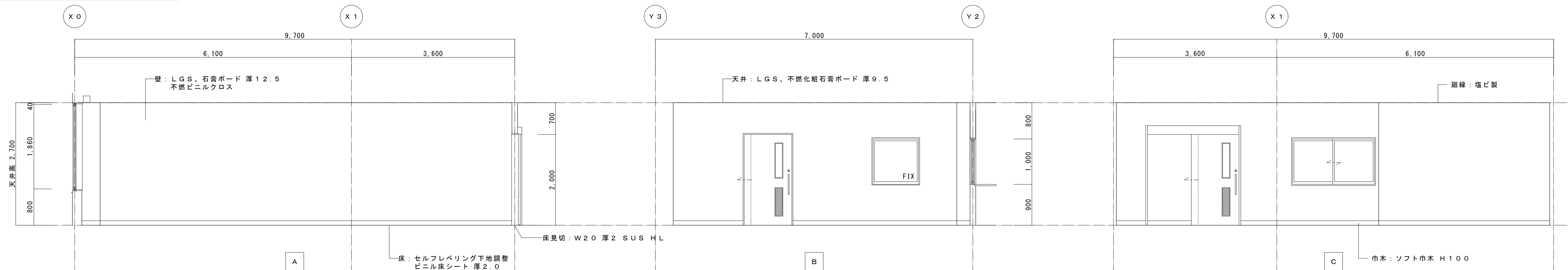


<改修>ホール 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

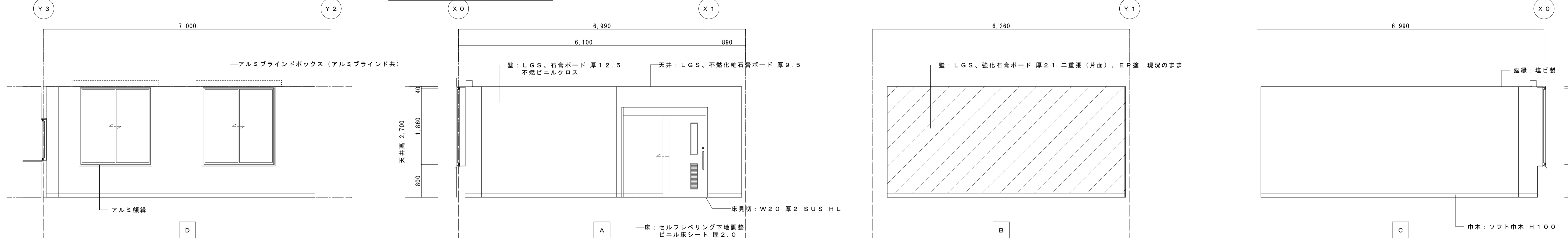


○ 凡例  
 既存壁範囲を示す。

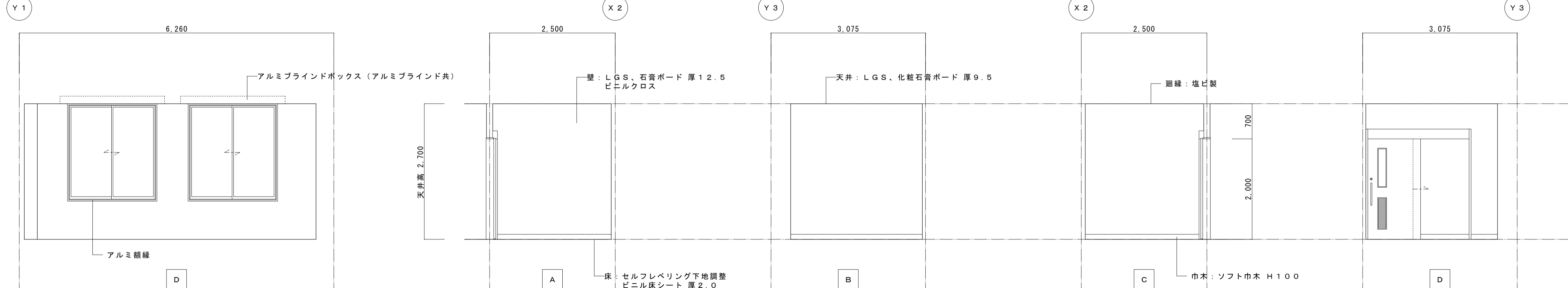
<改修>事務室⑦  
1/50 (A1)  
1/100 (A3)



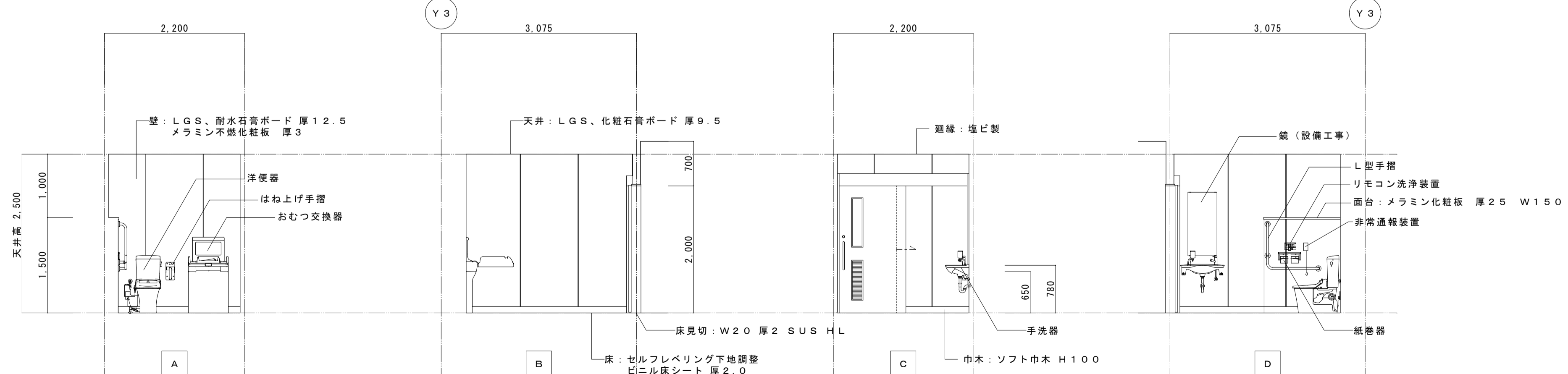
<改修>会議室③  
1/50 (A1)  
1/100 (A3)



<改修>倉庫②  
1/50 (A1)  
1/100 (A3)

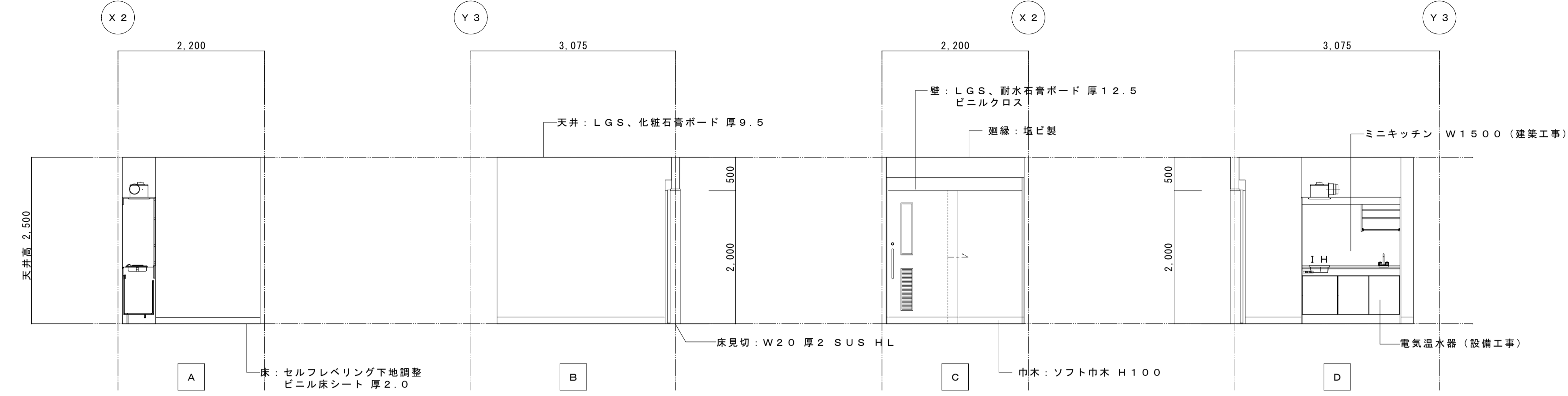


<改修>多目的便所②  
1/50 (A1)  
1/100 (A3)

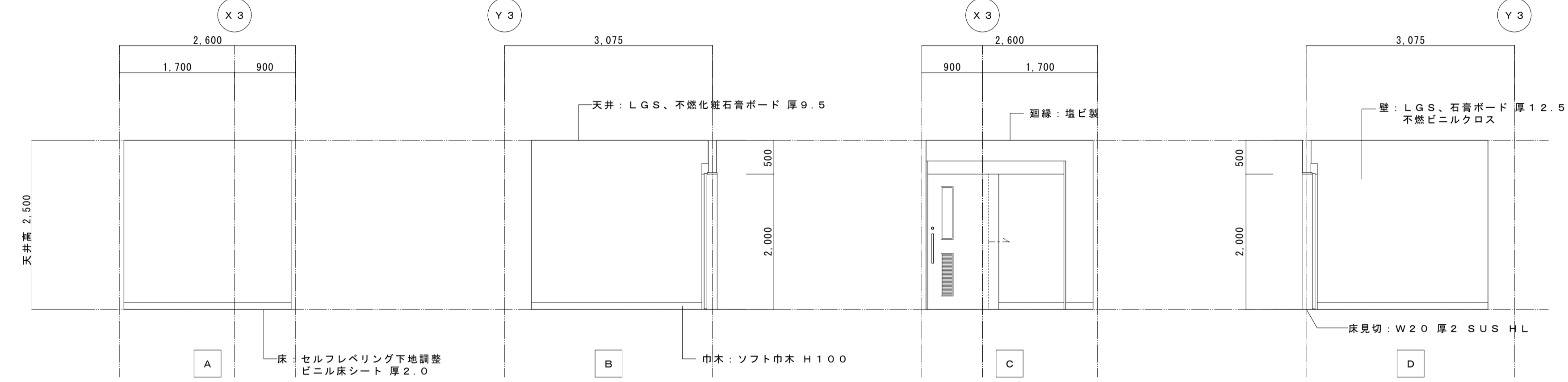


○ 凡例  
 既存壁範囲を示す。

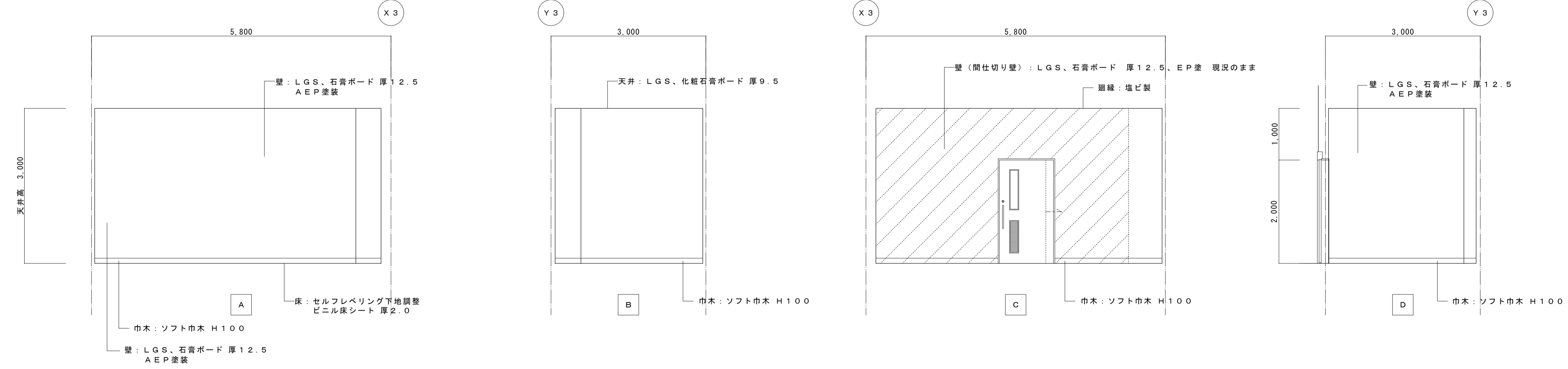
<改修>湯沸室② 1/50 (A1)  
1/100 (A3)



<改修>授乳室 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

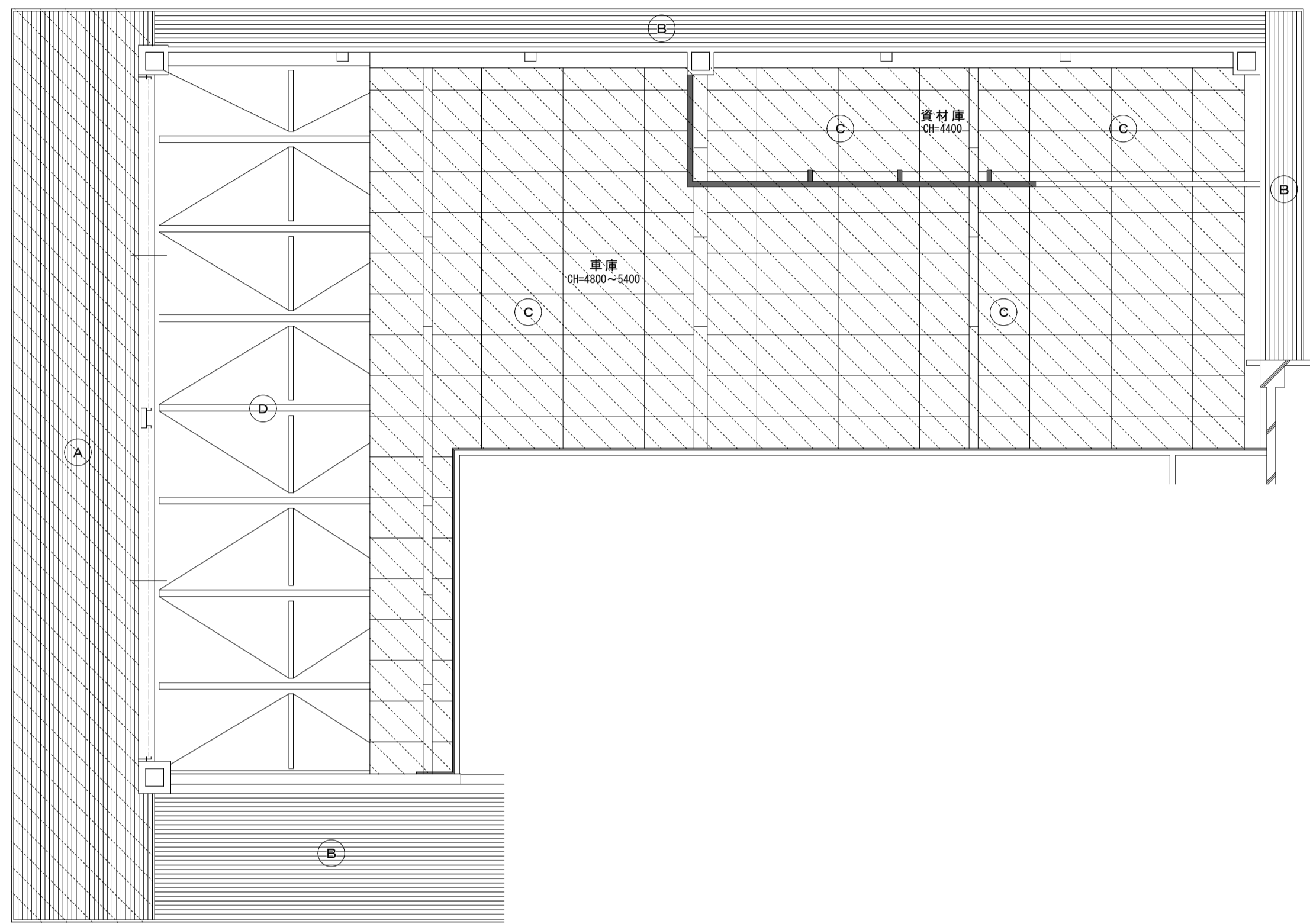


<改修>資材庫 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

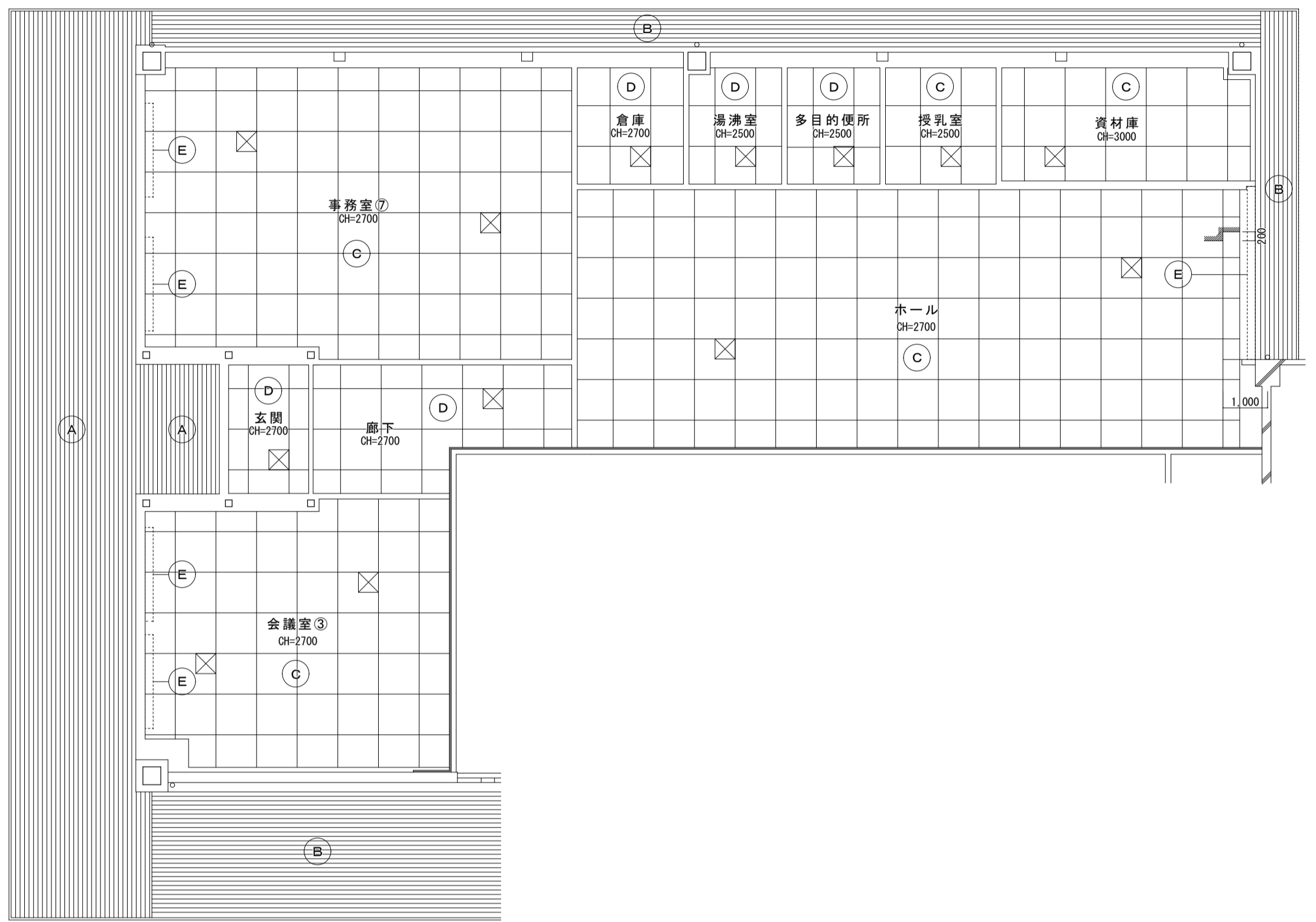




現況 → 改修後



<現況> 2階天井伏図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



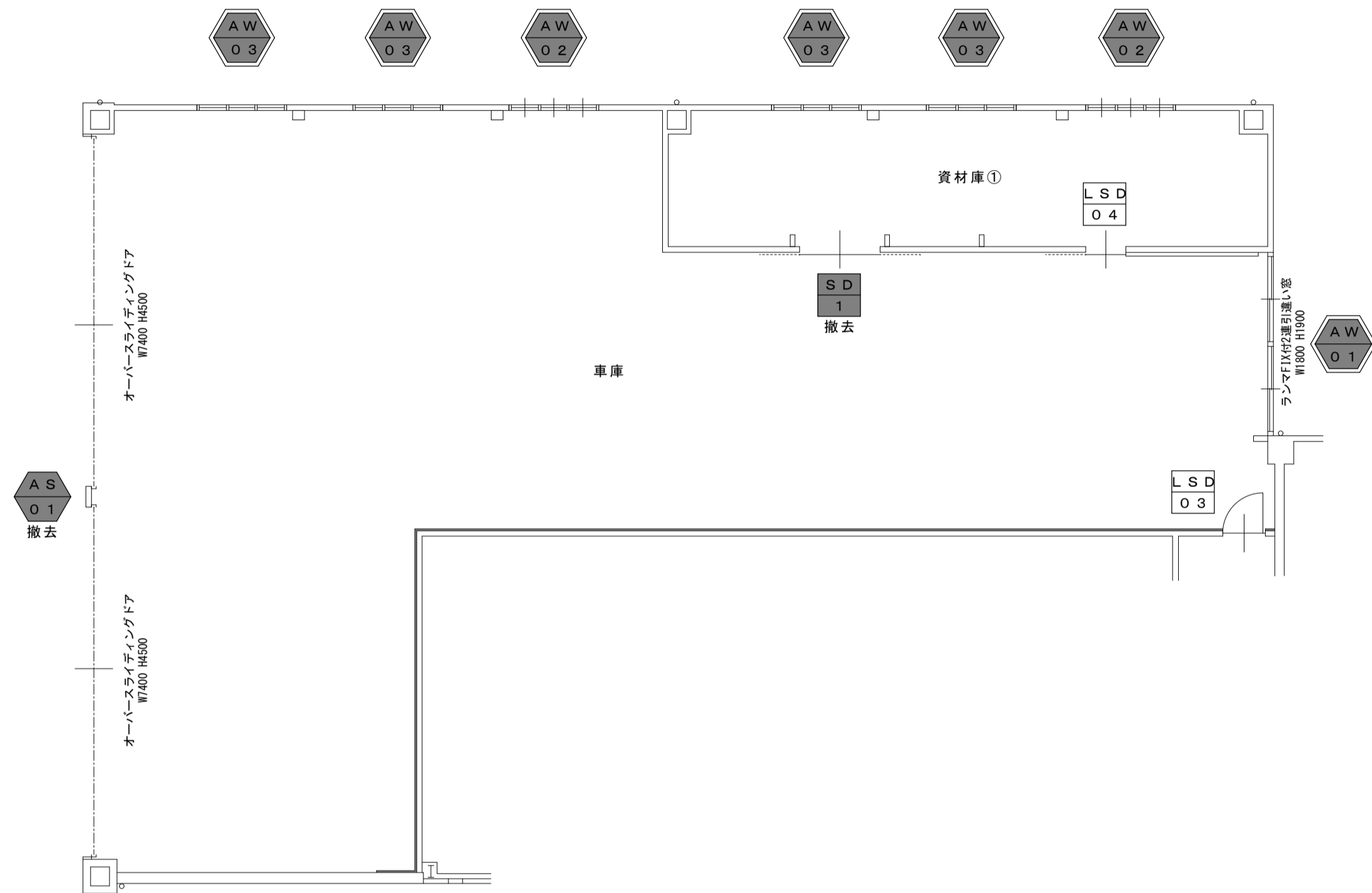
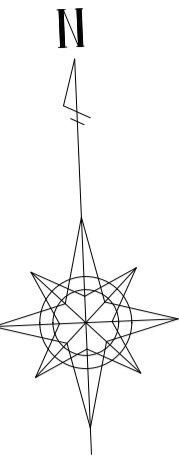
<改修> 2階天井伏図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

凡 例			
符 号	下 地	仕 上	廻 縁
(A)	LGS 撤去	アルミカラスバンドレル 撤去	-
(B)	LGS 現状のまま	アルミカラスバンドレル 現状のまま	-
(C)	LGS 撤去	石膏ボード 厚9、OP塗 撤去 梁型：ALC板 厚50、EP吹付 現状のまま	塩ビ製 撤去
(D)	鉄骨あらし 現状のまま	-	-
■ 間仕切壁撤去範囲を示す。			
▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。			

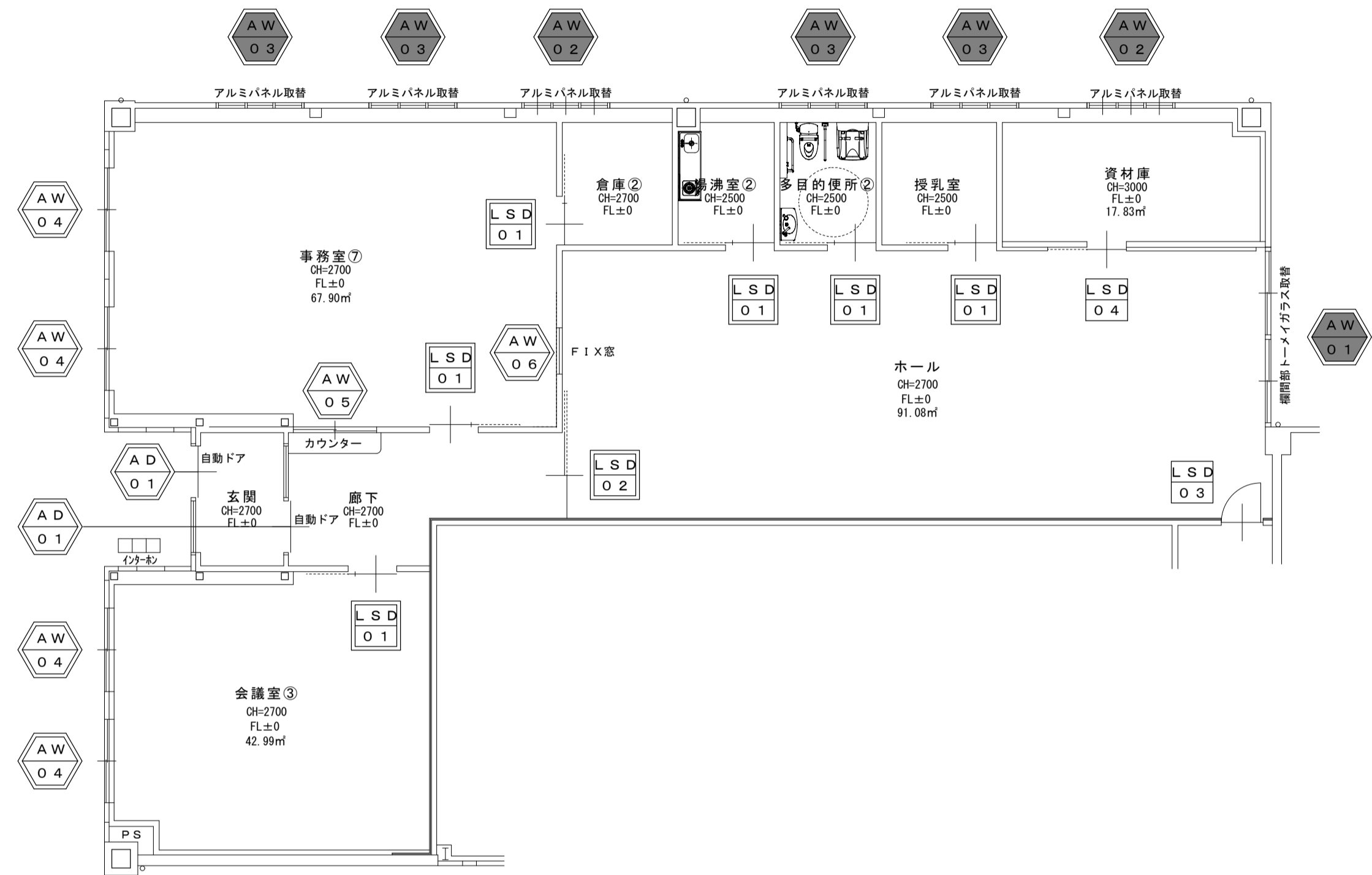
※アスベスト含有成形板（ロックウール吸音板）の処理は、散水などにより湿潤化し、てばらしとする。  
 作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。  
 除去物については、粉塵防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、  
 丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。  
 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル 2014.6（環境省水・大気環境局大気環境課）」を参考とする。

凡 例			
符 号	下 地	仕 上	廻 縁
(A)	LGS	アルミカラスバンドレル W100	-
(B)	LGS 現状のまま	アルミカラスバンドレル 現状のまま	-
(C)	LGS	不燃化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ製
(D)	LGS	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ製
(E)	アルミブラインドボックス（アルミブラインド共）		
⊗	アルミ天井点検口 450×450 ※点検口の位置・数量については現場打合せの上、決定すること。		

現況 → 改修後



<現況> 2階建具平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)



<改修> 2階建具平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

凡 例	
	アルミ建具を示す。
	スチール建具を示す。
	新設建具を示す。
	改修建具を示す。※一部撤去・交換
	撤去

建 具 表

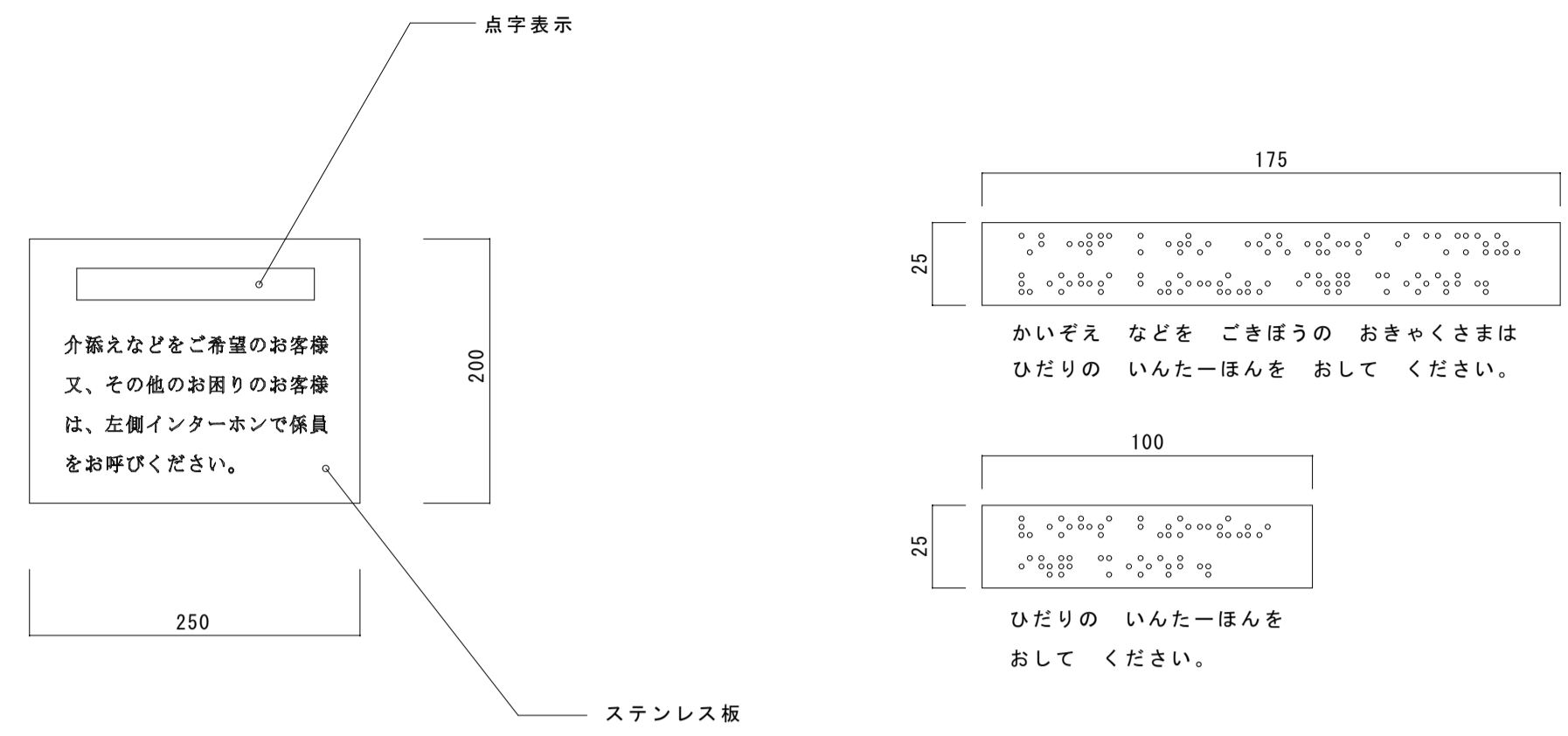
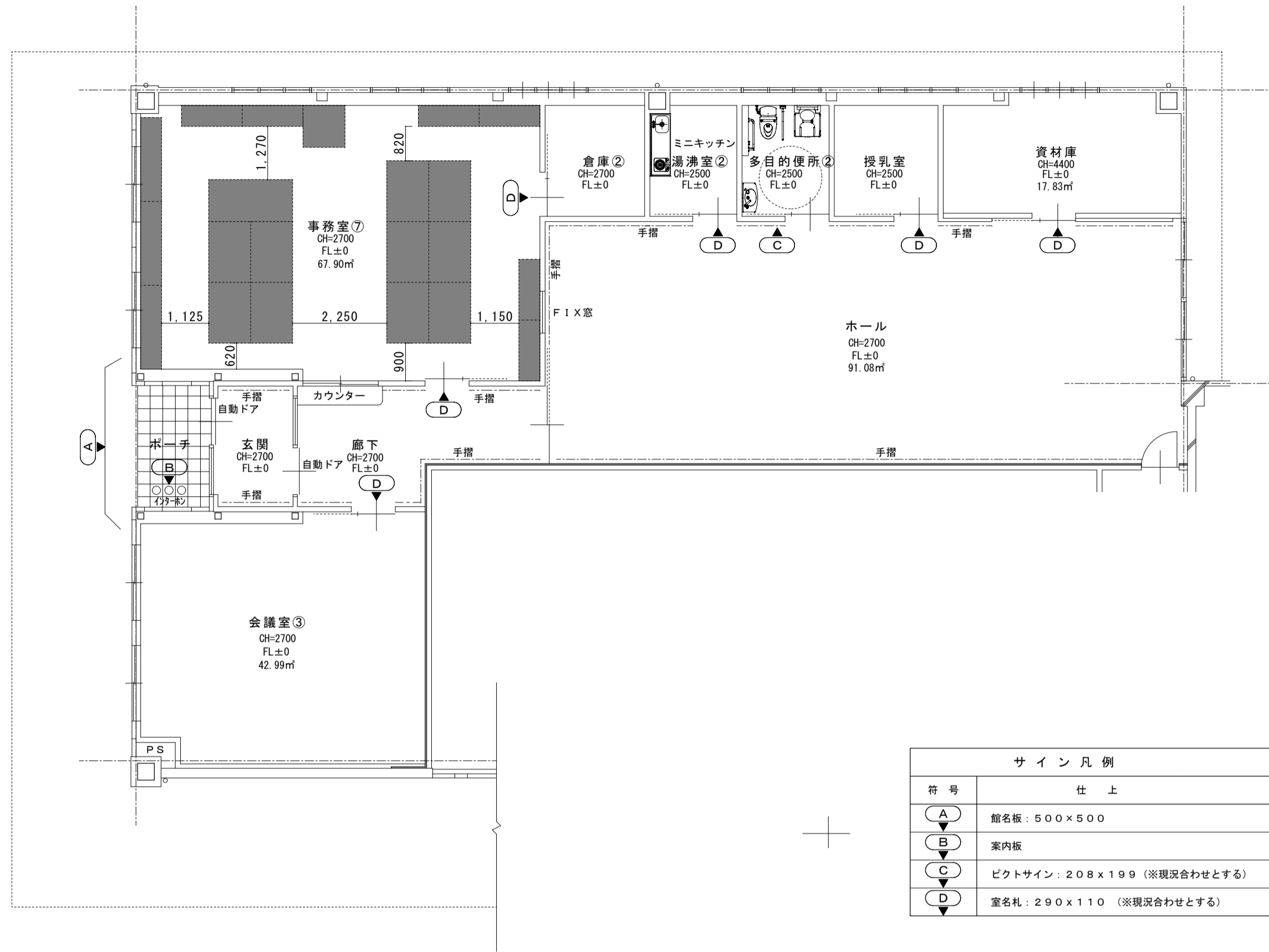
記号・数量	SD 01 撤去 資材庫 1ヶ所 1/50	AS 01 撤去 車庫 1ヶ所 1/100	AW 01 改修 資材庫② 1ヶ所 1/50	AW 02 改修 車庫、資材庫② 2ヶ所 1/50
姿 図				
建 具	スチール引分けハンガードア 見 込 86	アルミ手動オーバースライダー 見 込 -	アルミランマF1X付2連引違い窓 見 込 70	アルミ3連外倒し窓 見 込 70
仕 上	焼付塗装	アルミカラー 下地調整の上、DP塗(2級)(外側のみ)	アルミカラー	アルミカラー
硝 子	-	明かり窓:アクリル板 厚3	トーマイ 厚5	車庫:網入トーマイ 厚6.8 資材庫①:トーマイ 厚3
金 物	引手、ハンガーレール、ハンガーローラー、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	移動中柱、ガイドレール、ヘッドルーム H600 ・・・等付属金物一式	クレセント・・・等付属金物一式	オペレーターハンドル・・・等付属金物一式
備 考				
記号・数量	AW 03 改修 車庫、資材庫① 4ヶ所 1/50	LSD 03 現況 車庫 1ヶ所 1/50	LSD 04 現況 資材庫① 1ヶ所 1/50	
姿 図				
建 具	アルミ3連F1X窓 見 込 70	鋼製軽量片開きドア 見 込 40	鋼製軽量ハンガードア 見 込 40	
仕 上	アルミカラー	焼付塗装	焼付塗装	
硝 子	車庫:網入トーマイ 厚6.8 資材庫①:トーマイ 厚3	型板 厚4	型板 厚4	
金 物	付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠(内部サムターン)、ガラリ、丁番、ドアチェック 戸当たり・・・等付属金物一式	引き棒、シリンダー錠(内部サムターン)、ガラリ、フリーストッパー ハンガー戸車・・・等付属金物一式	
備 考				
記号・数量				
姿 図				
建 具				
仕 上				
硝 子				
金 物				
備 考				

建 具 表

記号・数量	AD01 玄関 2ヶ所 1/50	AW01 改修 資材庫 1ヶ所 1/50	AW02 改修 倉庫②、資材庫 2ヶ所 1/50	AW03 改修 事務室⑦、多目的便所②、授乳室 4ヶ所 1/50	AW4 事務室⑦、会議室③ 4ヶ所 1/50
姿 図					
建 具	アルミFIXランマFIX付自動片引きドア 見 込 100	アルミランマFIX付2連引違い窓 見 込 70	アルミ3連外倒し窓 見 込 70	アルミ3連FIX窓 見 込 70	アルミ引違い窓 見 込 70
仕 上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
硝 子	強化トーマイ 厚5 ランマ：トーマイ 厚5	トーマイ 厚5	アルミパネル 厚3	アルミパネル 厚3	複層ガラス (FL5+A12+FL5)
金 物	エンジン装置一式、SUSレール、シリンダー錠 (内部サムターン)、センサー、タッチセンサー、アルミ額縁・・・等付属金物一式	アルミ網戸新設、クレセント現況のまま	オペレーターハンドル現況のまま	-	アルミ網戸、アルミ額縁、クレセント・・・等付属金物一式
備 考					
記号・数量	AW05 事務室⑦ 1ヶ所 1/50	AW06 事務室⑦ 1ヶ所 1/50	LSD01 事務室⑦、会議室③、倉庫②、湯沸室②、多目的便所②、授乳室 6ヶ所 1/50	LSD02 ホール 1ヶ所 1/50	LSD03 現況 車庫 1ヶ所 1/50
姿 図					
建 具	アルミ引き違い窓 見 込 70	アルミFIX窓 見 込 70	鋼製軽量ハンガードア 見 込 40	鋼製軽量ハンガードア 見 込 70	鋼製軽量片開きドア 見 込 40
仕 上	アルミカラー	アルミカラー	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
硝 子	トーマイ 厚5	トーマイ 厚5	型板 厚4	型板 厚4	型板 厚4
金 物	アルミ額縁、クレセント・・・等付属金物一式	アルミ額縁・・・等付属金物一式	引き棒、シリンダー錠 (内部サムターン)、ガラリ、フリーストッパー、ハンガー戸車・・・等付属金物一式 (多目的便所・授乳室は表示錠とする)	引き棒、シリンダー錠 (内部サムターン)、ガラリ、フリーストッパー、ハンガー戸車・・・等付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠 (内部サムターン)、ガラリ、丁番、ドアチェック戸当たり・・・等付属金物一式
備 考					
記号・数量	LSD04 現況 資材庫① 1ヶ所 1/50				
姿 図					
建 具	鋼製軽量ハンガードア 見 込 40				
仕 上	焼付塗装				
硝 子	型板 厚4				
金 物	引き棒、シリンダー錠 (内部サムターン)、ガラリ、フリーストッパーハンガー戸車・・・等付属金物一式				
備 考					

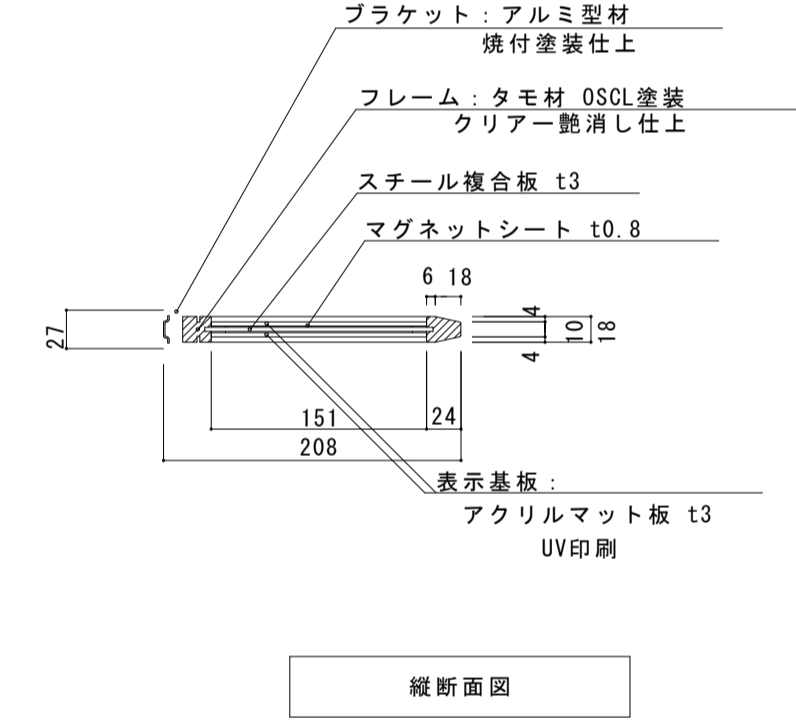
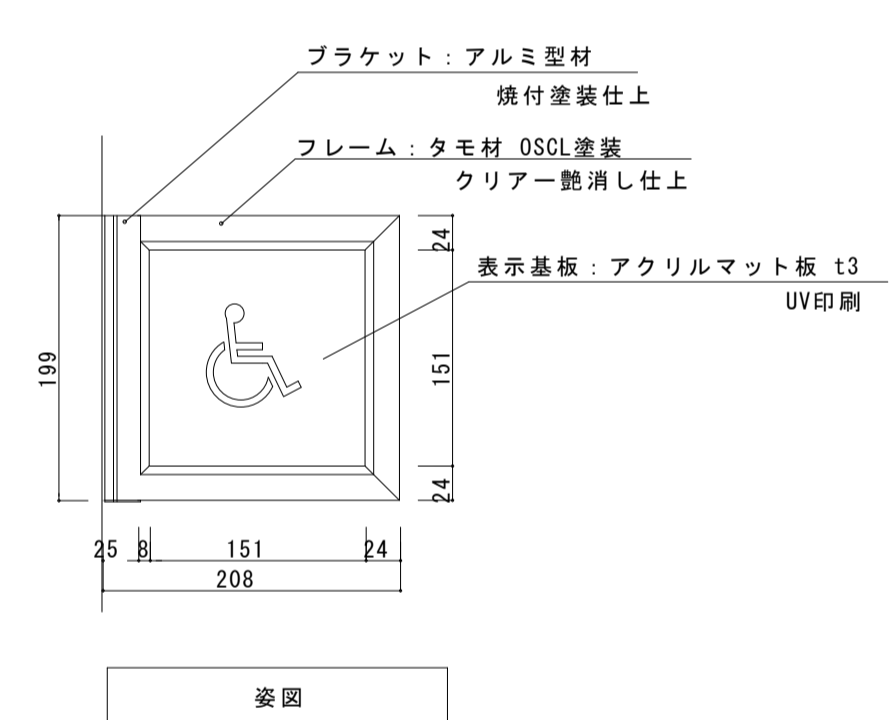
特記 .....は現況建具を示す。



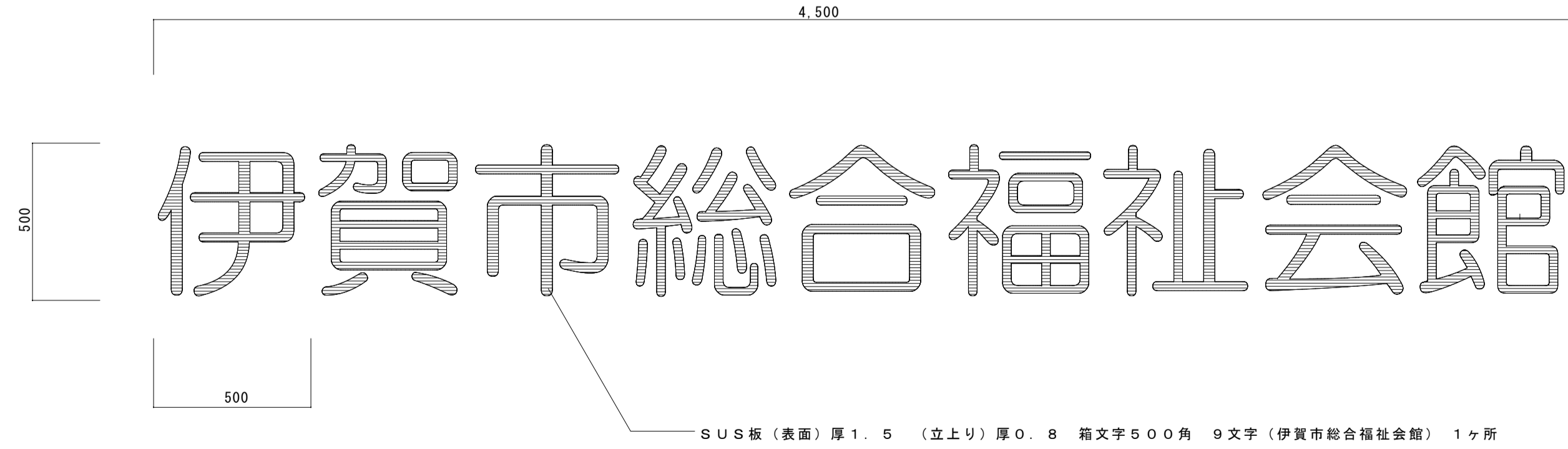


本 体： フレーム：タモ材 OSCL塗装  
 ブラケット：アルミ型材 焼付塗装仕上  
 表示基板：アクリルマット板 t3 UV印刷  
 寸 法：208×199 t-18  
 表 示 方 法：UV印刷 (多色刷り)  
 ※サイン記号はJIS28210によるデザインとする

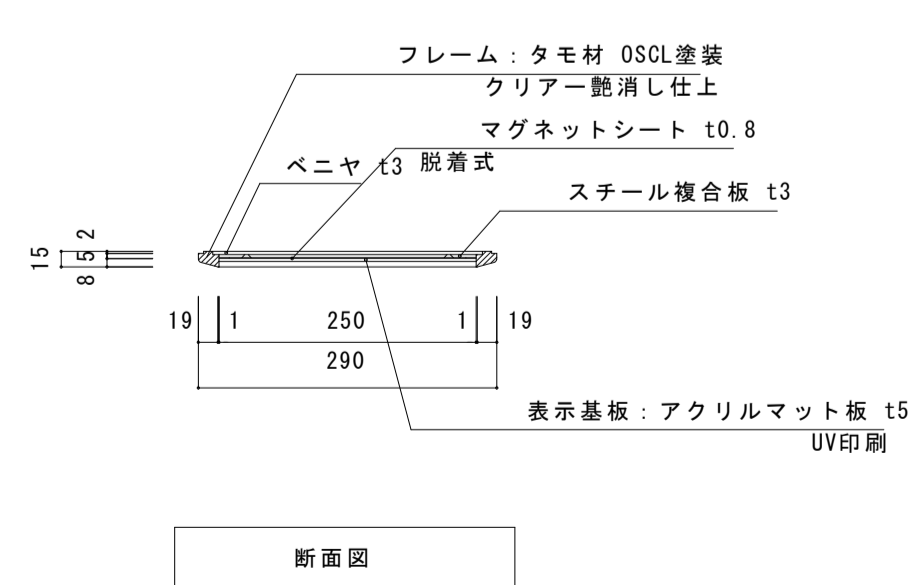
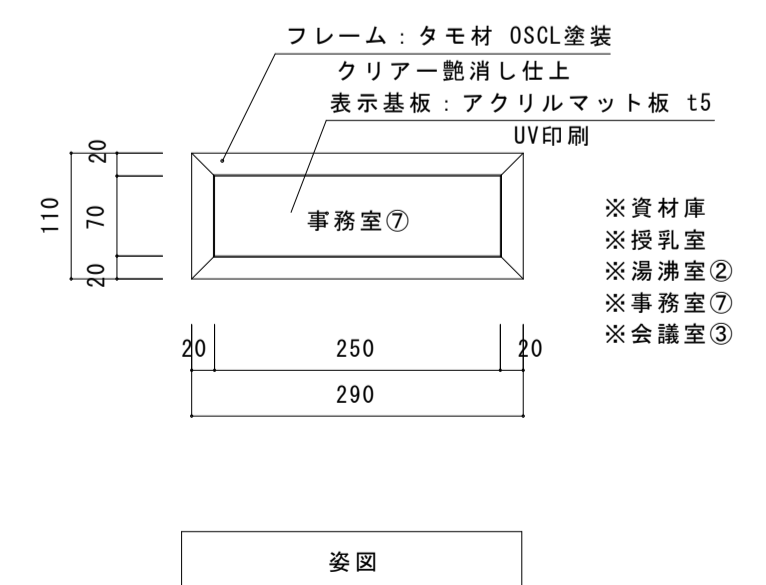
サイン凡例	
符 号	仕 上
○A	館名板：500×500
○B	案内板
○C	ピクトサイン：208×199 (※現況合わせとする)
○D	室名札：290×110 (※現況合わせとする)

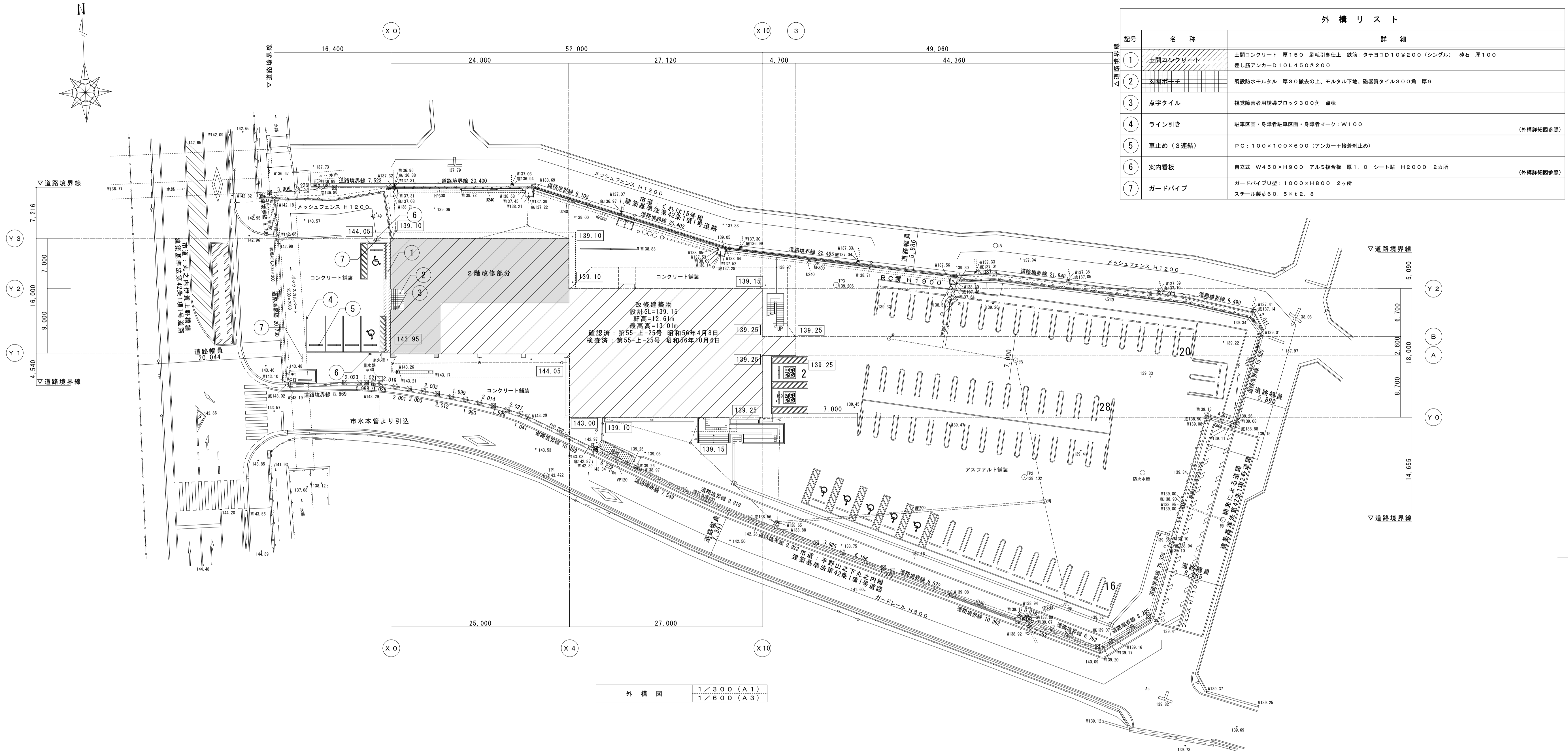


サイン指示図 1 / 100 (A1)  
1 / 200 (A3)



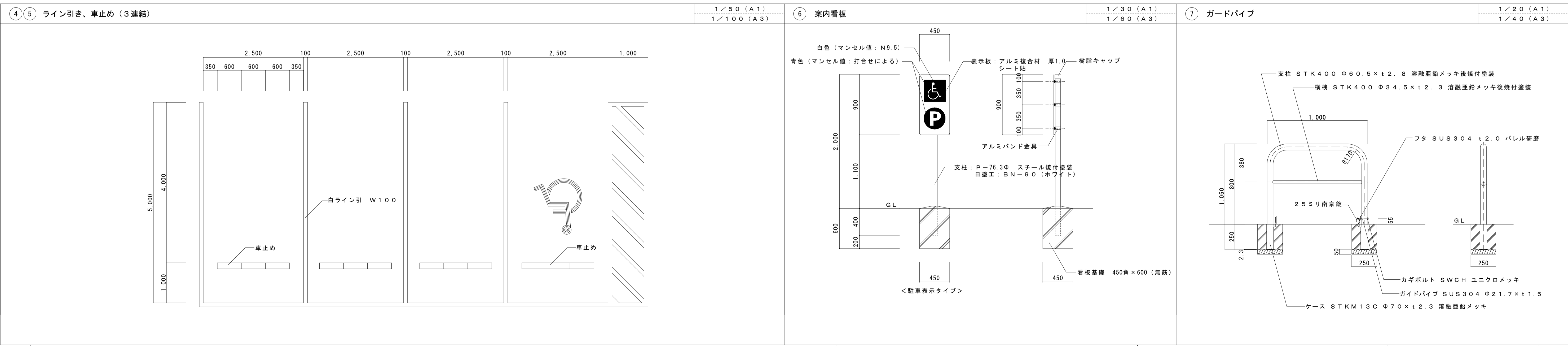
本 体： フレーム：タモ材 OSCL塗装  
 表示基板：アクリルマット板 t5 UV印刷  
 寸 法：290×110 t-15  
 表 示 方 法：UV印刷 (花柄等多色刷り)

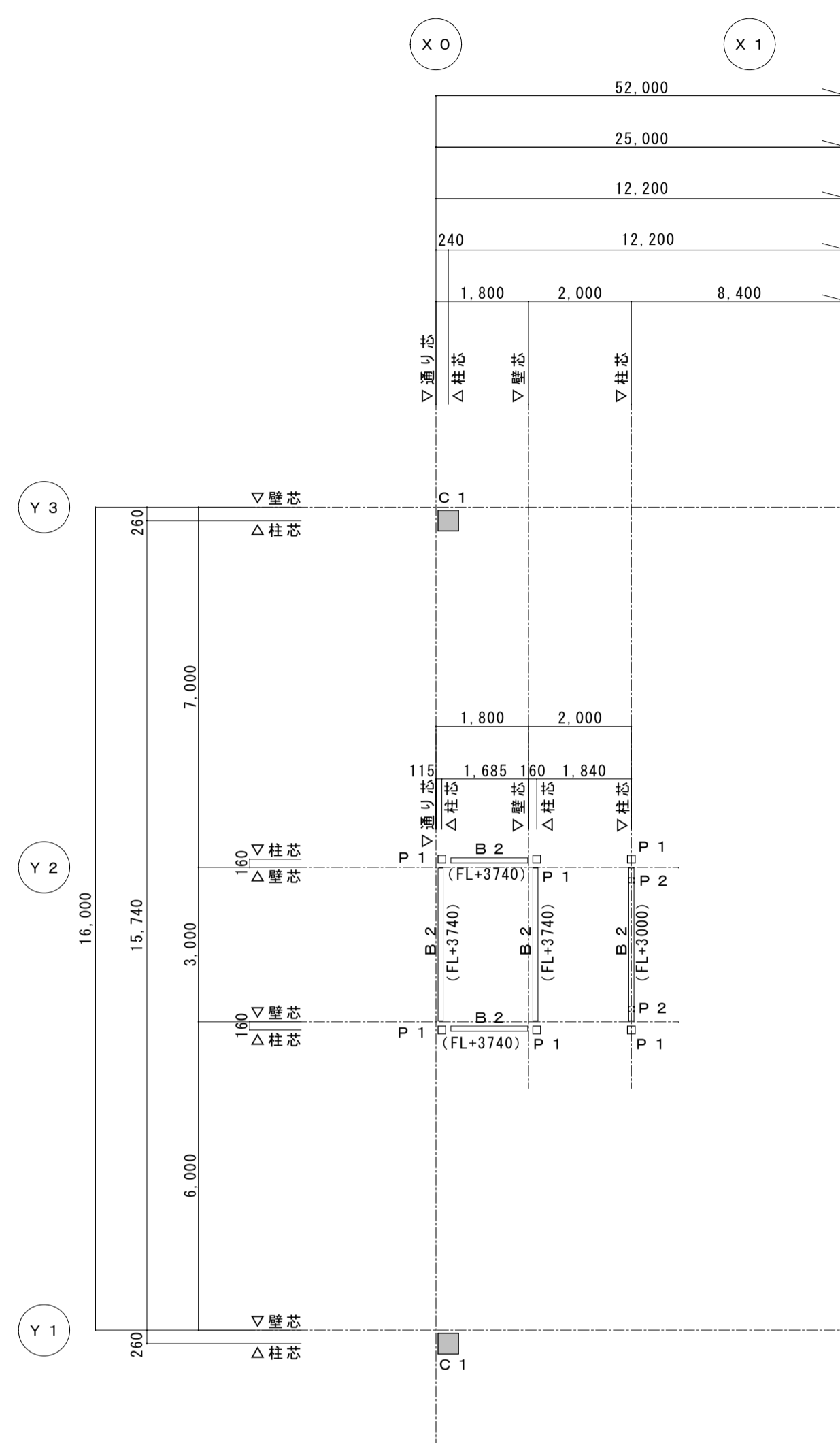




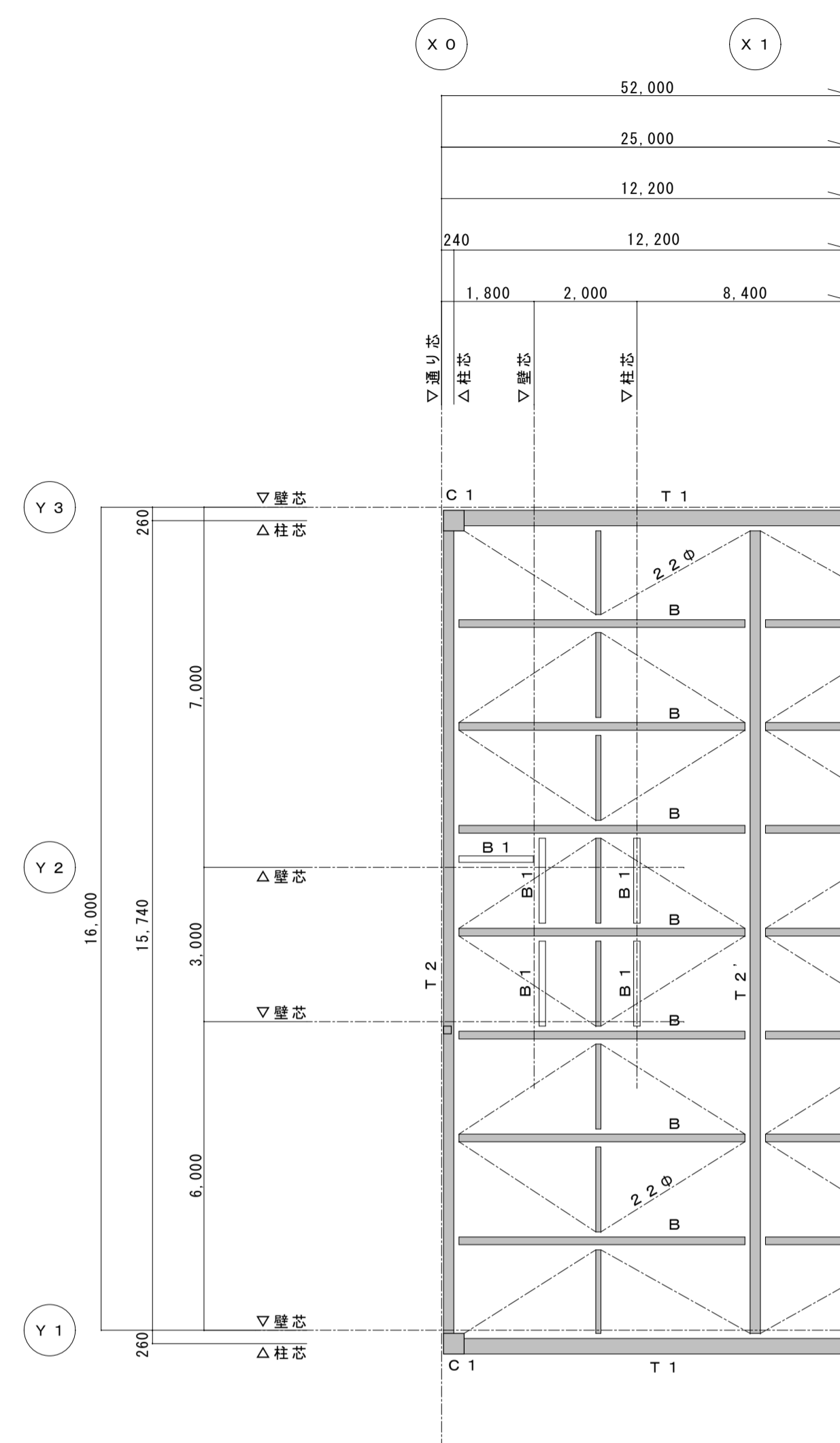
外構リスト		
記号	名称	詳細
①	土間コンクリート	土間コンクリート 厚150 刷毛引き仕上 鉄筋:タテヨコD10@200(シングル) 砕石 厚100 差し筋アンカーD10L450@200
②	玄関階一歩	既設防水モルタル 厚30撤去の上、モルタル下地、磁器質タイル300角 厚9
③	点字タイル	視覚障害者用誘導ブロック300角 点状
④	ライン引き	駐車区画・身障者駐車区画・身障者マーク:W100 (外構詳細図参照)
⑤	車止め(3連結)	PC:100×100×600 (アンカー+接着剤止め)
⑥	案内看板	自立式 W450×H900 アルミ複合板 厚1.0 シート貼 H2000 2カ所 (外構詳細図参照)
⑦	ガードパイプ	ガードパイプ型:1000×H800 2ヶ所 スチール製φ60.5×t2.8

外構図 1/300 (A1)  
1/600 (A3)

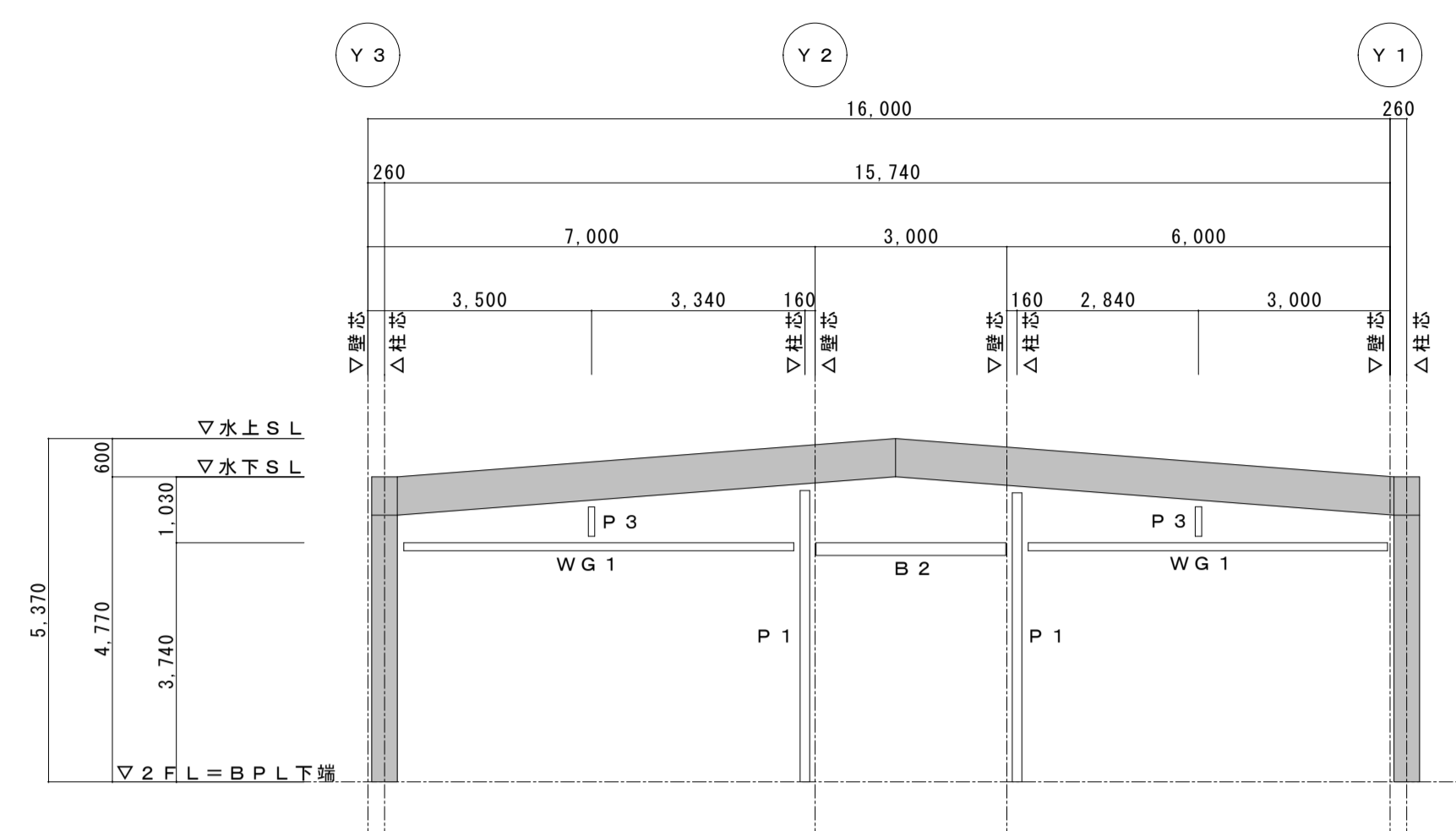




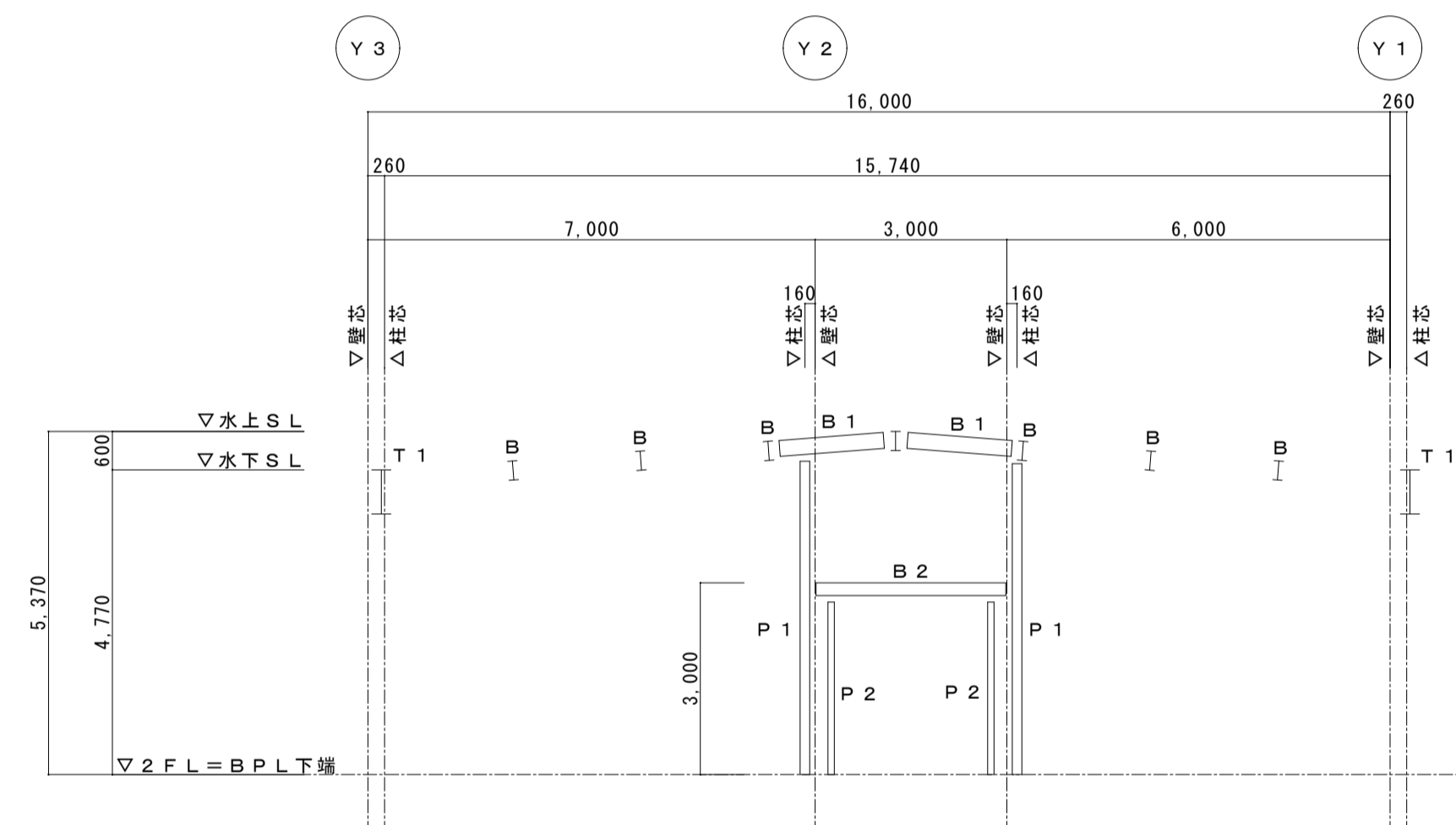
柱伏図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



梁伏図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

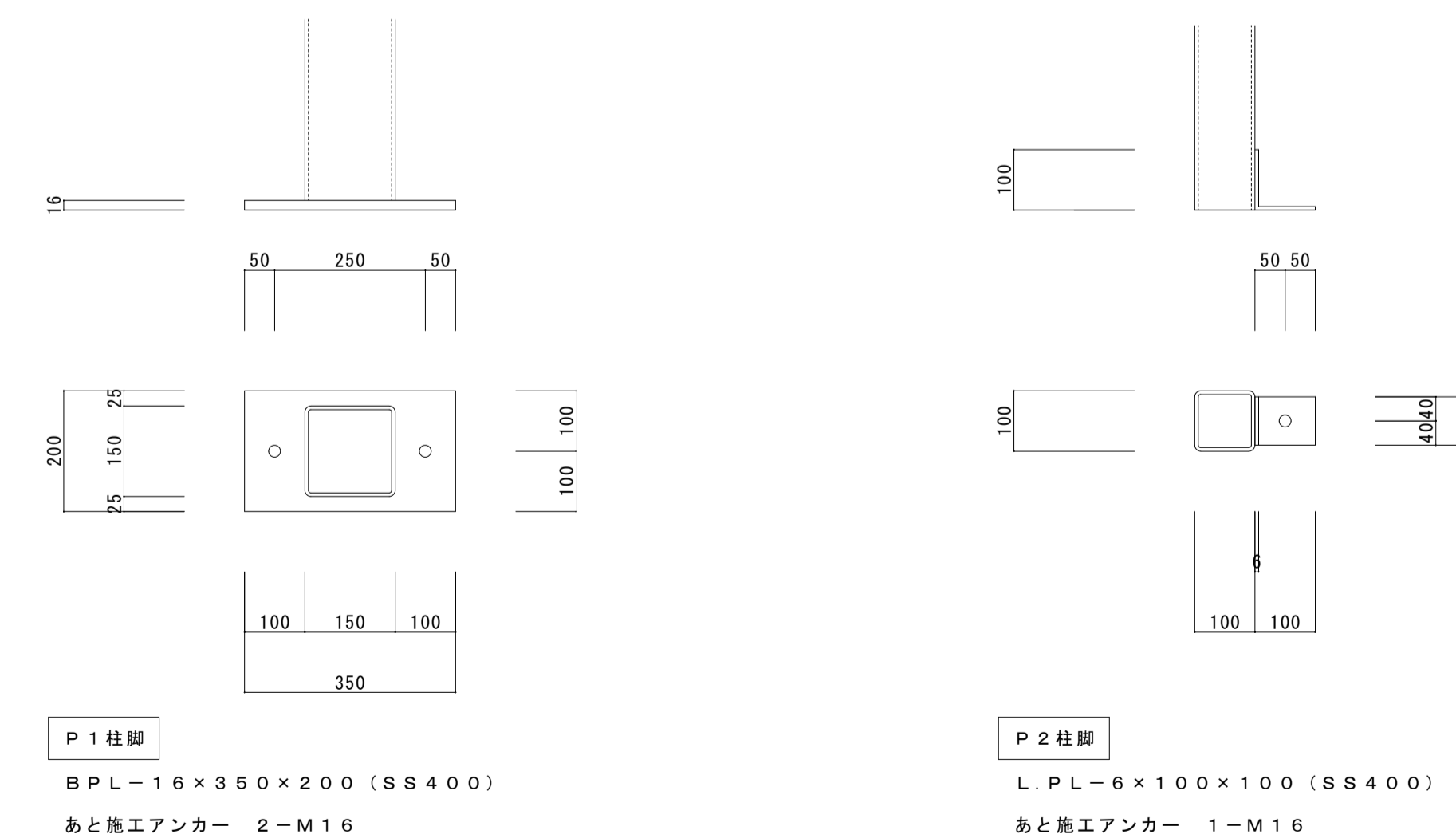


X0 通り軸組図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



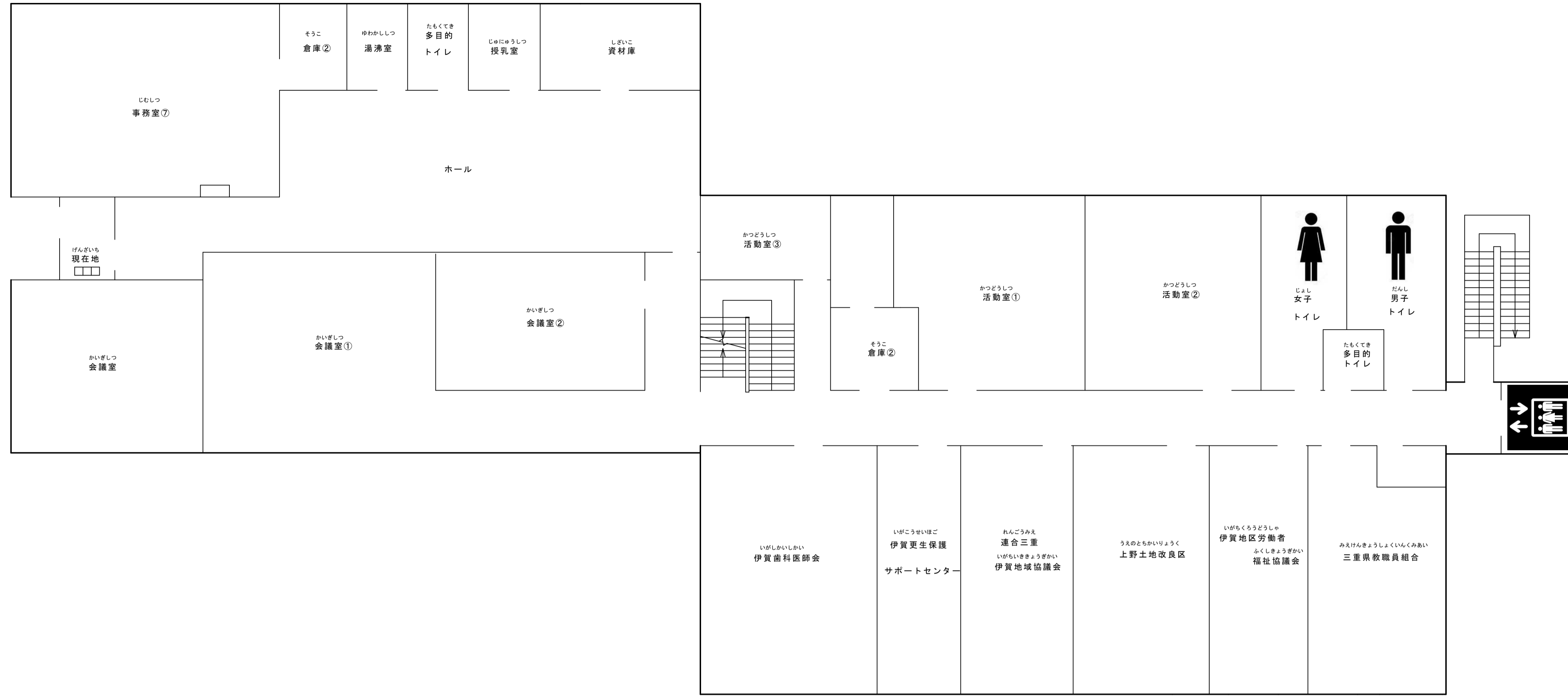
X0 +3.800 通り軸組図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

<既設> 部材リスト			<新設> 部材リスト		
符号	部材	備考	符号	部材	備考
C1	H-400×400×6		P1	□-150×150×6 (STKR400)	BPL-16×350×200 (SS400) あと施工アンカー 2-M12 柱頭: G.P.L-6 (HTB 2-M16)
T1	H-692×300×12×17		P2	□-100×100×6 (STKR400)	L.P.L-6×100×100 (SS400) あと施工アンカー 1-M16 柱頭: G.P.L-6 (HTB 2-M16)
T2	H-596×199×10×15		P3	H-100×100×6×8 (SS400)	G.P.L-6 (HTB 2-M16)
T2'	H-596×199×10×15		B1	H-250×125×6×9 (SS400)	G.P.L-6 (HTB 2-M20)
B	H-298×149×5×8		B2	H-200×100×5.5×8 (SS400)	G.P.L-6 (HTB 2-M16)
			WG1	H-250×125×6×9 (横使い) (SS400)	G.P.L-6 (HTB 2-M20)

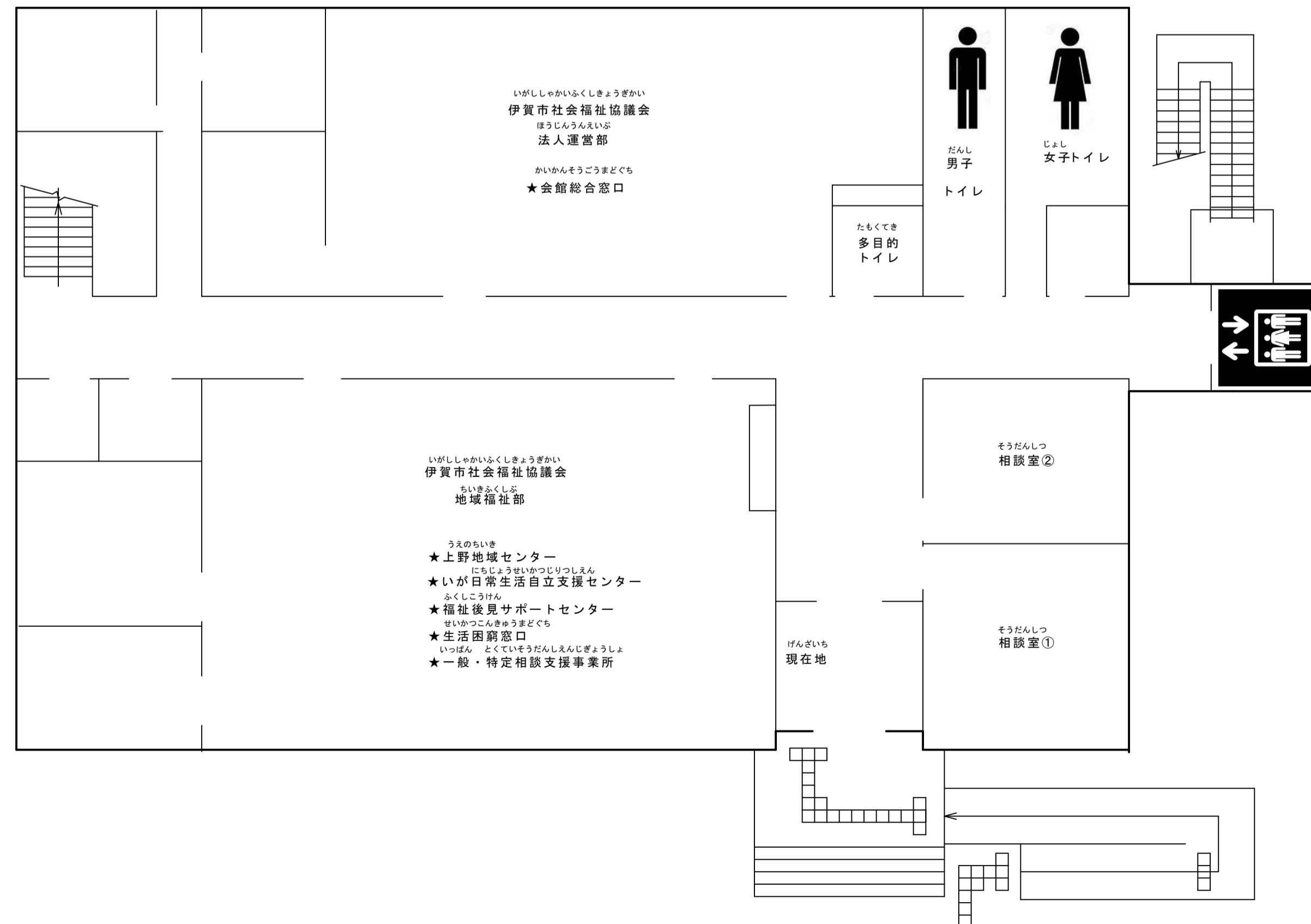


柱脚詳細図 1/10 (A1)  
1/20 (A3)

2F



1F



※ ビクトサイン・室名は参考とする  
 ※ 各部屋はカラー印刷とする  
 ※ 印刷内容の最終決定時には監督職員と打合せすること

特記	総合案内板 W900 X H600	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	アクリル樹脂透明5.0mm 裏面インクジェット裏貼り 4箇所化粧ビス止め		図6	総合案内板図			
取付箇所2か所	風除室(新設部、既設部)				図番提出日		



Table with columns for project name (伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事), job description (仕様書), and detailed specifications for construction items, materials, and equipment.

Table with columns for material specifications (7. 機材等), safety and health measures (8. 機材の品質・性能証明), and other technical requirements for construction materials and equipment.

Table with columns for electrical and communication specifications (12. 電線本数・管路等, 13. 金属管の塗装, etc.), detailing wiring, conduit, and equipment requirements.

Table 1: 「他工事との工事区分表」 (Comparison table of construction items with other works).

Table 2: 「機器標準取付高さ」 (Standard equipment installation height table) with columns for name, measurement point, and height.

Table 3: 「接地極一覧表」 (Grounding electrode list table) with columns for type, resistance, and specifications.

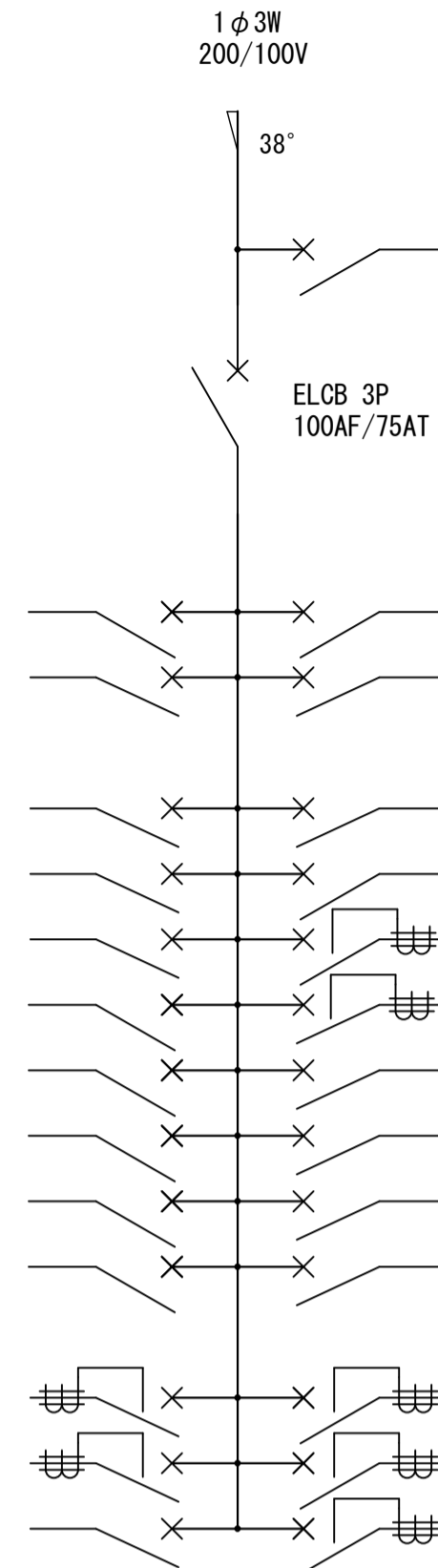
Table 4: 「蛍光灯器具の安定器の種類」 (Ballast types for fluorescent light fixtures) with columns for fixture type, ballast type, and wattage.

Summary table with columns for project name, job description, and administrative information.

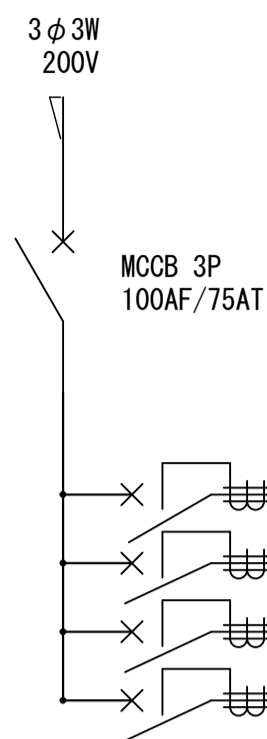
屋内壁掛け 上部外

ACP-4 T-WP (SUS・WP)

容量 VA	備考	開閉器 AF/AT	電圧	番号
960	事務所⑦、会議室③ L	50/20	100V	(101)
5	非常灯	50/20	100V	(非)
(965)				
800	事務所⑦ C	50/20	100V	(301)
800	〃	50/20	100V	(303)
800	ホ-ル 授乳室 C	50/20	100V	(305)
600	ホ-ル C	50/20	100V	(307)
600	ホ-ル、資材庫 C	50/20	100V	(309)
300	倉庫② C	50/20	100V	(311)
	予備	50/20	100V	
	予備	50/20	100V	
(3900)				
2000	ミニキッチン	50/20	200V	(441) <sub>E</sub>
		50/20	100V	
	スベ-ス	50/20	100V	
(2000)				



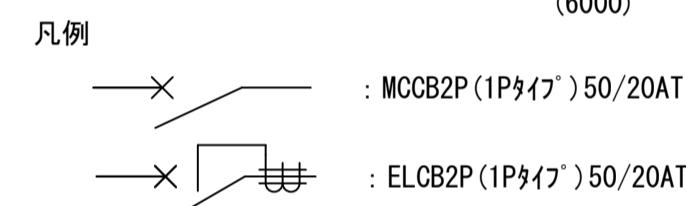
番号	電圧	開閉器 AF/AT	備考	容量 VA
(102)	100V	50/20	倉庫、湯沸室、授乳室、ホ-ル L	900
	100V	50/20	予備	
(900)				(900)
(302)	100V	50/20	事務所⑦ C	800
(304)	100V	50/20	会議室③ C	600
(306) <sub>E</sub>	100V	50/20	多目的便所 C	400
(308) <sub>E</sub>	100V	50/20	湯沸室 C	800
(310)	100V	50/20	廊下 C	500
(312)	100V	50/20	端子盤	
	100V	50/20	予備	
	100V	50/20	予備	
(3100)				(3100)
(341) <sub>E</sub>	100V	50/20	自動ト7	300
(342) <sub>E</sub>	100V	50/20	電気温水器	1100
(345) <sub>E</sub>	100V	50/20	自動販売機	600
				(2000)



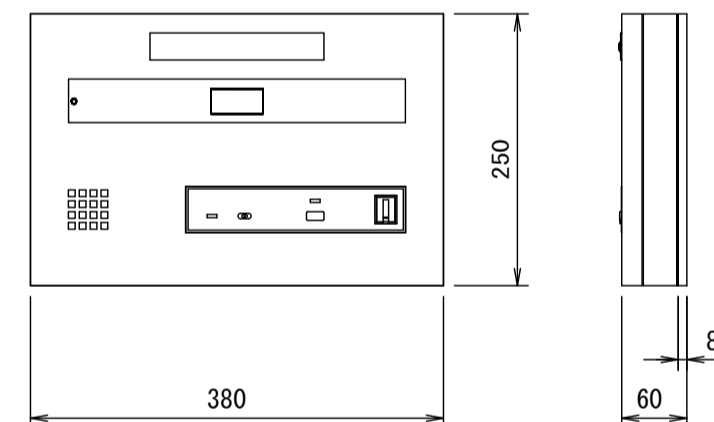
番号	名称	容量 kW	開閉器 3P AF/AT	配管配線	備考
①	空調機 PAC-1	5.92	50/40	EM-CE8°-4C(G28)	ホ-ル
②	空調機 PAC-2	0.85	50/20	EM-CE3.5°-4C(G22)	授乳室
③	空調機 PAC-3	3.13	50/30	EM-CE5.5°-4C(G28)	事務所⑦
④	空調機 PAC-4	2.26	50/30	EM-CE5.5°-4C(G28)	会議室③
計		12.16			

照明器具姿図

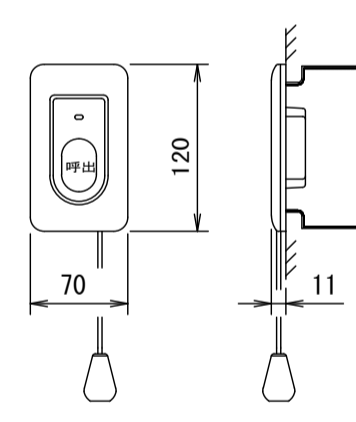
LED 直付灯		LED 埋込灯		LED 直付灯																																																																																																	
V43	LED 47W以下 6500lm以上 7200lm以下	V32	LED 35W以下 4800lm以上 5300lm以下	CA50	LED 62W以下 8000lm以上 8800lm以下																																																																																																
使用場所	事務所	使用場所	会議室	使用場所	ホ-ル																																																																																																
品番	LSS9-4-65	品番	LSS9-4-48	品番	LSS15-4-80																																																																																																
LED ダウンライト		LED ダウンライト		LED 避難口誘導灯																																																																																																	
D12	LED 14W以下 1300lm以上 1700lm以下	D12MP	LED 14W以下 1300lm以上	x10D	LED 2W C級 SH1-FBF20-C																																																																																																
使用場所	多目的便所③	使用場所	ホ-リ	使用場所	各所																																																																																																
品番	LRS1-13	品番	LRS1RP-13	品番																																																																																																	
LED 非常灯		LED 非常灯		LED 非常灯																																																																																																	
a0.9D	LED 0.9W	a1D	LED 1.0W	a1.3D	LED 1.3W																																																																																																
非常灯評定番号:LAL-004 電池内蔵型		非常灯評定番号:LAL-004 電池内蔵型		非常灯評定番号:LAL-004 電池内蔵型																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">保守率:0.92</th> <th colspan="4">K0143780</th> </tr> <tr> <th>器具高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>3.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table>		保守率:0.92		K0143780				器具高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">保守率:0.92</th> <th colspan="4">K0143780</th> </tr> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>4.2</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>9.3</td> <td>10.2</td> <td>10.8</td> <td>11.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>7.4</td> <td>8.2</td> <td>8.7</td> <td>9.6</td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table>		保守率:0.92		K0143780				器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">保守率:0.92</th> <th colspan="4">K0143775</th> </tr> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>5.4</td> <td>5.4</td> <td>6.9</td> <td>6.9</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>11.3</td> <td>12.7</td> <td>13.5</td> <td>15.2</td> <td>18.6</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>8.5</td> <td>9.6</td> <td>10.2</td> <td>11.6</td> <td>14.6</td> </tr> </tbody> </table>		保守率:0.92		K0143775				器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	5.4	5.4	6.9	6.9	7.9	直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6
保守率:0.92		K0143780																																																																																																			
器具高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.0m																																																																																																
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8																																																																																																
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																																																																
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																																																																
保守率:0.92		K0143780																																																																																																			
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																																
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																																																																															
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																																																																															
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																																																																															
保守率:0.92		K0143775																																																																																																			
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																																
単体配置	A1	5.4	5.4	6.9	6.9	7.9																																																																																															
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6																																																																																															
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6																																																																																															
使用場所	各所	使用場所	各所	使用場所	各所																																																																																																
品番	K1-LSS11-1	品番	K1-LSS11-2	品番	K1-LSS11-3																																																																																																



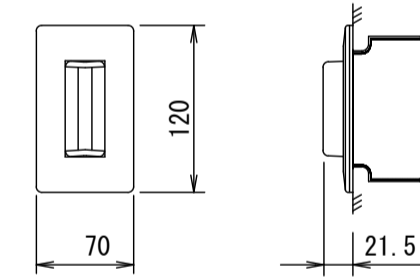
- 1窓用呼出表示器
- 呼出ボタン(引きひも付)
- 廊下灯



電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形状	壁取付型
材質	SPCC t1.2
窓数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

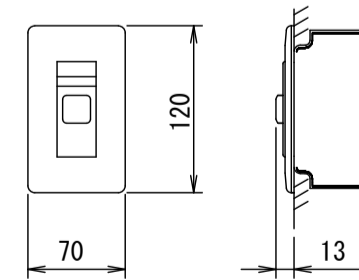


形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	引きひも式、押ボタン式両用

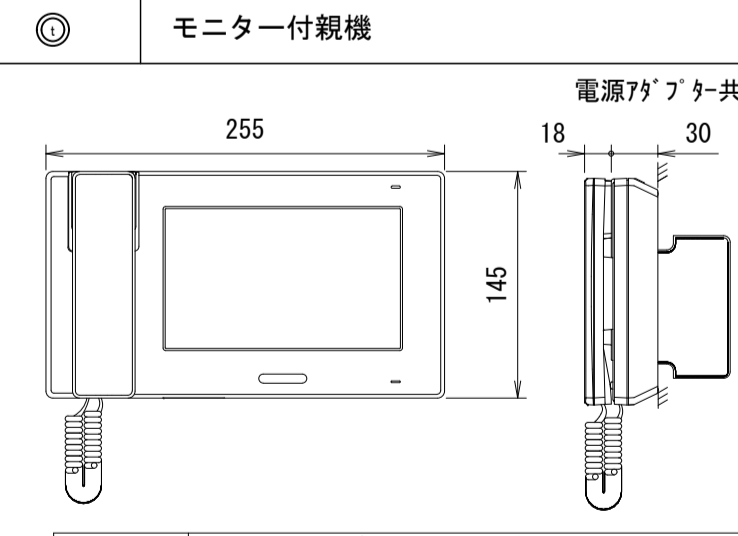


備考	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	プレート: 自己消火性樹脂
備考	表示灯カバー: ポリカーボネート
備考	LED方式 (赤色)

- 復旧ボタン

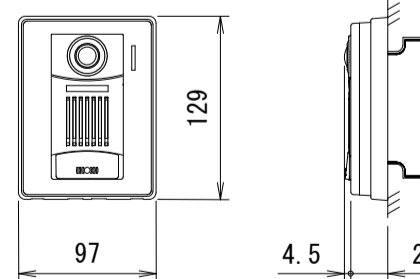


形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	樹脂
備考	非防水形

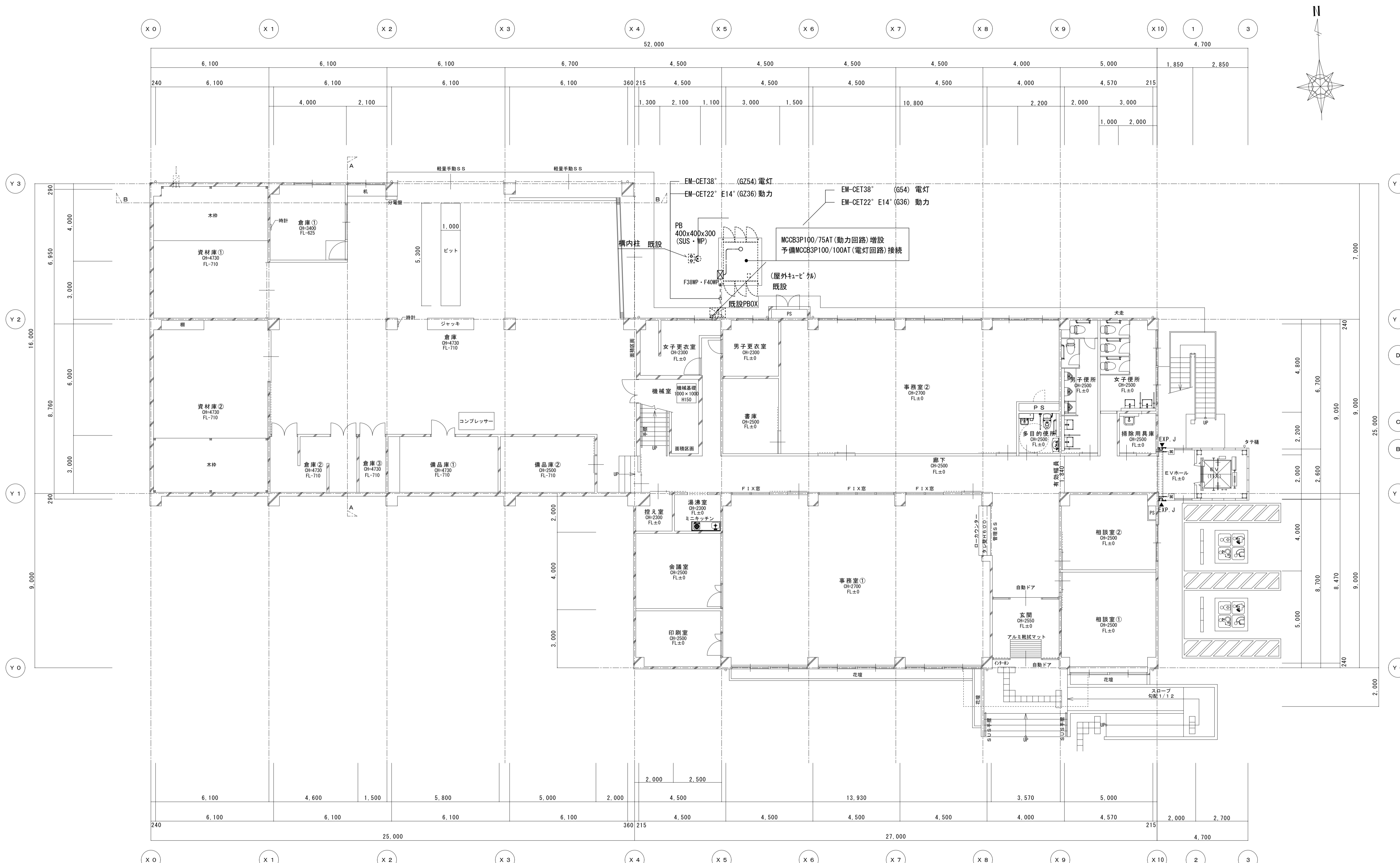


電源電圧	DC24V (電源アダプターより供給)
モニター	7型 TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話
受話器	電話型同時通話
録画機能	自動・手動録画、再生、保存
据置・壁取付両用型	
形状	(JIS2個用または3個用スイッチボックス)
材質	難燃性樹脂

- カメラ付玄関子機



電源電圧	モニター付親機から供給
形状	壁取付型 (JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
カメラ	1/4型好-CMOS
通話方式	自動交互通話
備考	防塵・防まつ形 (JIS C 0920 1P54 相当)

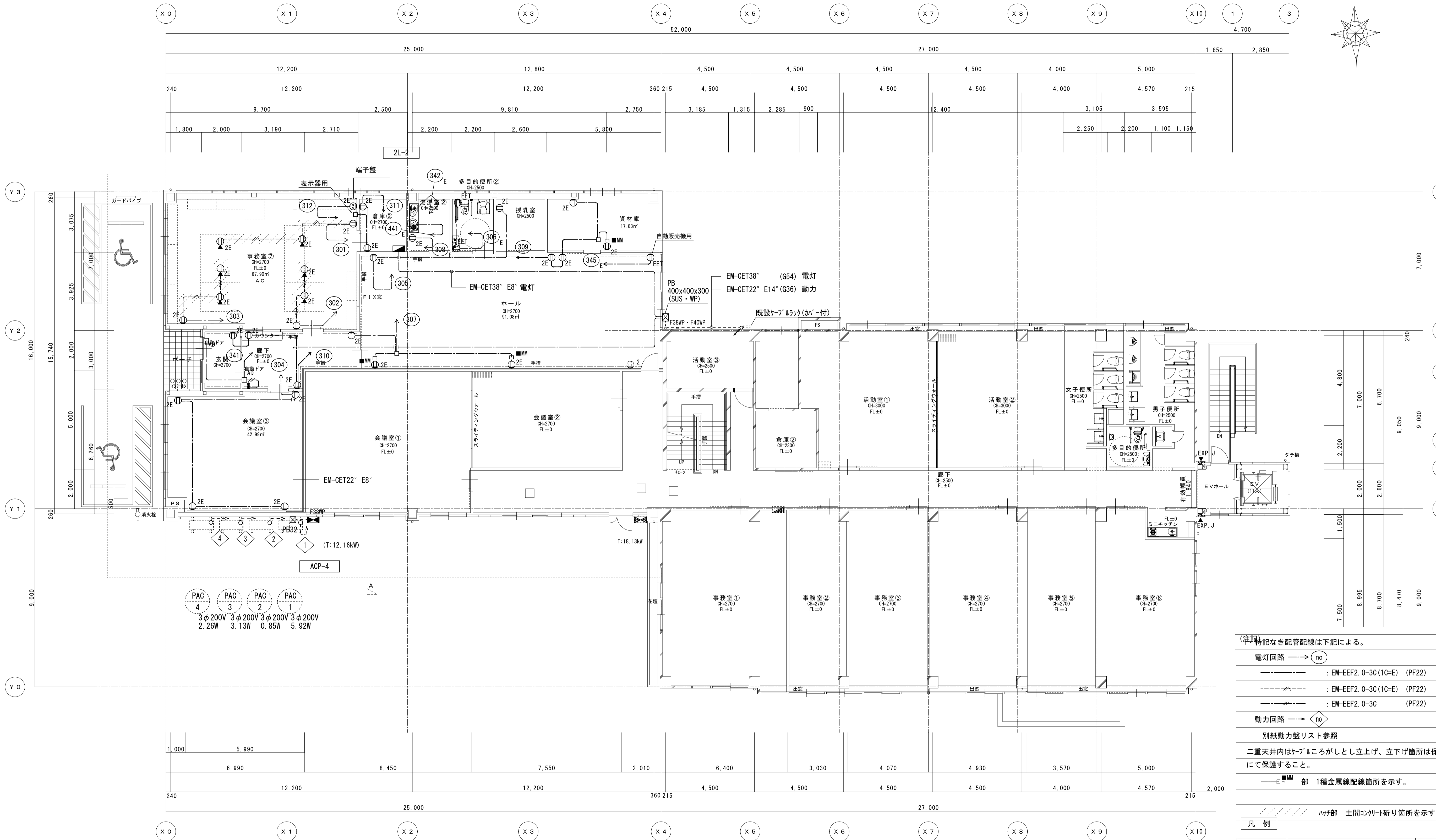
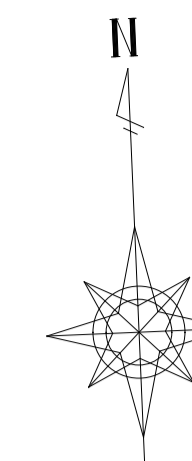


<現況> 1階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

面積表 (㎡)	
1階床面積	896.79
2階床面積	905.85
PH床面積	9.60
延床面積	1812.24

屋内階段	
蹴上	200mm
踏面	240mm
有効幅	1345mm
踊り場	1240mm

屋外階段	
蹴上	196mm
踏面	260mm
有効幅	1000mm
踊り場	1300mm



PAC 4  
3φ200V 3φ200V 3φ200V 3φ200V  
2.26W 3.13W 0.85W 5.92W

<計画> 2階平面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

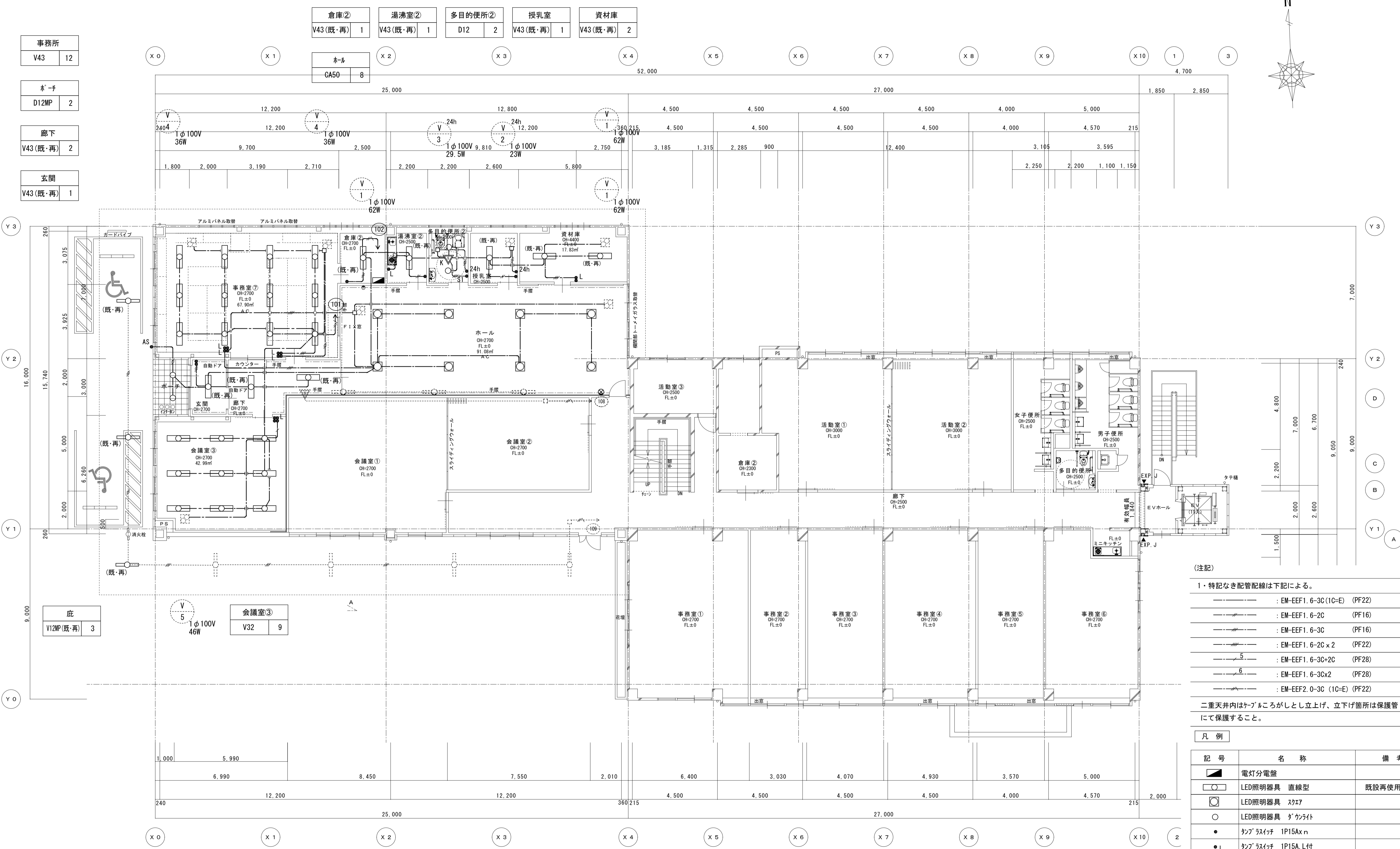
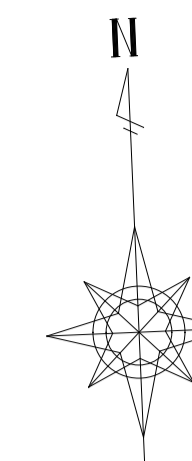
(注) 特記なき配管配線は下記による。  
 電灯回路 → (no)  
 : EM-EEF2.0-3C(1C=E) (PF22)  
 : EM-EEF2.0-3C(1C=E) (PF22) 土間配管  
 : EM-EEF2.0-3C (PF22)  
 動力回路 → (no)  
 別紙動力盤リスト参照  
 二重天井内はケーブルがしとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。  
 E部 1種金属線配線箇所を示す。

ハッチ部 土間コンクリート切り箇所を示す。

凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
■	動力分電盤	
⊕ <sub>2E</sub>	コンセント 2P15A×2, 接地極付	
⊕ <sub>EET</sub>	コンセント 2P15A×2, 接地極, 接地端子付	
⊕ <sub>2E</sub>	7Pコンセント 2P15A×2, 接地極付	
⊕	コンセント 3P15A	
⊕	コンセント 3P20A	250V
⊕ <sub>2E</sub>	露出コンセント 2P15A×2, 接地極付	端子盤内





事務所	V43	12
ホーチ	D12MP	2
廊下	V43(既・再)	2
玄関	V43(既・再)	1

倉庫②	V43(既・再)	1
湯沸室②	V43(既・再)	1
多目的便所②	D12	2
授乳室	V43(既・再)	1
資材庫	V43(既・再)	2
ホール	CA50	8

庇	V12MP(既・再)	3
---	------------	---

会議室③	V32	9
------	-----	---

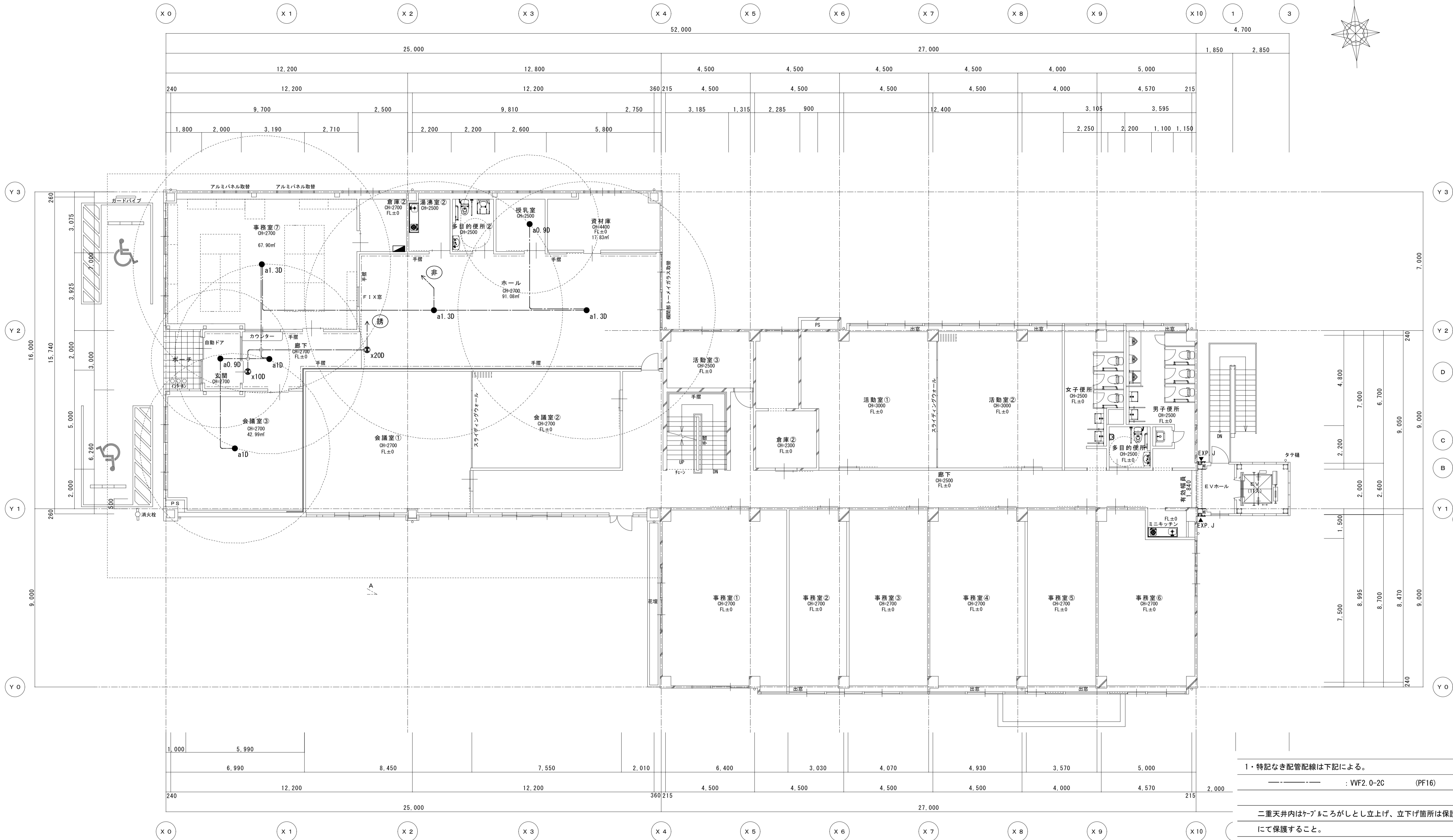
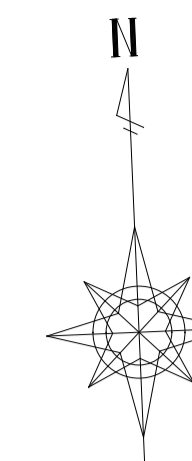
<計画> 2階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

- (注記)
- 1・特記なき配管配線は下記による。
- — — — — : EM-EEF1.6-3C(1C-E) (PF22)
  - — — — — : EM-EEF1.6-2C (PF16)
  - — — — — : EM-EEF1.6-3C (PF16)
  - — — — — : EM-EEF1.6-2C×2 (PF22)
  - — — — — : EM-EEF1.6-3C+2C (PF28)
  - — — — — : EM-EEF1.6-3C×2 (PF28)
  - — — — — : EM-EEF2.0-3C (1C-E) (PF22)

二重天井内はケーブルがごとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。

凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
□	LED照明器具 直線型	既設再使用器具8灯
○	LED照明器具 スクエア	
○	LED照明器具 タウンライト	
●	タフスイッチ IP15Axn	
●L	タフスイッチ IP15A, L付	
●24h	24時間換気スイッチ	参考品番FY-SV12W相当
●AS	自動点滅器	
▽	人感センサー式自動スイッチ	親機
●S2	操作ユニット	2回路
⊗	カバープレート	
▽	人感センサー式自動スイッチ	壁付 既設
□(既・再)	照明器具	既設品再使用を示す。
-----	破線	既設のままを示す。



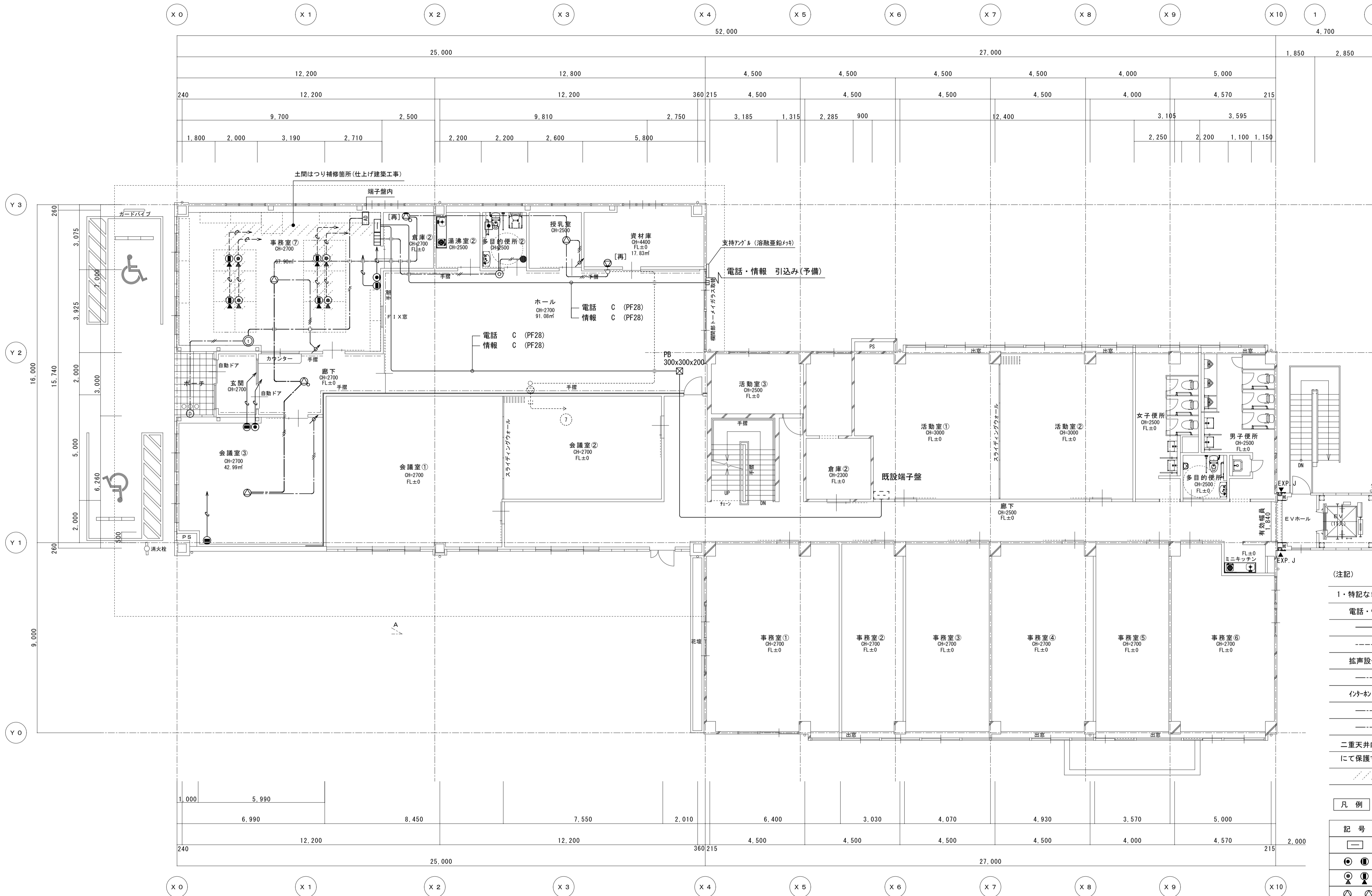
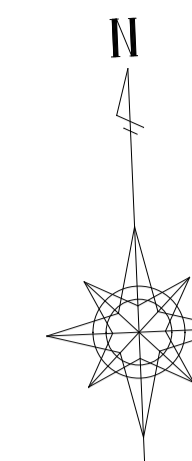
<計画> 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

1・特記なき配管配線は下記による。  
 : VVF2.0-2C (PF16)

二重天井内はケーブルがしとしし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。

凡例		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
●	LED非常灯	電池内臓
○	非常灯包含範囲	
⊗	LED避難口誘導灯	片面

特記		工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	承認	管理建築士	印	
		図名	<改修> 2階平面図 防災電灯設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番	E-06
		製図者		承認者			
		製図日		承認日			



回路	⊙	⊗	⊚	⊛	備考
負荷	(1W)	(1W)	(3W)	(1W)	
①	9				
②		4			
③			2		
④	9				
⑤		3			
⑥	2	1	1		
⑦	3	1	3		今回工事範囲
⑧			1		
⑨				1	ELV
計	23	9	7	1	
出力合計	23	9	21	1	54W≦60W

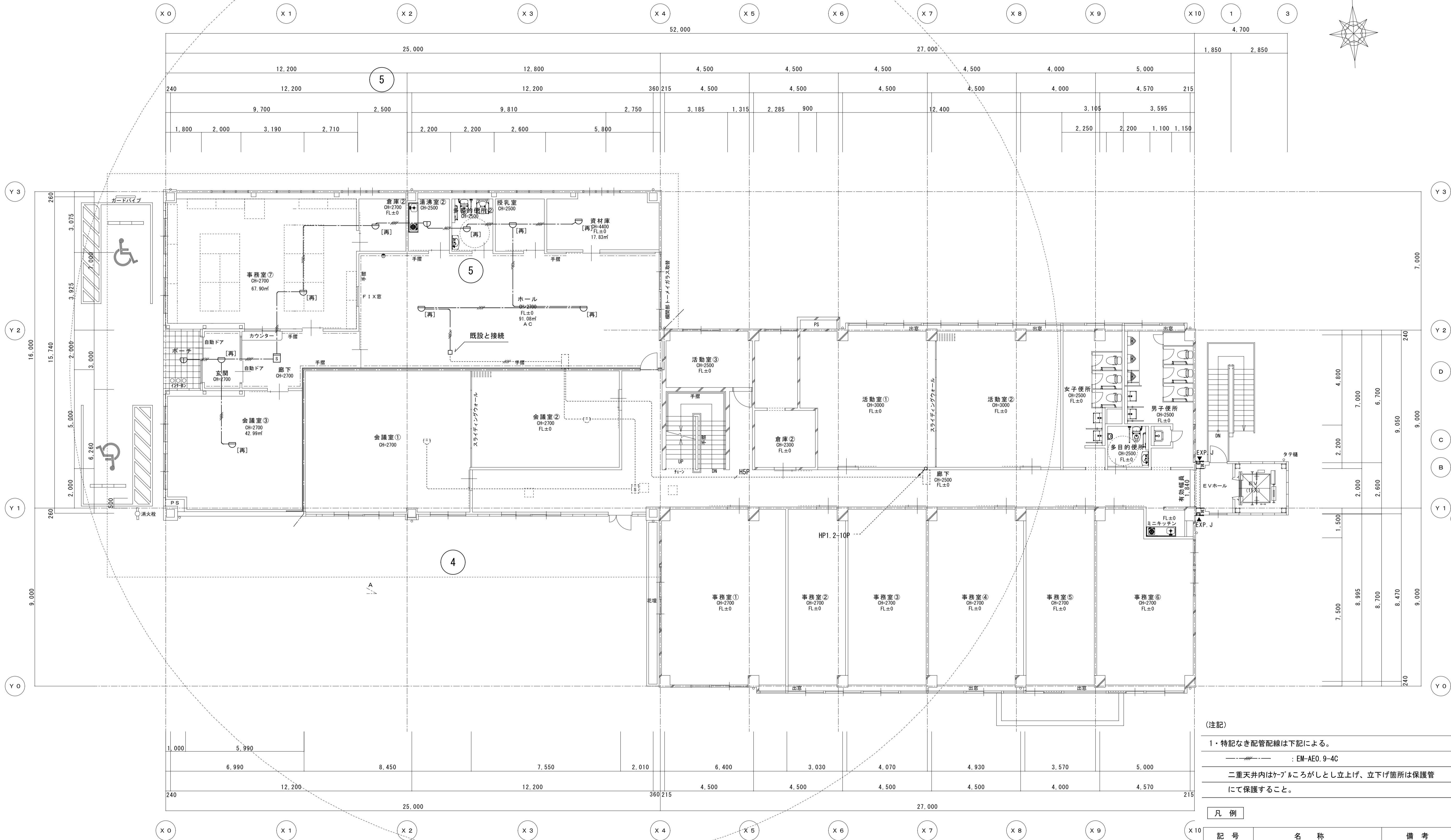
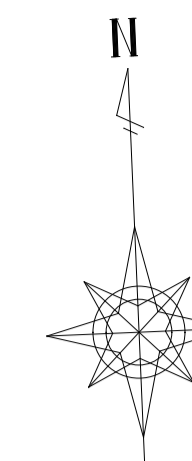
- (注記)
- 1・特記なき配管配線は下記による。
- 電話・情報設備
- : C (PF22)
  - : C (PF22) 土間配管
- 拡声設備
- //— : EM-HP1.2-3C (PF16)
- インター・トリル呼出設備
- //— : EM-AE0.9-2C (PF16)
  - //— : EM-AE0.9-3C (PF16)
- 二重天井内はケーブルルンとして立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。
- ////// ハッチ部 土間コンクリート掘り箇所を示す。

記号	名称	備考
□	端子盤	
⊙	壁付け 電話コンセント、情報コンセント	加へプレート
⊗	床付け 電話コンセント、情報コンセント	ローション
⊚	天井埋込スピーカー	ATT無、ATT付 SC <sub>0</sub> H <sub>1</sub> -1V <sub>0</sub> -MS <sub>0</sub> H <sub>1</sub> -1V <sub>0</sub> -M
⊛	アンテナ	V-1S
⊚ [再]	壁掛形スピーカー	SW <sub>0</sub> H <sub>1</sub> -3V <sub>0</sub> 再使用
⊙ [再]	インター 玄関子機、モニター親機	
[AD]	インター電源アダプター	天井内ボックス収納 樹脂製付録ボックス内
□	呼出表示器	1窓
■	呼出ボタン	引きひも付
⊙	廊下表示灯	
●	復旧ボタン	既設品再使用

<計画> 2階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

端子盤 参考寸法 W:600 H:1200 D:200

電話 10P  
情報 HUB スペース  
インター電源アダプター取付  
露出コンセント 2P15A×2、接地極付×1



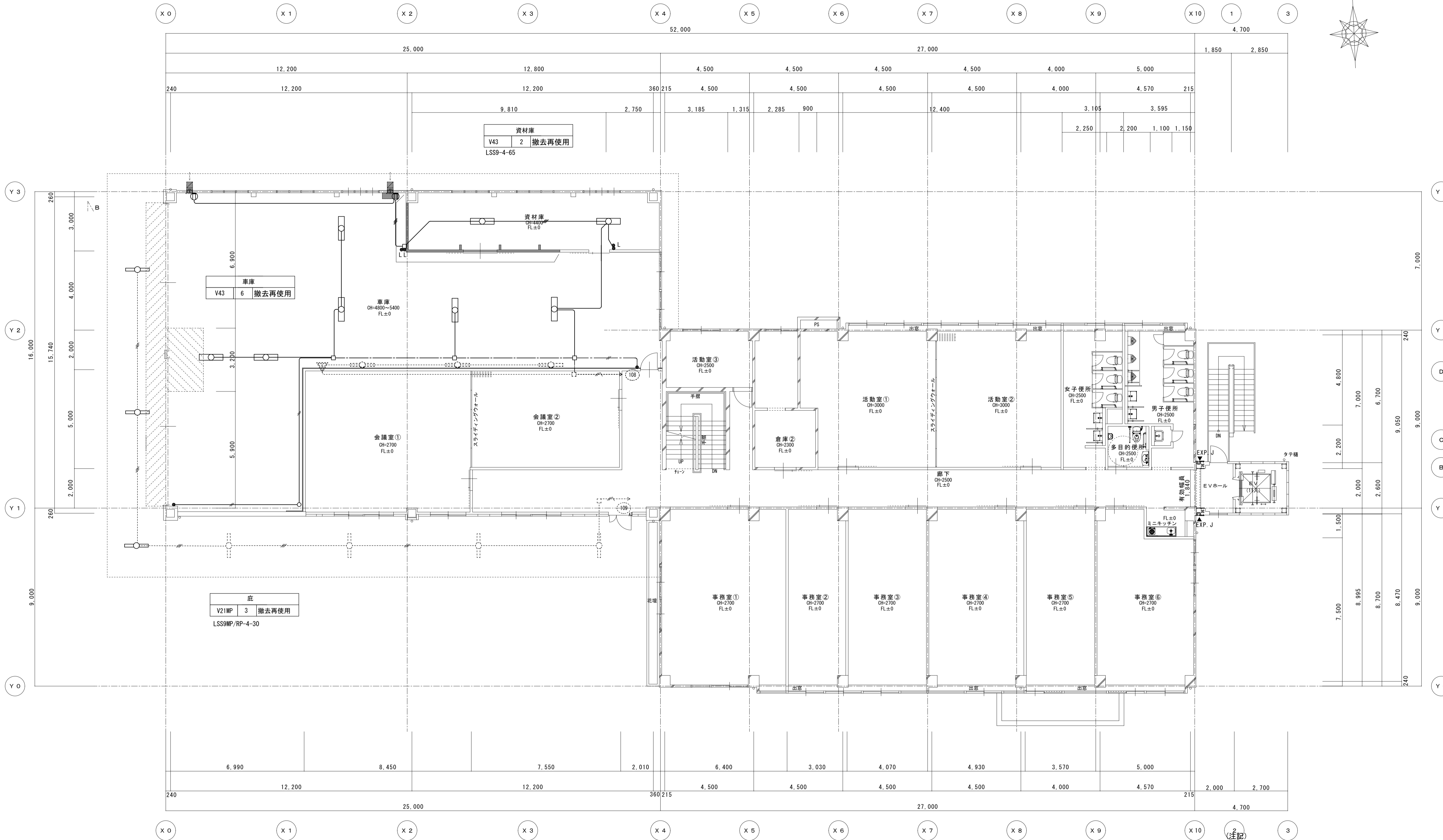
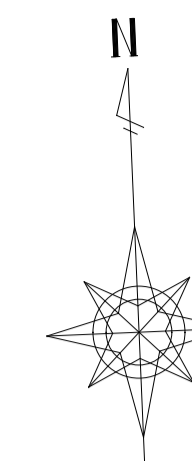
<計画> 2階平面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

(注記)  
 1・特記なき配管配線は下記による。  
 --- : EM-AEO-9-4C  
 二重天井内はケーブルがしとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。

記号	名称	備考
⊕	総合盤	既設 (B) 収容
⊖	差動式火災感知器	2種露出 2種露出 既設品再使用
⊕	定温式火災感知器	1種防水
⊖	光電式火災感知器	2種露出

..... 破線 既設のままを示す。





資材庫  
V43 2 撤去再使用  
LSS9-4-65

車庫  
V43 6 撤去再使用

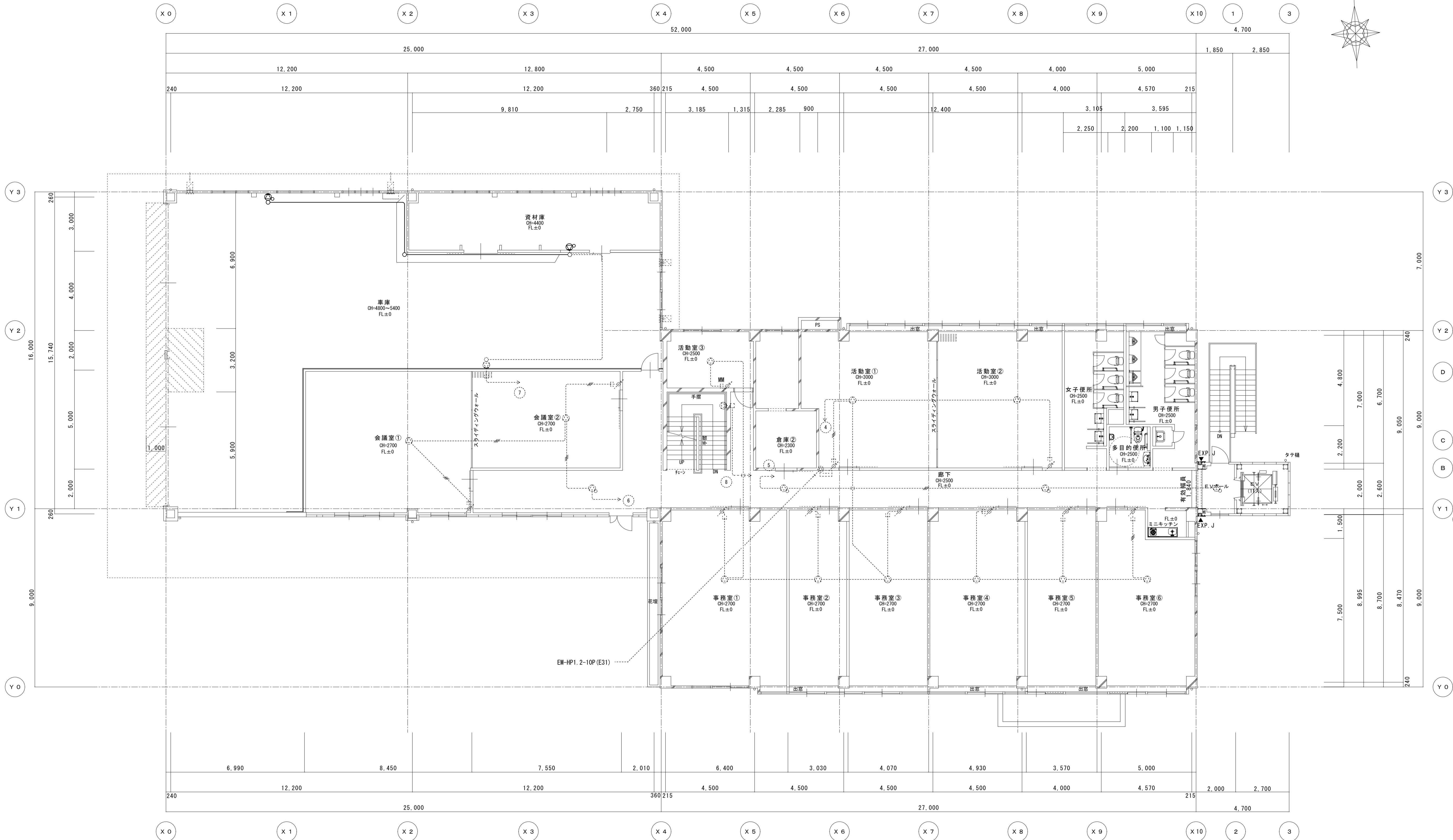
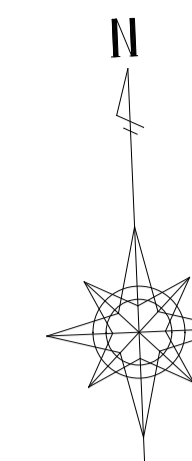
庇  
V21MP 3 撤去再使用  
LSS9MP/RP-4-30

<現況> 2階平面図  
1/100 (A1)  
1/200 (A3)

1・特記なき配管配線は下記による。  
 ———— : 1.6x2 (19) 撤去  
 - - - - - : VVF1.6-3C 撤去

..... 破線 既設のままを示す。  
 ———— 実線 撤去を示す。

特記 ..... 既存のまま範囲を示す。 - - - - - 増設範囲を示す。 ※火気使用室なし	工事名 伊賀市総合福祉会館改修工事(電気設備工事)	承認 管理建築士
図名 2階平面図<現況> 電灯設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 E-09
製図者 前田 隆太郎	承認者 前田 隆太郎	日付 2024.08.01



<現況> 2階平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

(注記)

1・特記なき配管配線は下記による。

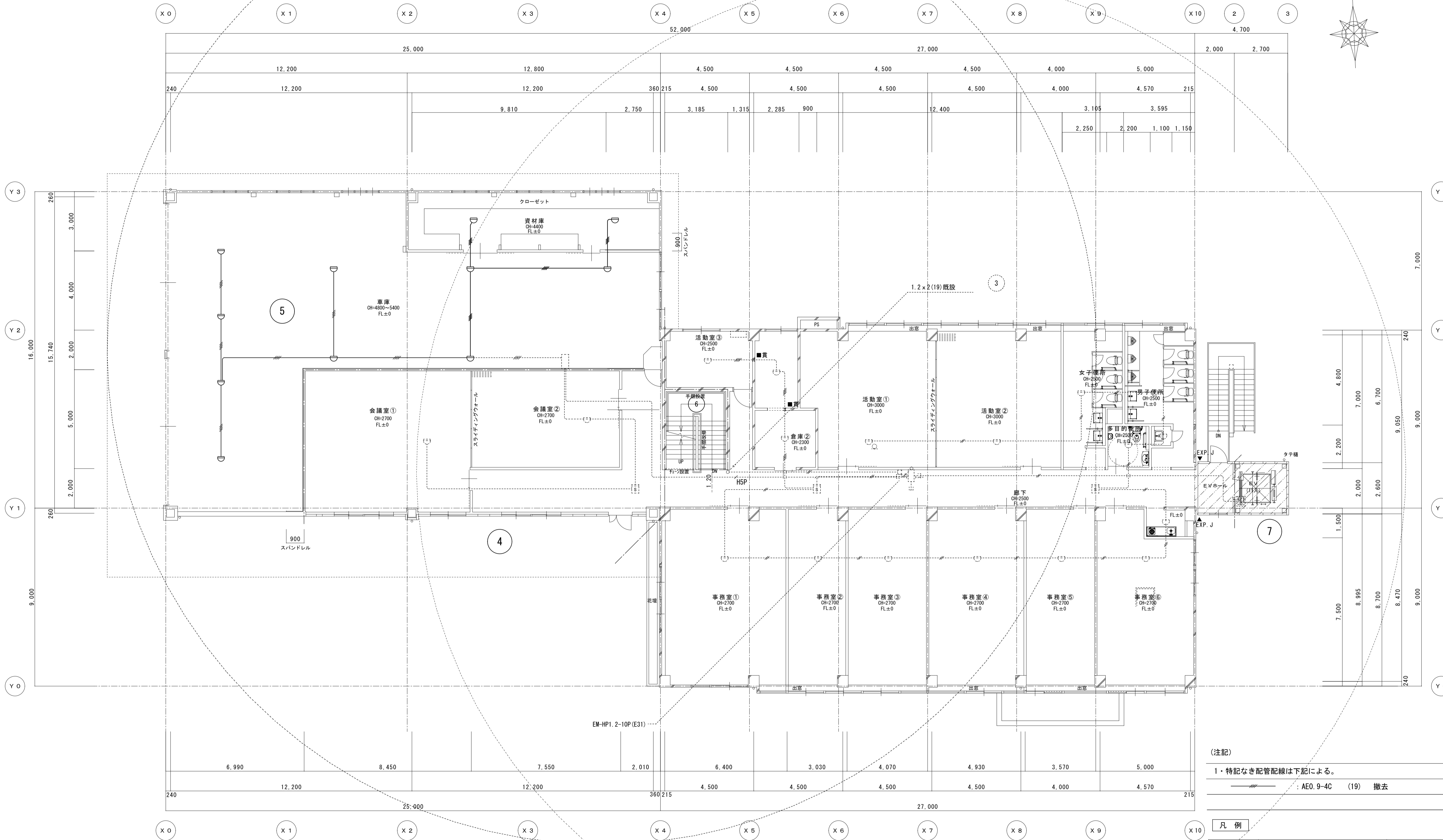
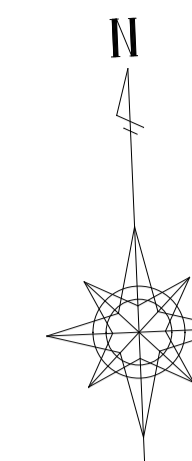
HP1.2-3C (19) 撤去

破線 既設のままを示す。  
 実線 撤去を示す。

凡例

記号	名称	備考
○	天井埋込LED-カ SCdH1-1V <sub>0</sub> -M SCdH1-1V <sub>0</sub>	既設
⊙	壁掛形LED-カ SWdH1-3V <sub>0</sub>	既設・再使用
▽	フックホック	V-1S 既設

特記 ..... 既存のまま範囲を示す。 - - - 増築範囲を示す。 ※火気使用室なし	工事名 伊賀市総合福祉会館改修工事(電気設備工事)	図名 2階平面図<現況> 配管設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 E-10	承認 管理建築士
---	------------------------------	----------------------	--------------------------------	------------	-------------



<改修> 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

(注記)  
 1・特記なき配管配線は下記による。  
 AEO.9-4C (19) 撤去

記号	名称	備考
⊕	総合盤	既設 ⑤ 収容
⊖	差動式* 外型感知器	2種露出 撤去・再使用
⊙	定温式* 外型感知器	1種防水 既設
⊛	光電式* 外型感知器	2種露出 既設

破線 既設のままを示す。  
 実線 撤去を示す。

機械設備工事特記仕様 (○印を付けたものを適用する。)		工事種別 (○印を付けたものを適用する。)				給湯設備		ダクト設備		
建築概要		屋外	屋内	屋内( )	屋内( )	給湯方式	配管材料	燃料	その他	
<b>伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事</b> 伊賀市 平野山下 地内 建物名称 福祉会館 構造 階数 延面積 (m <sup>2</sup> ) 備考		給排水衛生設備					給湯方式	配管材料	燃料	その他
<b>一般事項</b> 適用仕様書 優先順位 申請手続 疑義 変更 完成図書 耐震基準 <b>特記事項</b> ○地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。 ○重量機器及び器具は吊りボルトにて堅固に取り付けること。 ○機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づき材料を使用すること。 ○建物導入配管(給水、ガス、消火)は充分な可換製を有する変位吸収配管施工をおこなう。 ○水密を要する部分を除きスリーブに用いる材料は、紙製の型枠を使用することができる。 ○排水管を除く埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。 ○振動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径6φ以上の配管には、防振吊り金物又は防振支持金物を設けるものとする。 ○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、鉄筋探査の上、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。 ・屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管菜台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 ○系統が分るように、必要箇所(機械室、PS内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付をおこなう。 ○機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。		給水設備	排水設備	衛生器具設備	給湯設備	ガス設備	配管設備	燃料	その他	
<b>共通事項</b> 保温工事 ○保温施工種別 ○下表による。(但し機器、煙道は共通仕様書による) 屋外露出・多湿箇所 PS 保温筒 SUS鉄板仕上げ 天井・PS内 グラスウール保温筒 アルミガラスクロス 床下・暗渠内 PS 保温筒 防水麻布(アスファルトプライマー) ○保温材の厚さ ○下表による(但し機器、煙道は共通仕様書による) 80A以下 20mm 給排水管 給湯管 温水管 ドレン管 100-150A 25mm 消火管(但し屋外のみ) 200A以上 40mm 25A以下 30mm 冷水管 冷温水管 32-200A 40mm 250A以上 50mm		給水方式	排水方式	衛生器具設備	給湯方式	ガス設備	配管方式	燃料	その他	
<b>備考</b> 伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事 機械設備特記仕様書 編R NS(A1) NS(A3) 図面番号 M-1		給水方式	排水方式	衛生器具設備	給湯方式	ガス設備	配管方式	燃料	その他	

特記	工事名	編R	編NS	図面番号	承認	管理建築士	印
	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	編R	NS(A1) NS(A3)	M-1			
	機械設備特記仕様書				承認書印		

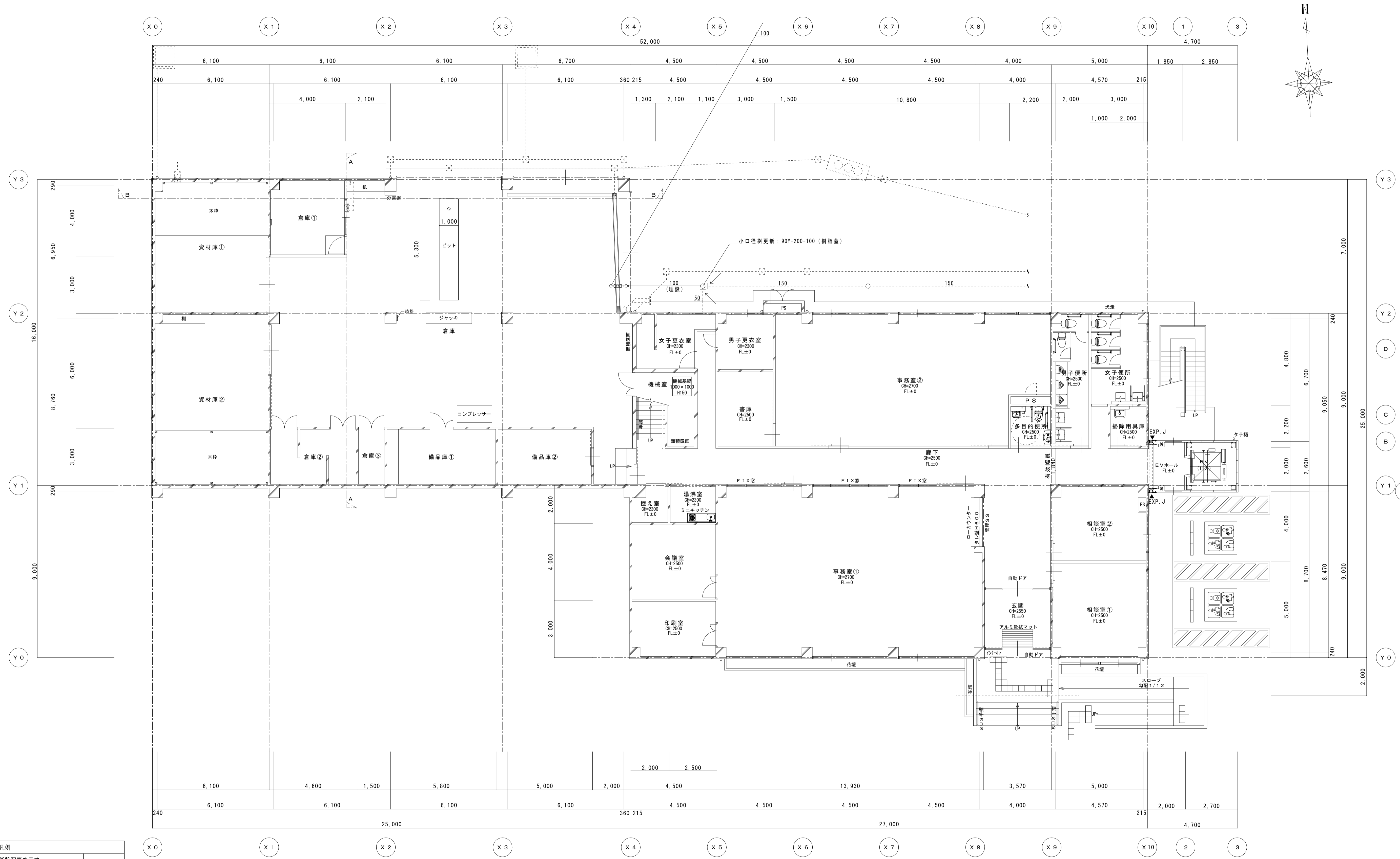


衛生器具表

名称	品番	合計	倉庫	
			多目的便所 ②	湯沸室 ②
多目的便器	BC-P20S, DT-PA250CHTK (ロータンク), CW-EA23QC (フルオート開閉洗浄便座、フタ有), CWA-112 (大型壁リモコン)	1	1	
棚付2連紙巻器	CF-63HST	1	1	
カウンター一体形洗面器	L-275FCRS, AM-300 (自動単水栓), LF-WN7PF, SF-10E, KF-30DN, KF-24F (水石鹸)	1	1	
手すり (L型)	KF-920AE70D12J, KF-D16*3	1	1	
手すり (はね上げ)	KF-471EH70J, KF-D19	1	1	
おむつ交換台	AC-OK-F11 固定金具	1	1	
化粧鏡	KF-4510A	1	1	
キッチン	建築工事 (セット内容にキッチン用付属品は含む)	1		1
<p>* 取付用の補強は本工事とする。</p> <p>* 機器・器具は参考とし、現場にて確認 (数量) 等のこと。</p>				

衛生設備機器表

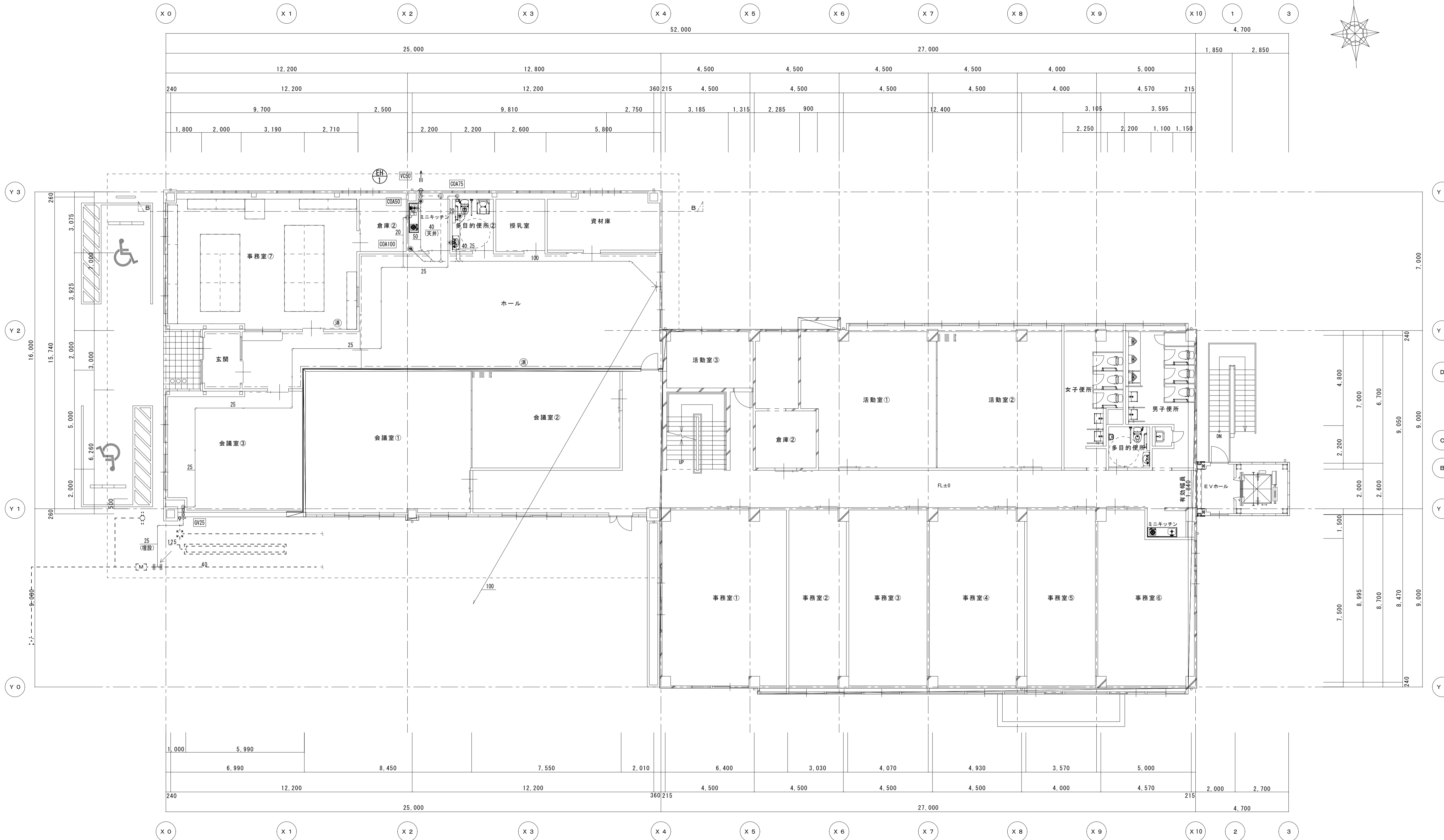
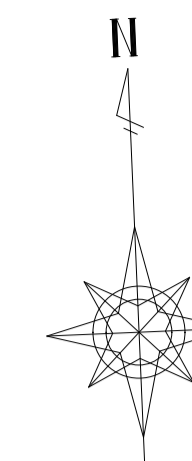
記号	名称 参考型番	型式・仕様	電源			台数	設置場所
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)		
EH-1	小型電気温水器 ESD20BRX111DO	型式 : 据置形 適温出湯タイプ 飲用可能 貯湯量 : 20L 付属品 : 排水ホッパー、接続フレキ、止水栓、他必要部材一式共	1	100	1.1	1	2階ミニキッチン  床固定
<p>注記) 給湯器は平成12建告1388号に適合する構造方法とする。 給湯用リモコンの配管、配線は本工事</p>							



凡例	
新設配管を示す	——
既設配管を示す	-----
既設配管切断箇所を示す	=
既設配管接続箇所を示す	→
コア抜きを示す	⊠

<改修後> 1階平面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

特記		工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事	承認		管理建築士	
		図名	1階平面図 給排水衛生設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番	M-3
				承認者			
				承認日			



凡例	
新設配管を示す	——
既設配管を示す	----
既設配管切断箇所を示す	=
既設配管接続箇所を示す	→
コア抜きを示す	○ ⊠

(消) A B C 消火器 10型 (露出ボックス共)  
 設置間隔 2.0m 以内  
 発電機、キユービクル等付加設置必要箇所には設置

<改修後> 2階平面図 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事 2階平面図 給排水衛生設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号 M-4	承認 管理建築士
------------------------------------	--------------------------------	-------------	-------------

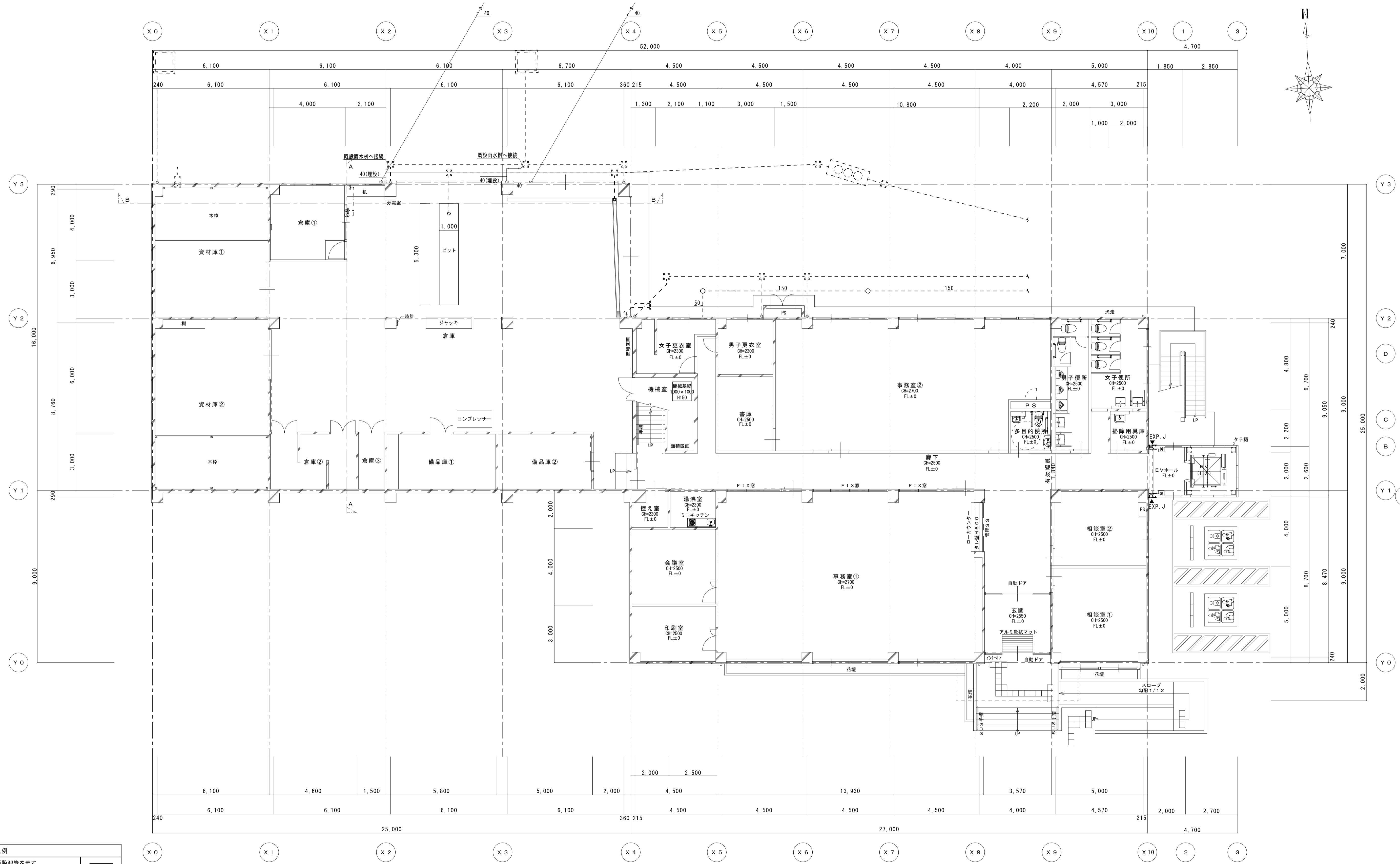
空調機器表 形式：空冷ヒートポンプ式

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源 (V)	圧縮機 (KW)	消費電力 (KW)		
PAC-1	パッケージエアコン RCI-GP224RGHP	形式	天井カセット型4方向(同時ツイン)			1	ホール
		冷房能力	20.0(7.0~22.4) kW				
		暖房能力	22.4(5.6~28.0) kW				
		付属品	リモコン、他付属品一式共				
		基礎	壁面設置金物				
PAC-2	パッケージエアコン RPK-GP40RGH3	形式	壁掛け型			1	授乳室
		冷房能力	3.6(1.1~4.0) kW				
		暖房能力	4.0(1.0~5.4) kW				
		付属品	リモコン、ドレンアップ、他付属品一式共				
		基礎	壁面設置金物				
PAC-3	パッケージエアコン RCI-GP160RGHP3	形式	天井カセット型4方向(同時ツイン)			1	事務所⑦
		冷房能力	14.0(3.2~16.0) kW				
		暖房能力	16.0(4.0~20.2) kW				
		付属品	リモコン、他付属品一式共				
		基礎	壁面設置金物				
PAC-4	パッケージエアコン RCI-GP112RGH3	形式	天井カセット型4方向			1	会議室③
		冷房能力	10.0(2.5~11.2) kW				
		暖房能力	11.2(2.8~14.0) kW				
		付属品	リモコン、他付属品一式共				
		基礎	壁面設置金物				
注記	室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。 消費電力は参考とする。						

換気機器表 フードは指定色塗装のこと

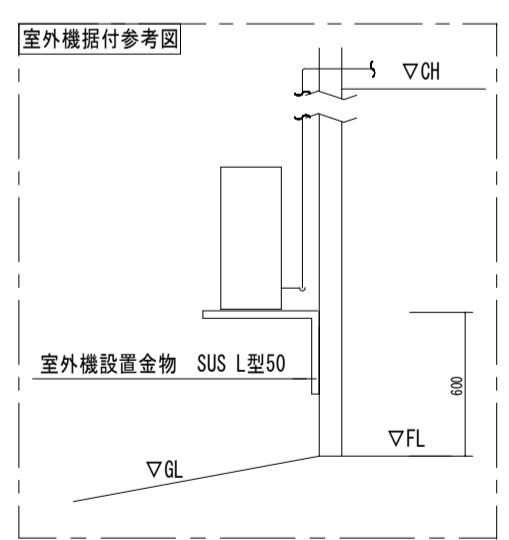
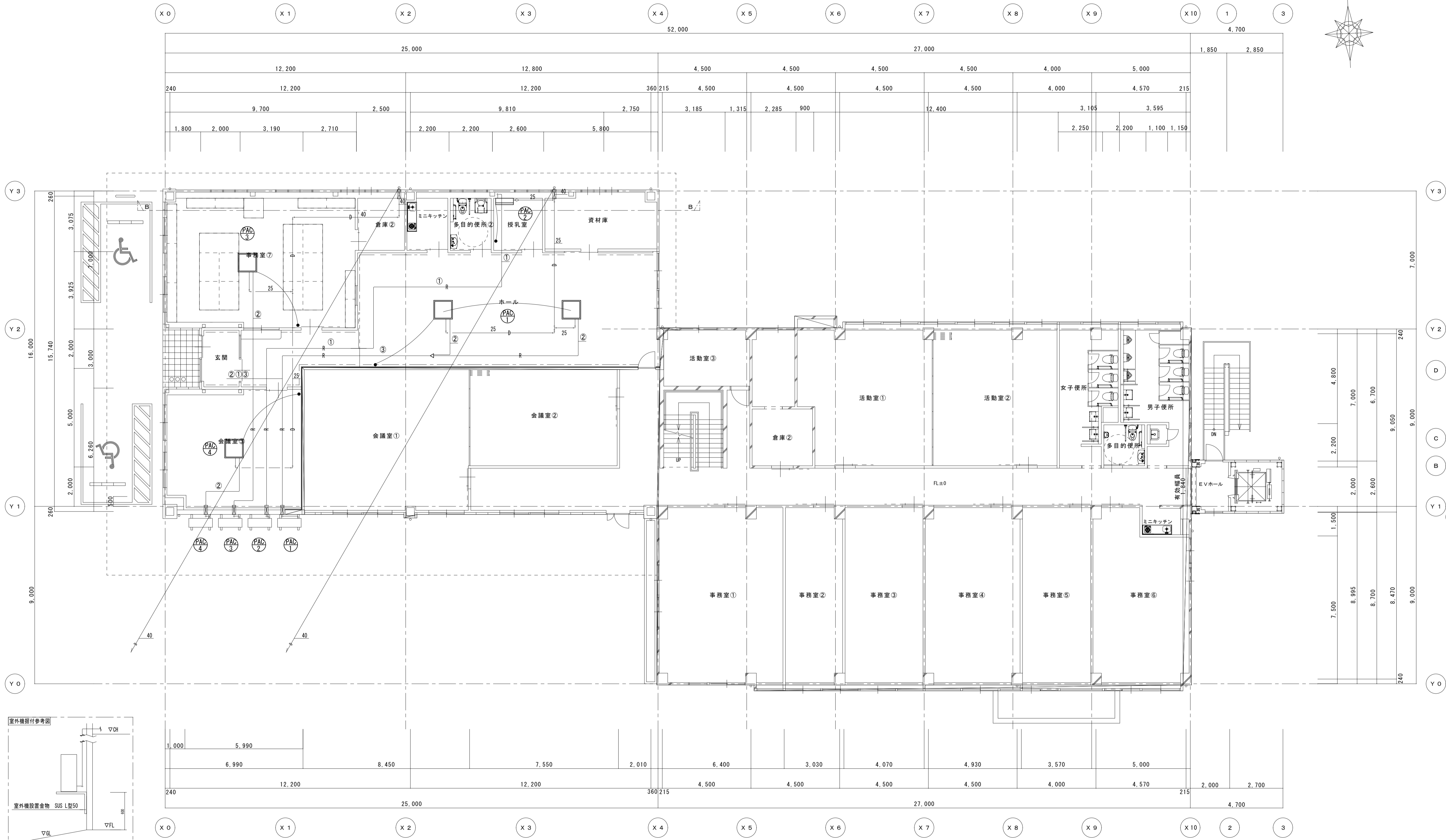
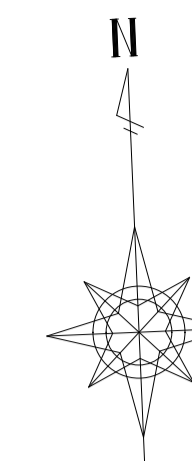
機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考	
			電源 (φ-V)	送風機 (W)			
V-1	天井換気扇 VD-20ZXP12-C	形式	低騒音形			3	資材庫 ホール
		風量	400 m <sup>3</sup> /h 80 Pa				
		付属品	SUS深型フード、他一式				
V-2	天井換気扇 VD-18ZLC12-S	形式	低騒音形			1	授乳室 24h
		風量	180 m <sup>3</sup> /h 60 Pa				
		付属品	SUS深型フード、他一式				
V-3	天井換気扇 VD-18ZLC12-S	形式	低騒音形			1	多目的WC 24h
		風量	200 m <sup>3</sup> /h 60 Pa				
		付属品	SUS深型フード、他一式				
V-4	天井換気扇 VD-18ZXP12-C	形式	低騒音形			2	事務所⑦
		風量	250 m <sup>3</sup> /h 60 Pa				
		付属品	SUS深型フード、他一式				
V-5	天井換気扇 VD-20ZX12-C	形式	低騒音形			1	会議室③
		風量	300 m <sup>3</sup> /h 60 Pa				
		付属品	SUS深型フード、他一式				
OA-1	給気口 P23GLF6	形式	シャッター、フィルター付 200φ			3	ホール×2 事務所⑦
		風量	m <sup>3</sup> /h Pa				
		付属品	SUS深形フード200φ(防虫網付)、他一式共				
V-6	レンジフード (建築工事)	形式				1	湯沸室
		風量	m <sup>3</sup> /h Pa				
		付属品	SUS深型フード150φ、他一式				
注記	24Hスイッチは表示する 消費電力は参考とする						





凡例	
新設配管を示す	——
既設配管を示す	- - - -
既設配管切断箇所を示す	=
既設配管接続箇所を示す	→
コア抜きを示す	☒

<改修後> 1階平面図 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

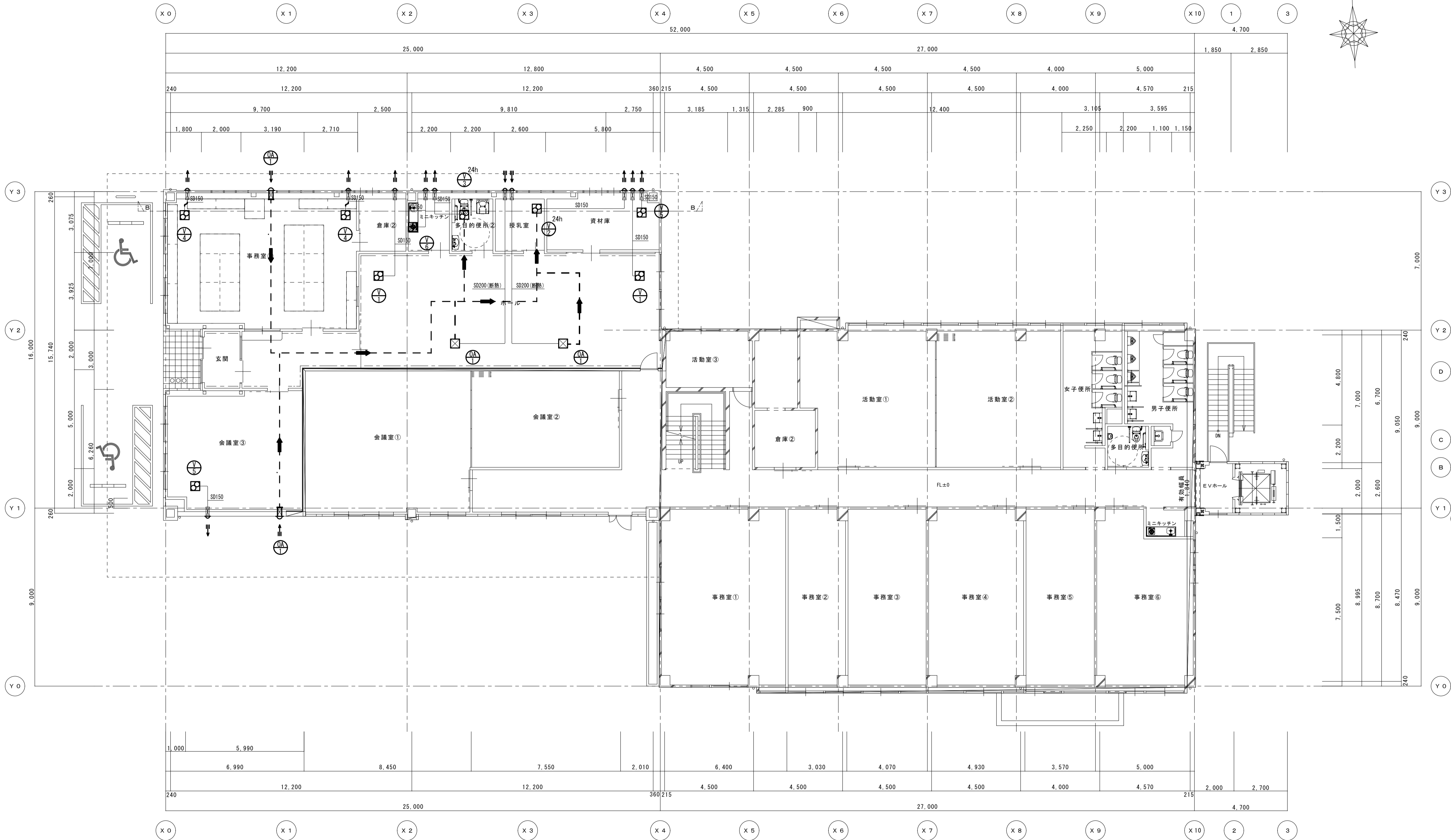
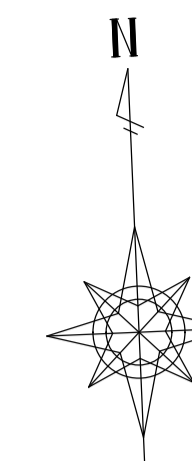


凡例  
コア抜きを示す ○ ⊠

①	②	③	液管	ガス管
6.4φ	9.5φ	9.5φ	12.7φ	15.5φ
			25.4φ	

※1 エアコン配線 FM-CBE1 2550-20  
 ※2 遮り配線 FM-DE250-50 汚雑共集  
 ※3 屋外露出配管は化粧ケース仕上とする

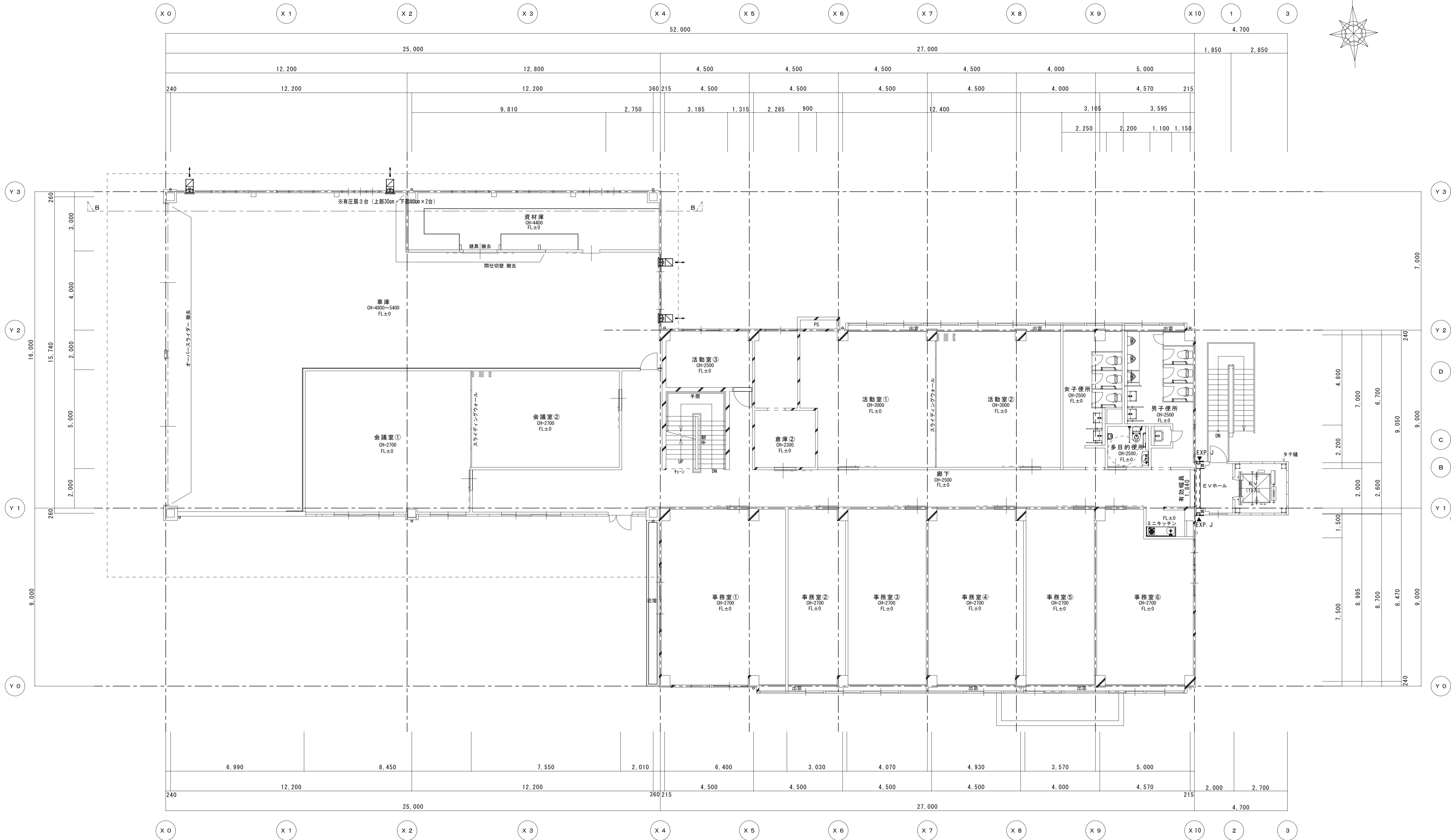
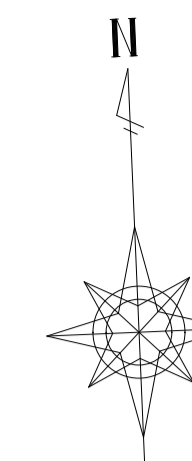
<改修後> 2階平面図 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)



<計画> 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

- 凡例
- コア抜きを示す
  - 凡例
  - 24時間換気経路を示す

特記   	工事名 伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事  図名 2階平面図 換気設備  縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)  図面番号 M-8	承認  管理建築士  前書提出日
----------------	---	------------------------------



< 現況 > 2階平面図  
 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

2F 車庫 既存機表			
有圧階	30cm ※ウェザーカバー残置	4	撤去
※開口部閉塞処理を行う事 (SUS板0.6t程度+シル処理)			
2F 車庫 既存機表			
有圧階	80cm ※ウェザーカバー残置、前面保護網撤去	2	撤去
※開口部閉塞処理は建築工事			

特記	工事名	伊賀市総合福祉会館2階車庫改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	既設2階平面図 既設撤去	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)			
				承認		
				前書提出日		